

ソリッドステートメモリーカムコーダー

取扱説明書

PXW-FS7M2

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



目次

1章 概要

システム構成例	3
各部の名称と働き	4
画面表示	9

2章 準備

電源の準備	13
機器の取り付け・調整	15
時計を合わせる	20
本機の基本動作を設定する	21
XQDメモリーカードを使う	22
UTILITY SDカードを使う	25
XDCA-FS7を使う	26
HXR-IFR5/AXS-R5を使う	27
赤外線リモコンを使う	28
Wi-Fiリモコンを使う	29

3章 撮影

基本操作手順	30
基本設定を変更する	33
便利な機能	37
タブレットなどの機器とワイヤレスLAN で接続する	43
Wi-Fiリモコンを表示する	45

4章 サムネイル画面

サムネイル画面	46
クリップの再生	47
クリップ操作	48

5章 メニュー表示と詳細設定

セットアップメニューの構成と階層 ..	49
セットアップメニューの操作方法	51
セットアップメニュー一覧	52

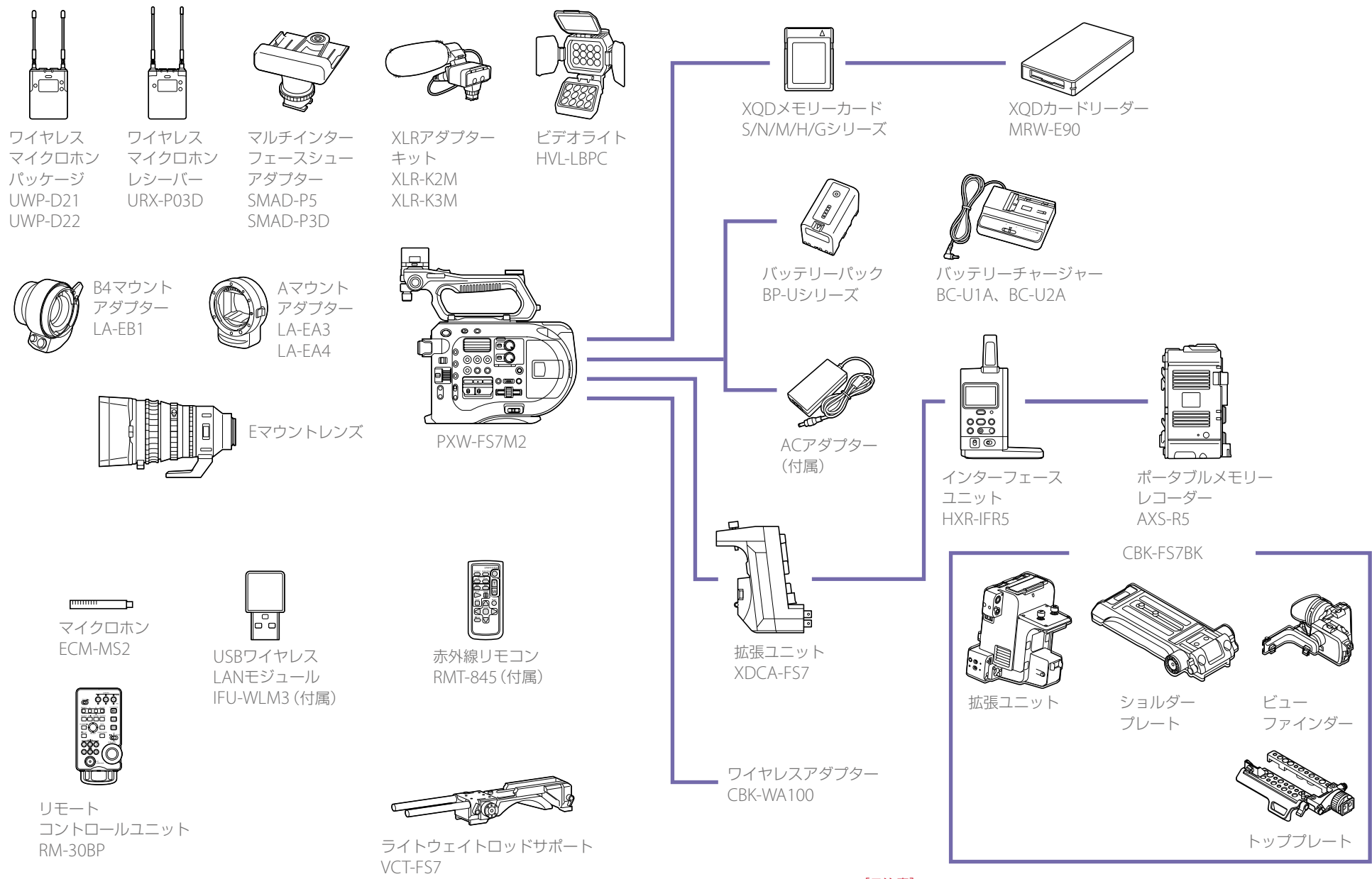
6章 外部機器接続

外部モニターや記録装置を接続する ..	81
外部同期	82
コンピューターでクリップ管理・編集 する	83

7章 付録

使用上のご注意	84
NDフィルターダイヤルについて	85
出力のフォーマットと制限	86
エラー /警告表示	92
ファイルに保存される項目	94
ブロックダイアグラム	101
Eマウントレンズのソフトウェアを アップデートする	103
ライセンスについて	104
保証書とアフターサービス	107
仕様	108

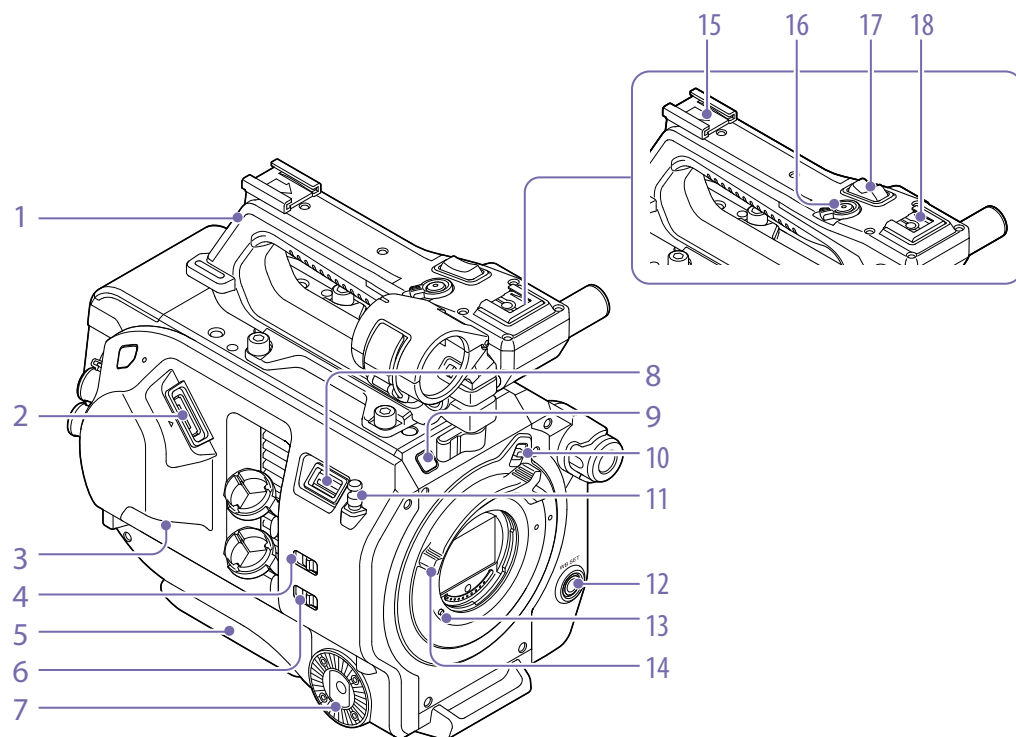
システム構成例



[ご注意]
図に記載されている周辺機器や関連機器は、「生産完了」となっている場合があります。
機器の選定にあたっては、ソニーの営業担当者またはお買い上げ店にお問い合わせください。

各部の名称と働き

左側面・前面・ハンドル部



1. ハンドル (5ページ)
2. ビューファインダー接続端子 (15ページ)
3. REMOTE端子 (18ページ)
4. INPUT1スイッチ (LINE/MIC/MIC+48V) (35ページ)
5. ショルダーパッド (19ページ)
6. INPUT2スイッチ (LINE/MIC/MIC+48V) (35ページ)
7. グリップ取り付け部 (18ページ)
8. USBワイヤレスLANモジュール接続端子 (43ページ)
9. 録画ランプ (77ページ)
記録メディアやバッテリー残量が少なくなると点滅します。

10. レンズロックリングストッパー (18ページ)

11. メジャーフック

メジャーフックがイメージセンサー面の位置となります。本機から被写体までの距離を正確に測るには、メジャーフックの位置を参考にしてください。メジャーフックにメジャーの先端をかけて、被写体からの距離を実測できます。

12. WB SET (ホワイトバランスセット) ボタン (35ページ)

13. レンズロックピン (18ページ)

14. レンズロックリング (18ページ)

15. アクセサリーシュー (4ページ)

16. ハンドル録画START/STOPボタン

ロックレバーをロック位置にすると録画ボタンが効かなくなります。

17. ハンドルズームレバー (56ページ)

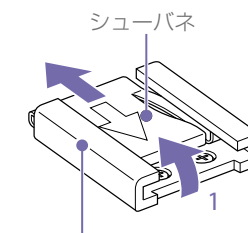
18. マルチインターフェースシュー

ni Multi Interface Shoe

マルチインターフェースシュー対応アクセサリについて詳しくは販売店にお問い合わせください。

アクセサリシューを取り付ける

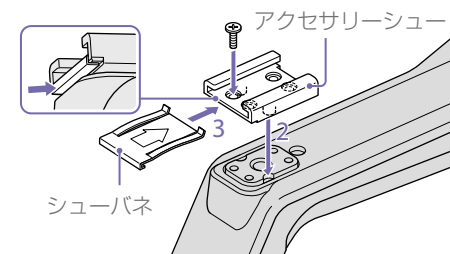
- 1 シューバネの先端を持ち上げ、刻印された矢印の向きと反対方向へ引き抜く。



アクセサリシュー

- 2 アクセサリシューの凸部とアクセサリシュー取り付け部の凹部を合わせて取り付け、4本のネジを締める。

- 3 シューバネを矢印の方向に挿入し、コの字部分がアクセサリシューの端部にはまるように取り付ける。

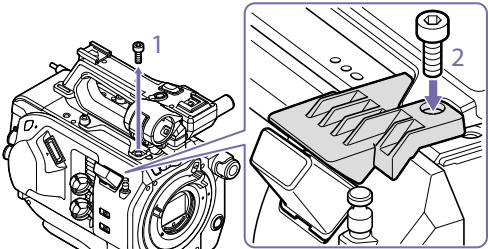


アクセサリシューを取り外す

「アクセサリシューを取り付ける」の手順1と同様にシューパネを外し、ネジを緩めてアクセサリシューを外す。

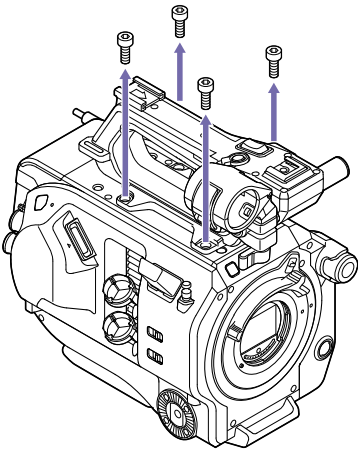
USBワイヤレスLANモジュール補強部品の取り付けかた

- 1 ハンドル取り付けネジを外す。
- 2 補強部品を挟んでネジを締める。



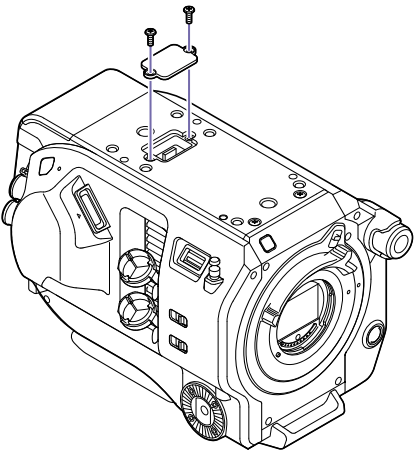
ハンドルを取り外す

4本のハンドル取り付けネジを外し、ハンドルを本機から取り外す。



ハンドルコネクター保護キャップ(付属品)の使いかた

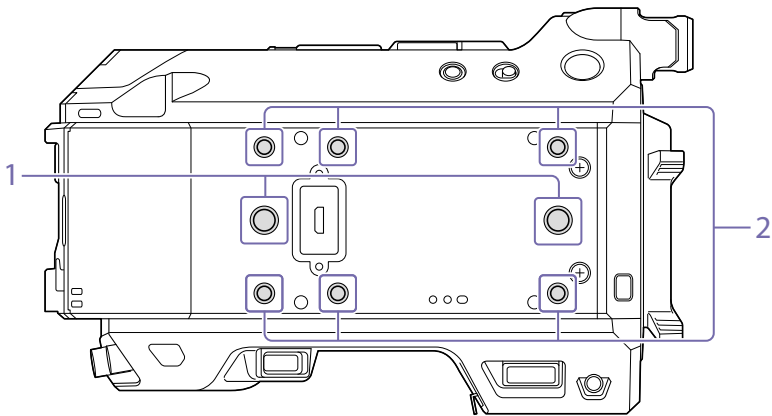
ハンドルを外して本機を使用するときは、付属の保護キャップを使って端子部を保護してください。



接続端子の保護について

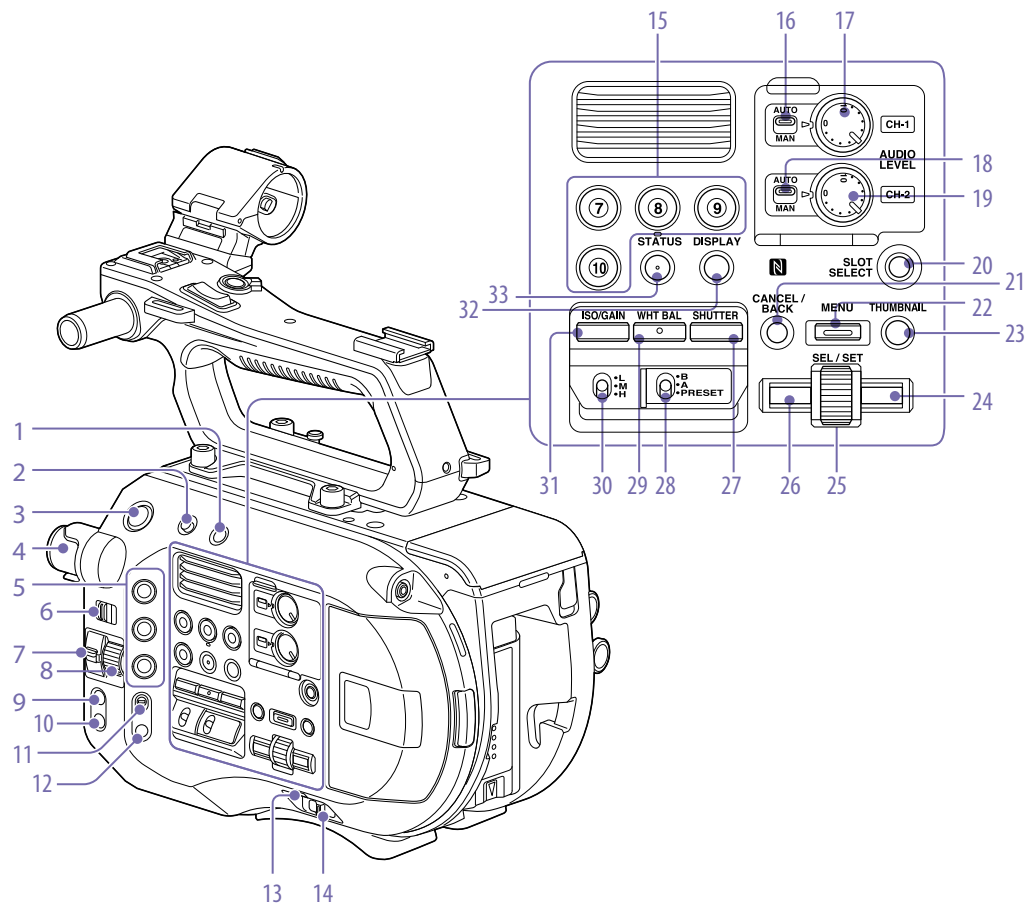
接続端子を保護するために、使用しない端子類にはカバーを装着してください。

上面



- 1. 拡張ネジ穴 (3/8インチ)
3/8-16UNCのネジ (長さ10.0 mm以下) に対応しています。
- 2. 拡張ネジ穴 (1/4インチ)
1/4-20UNCのネジ (長さ7.0 mm以下) に対応しています。

右側面



1. FULL AUTOボタン (30ページ)
2. HOLDスイッチ (77ページ)
3. 録画START/STOPボタン
4. ND FILTERダイヤル (34ページ)

5. ASSIGN (アサインابل) 1 ～ 3ボタン (37ページ)
6. PRESET/VARIABLEスイッチ (34ページ)
7. ND/IRISスイッチ

8. ND/IRISダイヤル

ND/IRISスイッチをNDの位置にするとNDダイヤルとして働きます。IRISの位置にするとIRISダイヤルとして働きます。IRISダイヤルにはほかの機能を割り当てることもできます (37ページ)

9. IRISボタン (33ページ)

10. PUSH AUTO IRIS (プッシュオートアイリス) ボタン (33ページ)

11. FOCUSスイッチ (31ページ)

12. PUSH AUTO FOCUS (ワンプッシュオートフォーカス) ボタン (31ページ)

13. POWERランプ (30ページ)

14. POWERスイッチ (13ページ)

15. ASSIGN (アサインابل) 7 ～ 10ボタン (37ページ)

16. CH1 LEVEL CONTROLスイッチ (35ページ)

17. CH1 INPUT LEVELダイヤル (35ページ)

18. CH2 LEVEL CONTROLスイッチ (35ページ)

19. CH2 INPUT LEVELダイヤル (35ページ)

20. SLOT SELECT (XQDメモリーカード選択) ボタン (23ページ)

21. CANCEL/BACKボタン (47ページ)

22. MENU (メニュー) ボタン (49ページ)

23. THUMBNAIL (サムネイル) ボタン (46ページ)

24. 右ボタン

数値の設定やサムネイル画面、メニュー表示でカーソルを右に移動するためのボタンです。

25. SEL/SET (選択/確定) ダイヤル

回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。押すと選択している項目を確定します。

26. 左ボタン

数値の設定やサムネイル画面、メニュー表示でカーソルを左に移動するためのボタンです。

27. SHUTTER (シャッター) ボタン (33ページ)

28. WHT BAL (ホワイトバランスメモリー切り替え) スwitch (34ページ)

29. WHT BAL (ホワイトバランス) ボタン (34ページ)

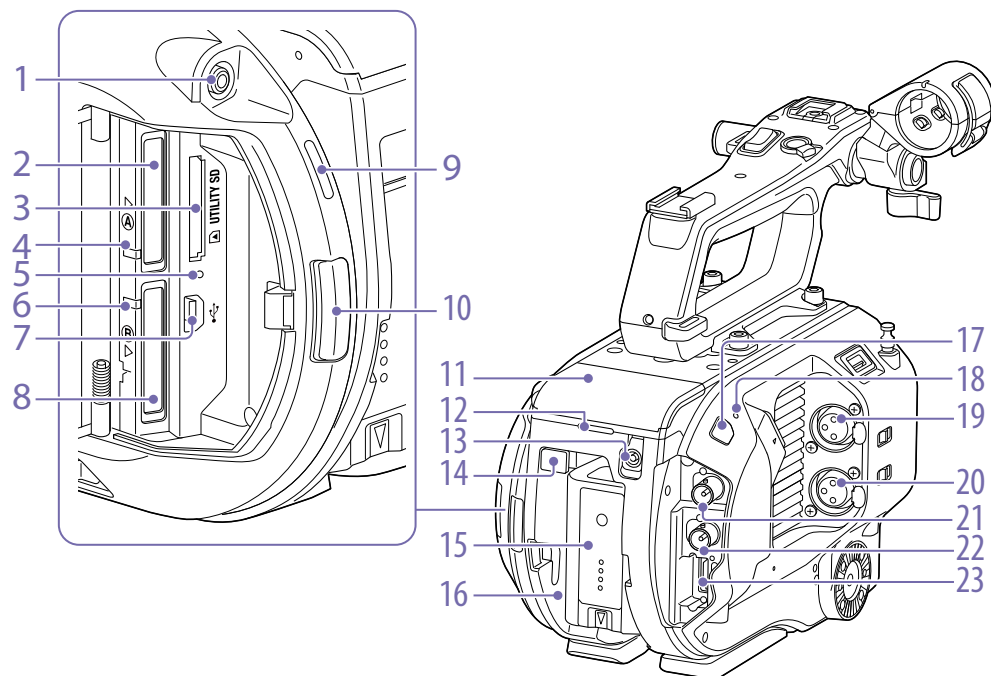
30. ISO/GAINスイッチ (33ページ)

31. ISO/GAINボタン (33ページ)

32. DISPLAY (画面表示) ボタン (9ページ)

33. STATUS CHECKボタン (11ページ)

カードスロット部・背面・端子部



- | | |
|---|-----------------------------|
| 1. ヘッドホン端子 (32ページ) | 8. XQDカードスロット (B) (23ページ) |
| 2. XQDカードスロット (A) (22ページ) | 9. 本体内蔵スピーカー (32ページ) |
| 3. UTILITY SDカードスロット (25ページ) | 10. メディア蓋リリースボタン (23ページ) |
| 4. アクセスランプ (XQD A) (23ページ) | 11. 拡張ユニット接続端子 (26ページ) |
| 5. アクセスランプ (SDカード) (25ページ) | 12. リア録画ランプ (30ページ) |
| 6. アクセスランプ (XQD B) (23ページ) | 13. DC IN端子 (13ページ) |
| 7. USB端子 | 14. BATT RELEASEボタン (13ページ) |
| コンピューターから本機のXQDカードスロット内の記録メディアにアクセスするときにコンピューターを接続する端子です。 | 15. バッテリー (13ページ) |
| | 16. バッテリーパック装着部 (13ページ) |

17. 赤外線リモコン受光部 (28ページ)

18. 本体内蔵マイク (35ページ)

環境音収録用のナレーションマイクです。

19. INPUT1 (オーディオ入力1) 端子 (35ページ)

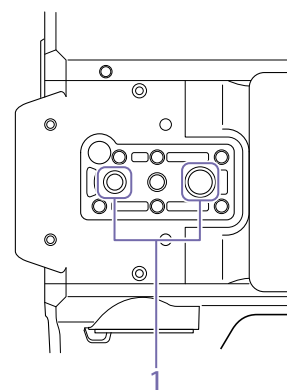
20. INPUT2 (オーディオ入力2) 端子 (35ページ)

21. SDI OUT 1端子 (81ページ)

22. SDI OUT 2端子 (81ページ)

23. HDMI OUT端子 (81ページ)

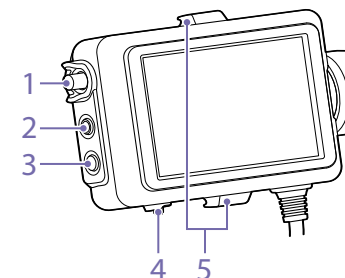
底面



1. 三脚用ネジ穴 (1/4インチ、3/8インチ)
1/4-20UNCネジ、3/8-16UNCネジに対応三脚 (別売、ネジの長さ5.5 mm以下) を取り付けます。

ビューファインダー

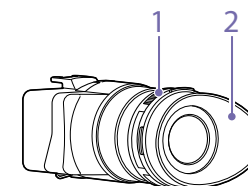
ビューファインダー (付属) やアイピースの取り付けについては、15ページをご覧ください。



1. CONTRAST調整つまみ
2. PEAKINGボタン
3. ZEBRAボタン
4. MIRRORスイッチ
5. アイピース取り付けフック

アイピース

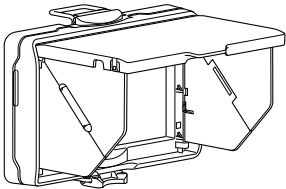
アイピース (付属) の取り付けについては、16ページをご覧ください。



1. 視度調節つまみ
2. アイカップ

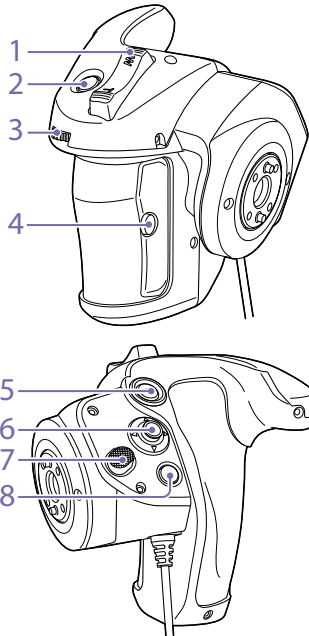
ビューファインダーフード

ビューファインダーフード (付属) の取り付けについては、17ページをご覧ください。



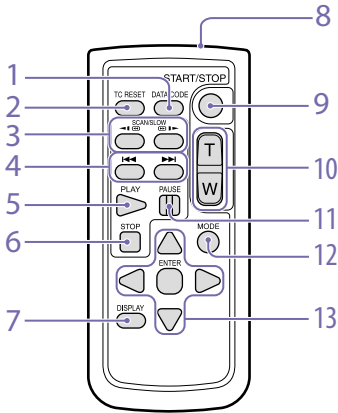
グリップリモコン

グリップリモコン (付属) の取り付けについては、18ページをご覧ください。



- 1. ズームレバー
- 2. ASSIGN (アサイナブル) 4ボタン
- 3. アサイナブルダイヤル
- 4. ASSIGN (アサイナブル) 6ボタン
- 5. 録画START/STOPボタン
- 6. マルチセクター
- 7. グリップ回転ボタン
- 8. ASSIGN (アサイナブル) 5ボタン

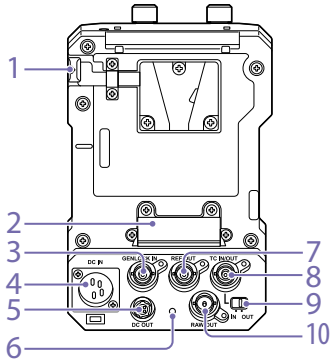
赤外線リモコン



- 1. DATA CODEボタン
本機に対応していない機能のため、使用しません。
- 2. TC RESETボタン
- 3. SCAN/SLOWボタン
- 4. ◀◀/▶▶ (PREV/NEXT) ボタン
- 5. PLAYボタン
- 6. STOPボタン
- 7. DISPLAYボタン
- 8. リモコン発光部
- 9. START/STOPボタン
- 10. ズームレバー
- 11. PAUSEボタン
- 12. MODEボタン
本機に対応していない機能のため、使用しません。
- 13. ◀/▶/▲/▼/ENTERボタン

拡張ユニット (別売)

拡張ユニット (別売) の取り付けについては、26ページをご覧ください。



- 1. BATT RELEASEボタン
- 2. Battery端子
- 3. GENLOCK IN端子
- 4. DC IN端子
- 5. DC OUT端子
- 6. 録画ランプ
- 7. REF OUT端子
- 8. TC IN/OUT端子
- 9. TC IN/OUTスイッチ
- 10. RAW OUT端子

画面表示

ビューファインダー画面

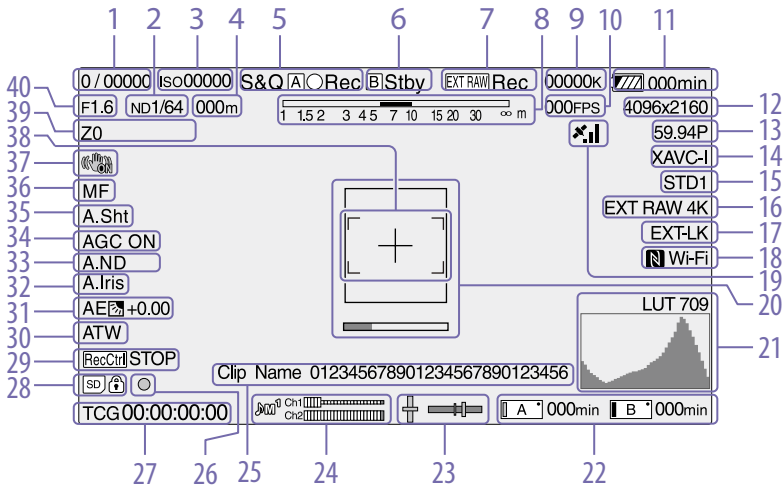
撮影中（記録中/記録待機中）および再生中は、ビューファインダー画面の映像に本機の状態や設定が重ねて表示されます。

表示/非表示の切り替えは、DISPLAYボタンで行います。

また、項目ごとに表示/非表示を選択することもできます（66ページ）。

本機のビューファインダー画面には、イメージセンサーが捉えた17:9の映像が表示されます。16:9の記録フォーマットでは、左右の映像が暗くなっている部分は記録されません。

撮影中の画面に表示される情報



- 1. シャッターモード/シャッタースピード表示 (34ページ)
- 2. NDフィルター表示 (34ページ)
- 3. ゲイン表示 (33ページ)
SystemメニューのBase Setting (73ページ)の、Shooting Modeが「Cine EI」に設定されているときは、EI 値を表示します。
- 4. フォーカスポジション表示
フォーカスの位置を表示します。（フォーカス設

定表示対応レンズ装着時のみ)

5. 記録モード/ Slot A/B アイコン/ステータス表示

表示	意味
[A]/[B] ●Rec	録画中
[A]/[B] Stby	録画待機中
S&Q [A]/[B] ●Rec	スロー&クイックモーション、High Frame Rateモード録画中

表示	意味
S&Q [A]/[B] Stby	スロー&クイックモーション、High Frame Rateモード録画待機中
Int [A]/[B] ●Rec	インターバルレック録画中
Int [A]/[B] ●Stby	インターバルレック映像取り込み待ち
Int [A]/[B] Stby	インターバルレック録画待機中
[A]/[B] ●	ピクチャーキャッシュレック実行中
[A]/[B] ●Cache	ピクチャーキャッシュレック待機中

6. Slot B アイコン/ステータス表示

表示	意味
[B] ●Rec	録画中
[B] Stby	録画待機中

- 7. 外部RAW記録中表示 (41ページ)
- 8. 被写界深度表示
- 9. 色温度表示 (34ページ)
- 10. S&Q撮影フレームレート設定表示 (37ページ) / インターバルレック記録間隔時間表示 (38ページ)
- 11. バッテリー残量/DC IN電圧表示 (13ページ)
- 12. 記録フォーマット (画サイズ) 表示 (21、74ページ)
XQDメモリーカードに記録される画サイズを表示します。
画サイズの左に、イメージャーの読み出しモード (F : 2K Full、C : 2K Center) を表示します。CodecにRAWのみを設定している場合は、イ

- メージャーの読み出しモードのみ表示されます。(2KF : 2K Full、2KC : 2K Center)
- 13. 記録フォーマット (フレームレートとスキャン方式)
 - 14. 記録フォーマット (コーデック) 表示 (33ページ)
XQDメモリーカードに記録されるフォーマット名称を表示します。
 - 15. ガンマ/モニター LUT表示 (58、64ページ)
ガンマ設定値を表示します。Shooting Mode (73ページ) がCine EIのときは、XQDメモリーカードに記録される映像のガンマまたはモニター LUTの設定を表示します。
 - 16. 外部RAW出力フォーマット表示 (41ページ)
 - 17. タイムコード外部ロック表示
他機のタイムコードにロックさせると「EXT-LK」と表示されます。
 - 18. Wi-Fi接続状態表示 (43ページ)
Wi-Fi機能が有効 (Enable) のときに表示します。本機にIFU-WLM3が取り付けられていない場合は、[Wi-Fi]は表示されません。
 - 19. GPS状態表示 (40ページ)
GPSの状態を表示します。
 - 20. フォーカスアシスト表示 (31ページ)
フォーカスの合焦点を検出する領域を示す検出枠 (Focus Area Marker) と、検出枠内のフォーカス合焦点を示すレベルバー (Focus Assist Indicator) を表示します。

21. 映像信号モニター

ウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムを表示します (40ページ)。

22. A/Bスロットメディア状態/残量表示 (24ページ)

アイコンの左がオレンジのとき：記録対象
アイコン右上の緑ランプ点灯時：再生対象

23. 水準器表示

本機の水平と前後方向の傾きが±1°刻みで±20°まで表示されます。

24. オーディオレベルメーター

CH3とCH4はステータス画面で確認できます。

25. クリップ名表示 (46ページ)

26. フォーカス表示 (31ページ)

27. タイムデータ表示 (36ページ)

28. UTILITY SDカード表示 (25ページ)

29. SDI/HDMI出力の記録制御状態表示/
Parallel Rec表示 (42ページ)

30. ホワイトバランスモード表示 (34ページ)

表示	意味
W:P	プリセットモード
W:A	メモリーモードA
W:B	メモリーモードB

31. AEモード表示 (33ページ)

32. オートアイリス表示 (33ページ)

33. オートNDフィルター表示 (34ページ)

34. AGC 表示 (33ページ)

35. オートシャッター表示 (33ページ)

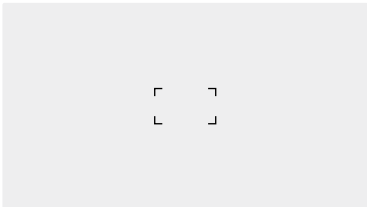
36. フォーカスモード表示

37. 手ブレ補正モード表示

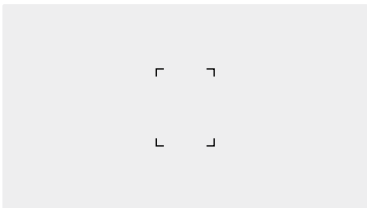
38. フォーカスエリア表示

オートフォーカスでピントを合わせる領域が表示されます。(Focus Area Indicator)

ブッシュオートフォーカスできるとき



オートフォーカスのとき



Focus Area (54ページ) の設定がWideのときは表示されません。

39. ズームポジション表示

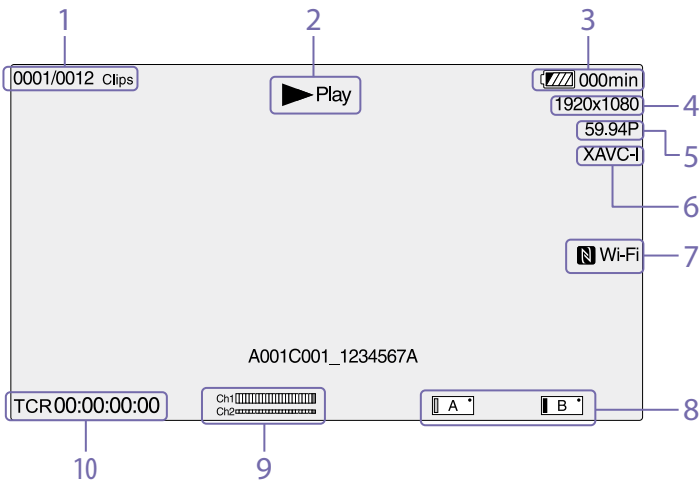
ズームの位置が0 (広角端) ～ 99 (望遠端) の範囲で表示されます。(ズーム設定表示対応レンズ装着時のみ)
バー表示に変えることもできます (67ページ)。

40. アイリスポジション表示

アイリスの位置が表示されます。(アイリス設定表示対応レンズ装着時のみ)

再生中の画面に表示される情報

再生画像には、次のような情報が重ねて表示されます。



1. クリップ番号/クリップ総数

2. 再生モード表示

3. バッテリー残量表示

4. 再生フォーマット (画サイズ) 表示

5. 再生フォーマット (フレームレート) 表示

6. 再生フォーマット (コーデック) 表示

7. Wi-Fi接続状態表示 (43ページ)

Wi-Fi機能が有効 (Enable) のときに表示します。
本機にIFU-WLM3が取り付けられていない場合は、は表示されません。

8. メディア表示

9. オーディオレベル表示

記録時のオーディオレベルを表示します。

10. タイムデータ表示

VFメニューのDisplay On/OffのTimecodeがOnのとき、画面を表示した状態でDISPLAYボタンを押すと表示されます。

ステータス画面

ステータス画面では、本機の設定や状態を確認することができます。

ステータス画面を表示させるには

- STATUS CHECKボタンを押す

ステータス画面を切り替えるには

- SEL/SETダイヤルを回す
- マルチセクターを上下に動かす

ステータス画面を消すには

- STATUS CHECKボタンを押す

カメラステータス画面

カメラの電子シャッター設定やレンズの状態を表示します。

表示項目	説明
ISO/Gain<H>	ISO/Gain<H>の設定値
ISO/Gain<M>	ISO/Gain<M>の設定値
ISO/Gain<L>	ISO/Gain<L>の設定値
Gamma	Gamma Selectの設定値
Matrix	MatrixのPreset Selectの設定値
ND<Preset1>	Preset1の設定値
ND<Preset2>	Preset2の設定値
ND<Preset3>	Preset3の設定値
Zebra1	ゼブラ1のOn/Offと設定レベル
Zebra2	ゼブラ2のOn/Offと設定レベル
AE Speed	AEの制御スピードの設定値
AGC Limit	AGC機能の最大ゲインの設定値

表示項目	説明
A.SHT Limit	オートシャッター機能の最速シャッタースピード
White	ホワイトバランスのモードと設定
Focal Length	レンズから得たFocal Length値

オーディオステータス画面

各チャンネルの入力設定、オーディオレベルメーターと風音低減フィルターの設定状態を表示します。

表示項目	説明
CH1のレベルメーター	CH1のレベルメーター
CH1 Source	CH1の入力ソース
CH1 Ref./Sens.	CH1に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH1 Wind Filter	CH1に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH2のレベルメーター	CH2のレベルメーター
CH2 Source	CH2の入力ソース
CH2 Ref./Sens.	CH2に入力されたINPUTのリファレンスレベル
CH2 Wind Filter	CH2に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH3のレベルメーター	CH3のレベルメーター
CH3 Source	CH3の入力ソース
CH3 Wind Filter	CH3に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態
CH4のレベルメーター	CH4のレベルメーター
CH4 Source	CH4の入力ソース
CH4 Wind Filter	CH4に入力されたマイクのウインドフィルターの設定状態

表示項目	説明
Audio Input Level	音声入力レベルの設定状態
Monitor CH	モニターチャンネルの設定状態
HDMI Output CH	HDMIに出力される音声チャンネルの組み合わせの設定状態
Headphone Out	ヘッドホン出力方式の設定状態

システムステータス画面

ビデオ信号の設定を表示します。

表示項目	説明
Country	NTSC地域またはPAL地域の設定状態
Rec Format	XQDメモリーカードに記録するフォーマット
Picture Size	XQDメモリーカードに記録する画サイズ
Frame Rate	XQDメモリーカードに記録するフレームレート
Rec Function	Onになっている特殊記録とその設定
Simul Rec	Simul RecのOn/Off状態
Picture Cache Rec	Picture Cache RecのOn/Off状態
Video Light Set	ビデオライトHVL-LBPC (別売)の点灯/消灯条件の設定状態
Imager Scan	イメージャーの読み出しモード

ビデオアウトプットステータス画面

SDI、HDMI、ビデオ出力の設定を表示します。

表示項目	説明
SDI1	出力画サイズ 色空間 画面表示出力 Gamma
SDI2	出力画サイズ 色空間 画面表示出力 Gamma
HDMI	出力画サイズ 色空間 画面表示出力 Gamma
REF	出力画サイズ
RAW	出力画サイズ

アサインابلボタンステータス画面

各アサインابلボタンに割り当てた機能を表示します。

表示項目	説明
1	ASSIGN1ボタンに割り当てられている機能
2	ASSIGN2ボタンに割り当てられている機能
3	ASSIGN3ボタンに割り当てられている機能
4	ASSIGN4ボタンに割り当てられている機能
5	ASSIGN5ボタンに割り当てられている機能
6	ASSIGN6ボタンに割り当てられている機能

表示項目	説明
7	ASSIGN7ボタンに割り当てられている機能
8	ASSIGN8ボタンに割り当てられている機能
9	ASSIGN9ボタンに割り当てられている機能
10	ASSIGN10ボタンに割り当てられている機能
IRIS Dial	IRISダイヤルに割り当てられている機能
Assignable Dial	アサインابلダイヤルに割り当てられている機能

バッテリーステータス画面

バッテリーまたはDC IN電源の情報を表示します。

表示項目	説明
Detected Battery	バッテリーの種類
Remaining	残容量 (%)
Charge Count	充電を行った回数
Capacity	残容量 (Ah)
Voltage	電圧 (V)
Manufacture Date	バッテリーの製造年月日
Video Light Remaining	ビデオライトバッテリー残量表示
Power Source	電源供給源
Supplied Voltage	供給電源電圧

メディアステータス画面

記録メディア (XQDメモリーカードA/XQDメモリーカードB) の残量および残記録可能時間を表示します。

表示項目	説明
メディアAのメディア情報	Aスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
メディアAのプロテクト情報	Aスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
	【ご注意】 本機でXQDメモリーカードをプロテクトすることはできません。
メディアAの残量メーター	Aスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メディアAの残時間	現在と同じ状態でAスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示する
メディアBのメディア情報	Bスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
メディアBのプロテクト情報	Bスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
	【ご注意】 本機でXQDメモリーカードをプロテクトすることはできません。
メディアBの残量メーター	Bスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
メディアBの残時間	現在と同じ状態でBスロットに挿入されている記録メディアに記録したときの予測残時間を分単位で表示する

表示項目	説明
SDカードのメディア情報	UTILITY SDカードスロットにメディアが挿入されているとき、Mediaアイコンを表示する
SDカードのプロテクト情報	UTILITY SDカードスロットに挿入されている記録メディアがプロテクトされているとき、Protectアイコンを表示する
SDカードの残量メーター	UTILITY SDカードスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、残比率で表したバーで表示する
SDカードの残容量	UTILITY SDカードスロットに挿入されている記録メディアの残容量を、単位GBで表示する

録画ボタン設定表示画面

録画START/STOPボタンとハンドル録画START/STOPボタンの設定状態を表示します (30ページ)。

表示項目	説明
Rec Button	録画START/STOPボタンで記録するスロットを表示する
Handle Rec Button	ハンドル録画START/STOPボタンで記録するスロットを表示する

電源の準備

バッテリーパック、またはACアダプターを介してAC電源を使用できます。
安全のため、下記ソニー純正以外のバッテリーパックを使用しないでください。

リチウムイオンバッテリーパック
BP-Uシリーズ

バッテリーチャージャー
BC-U1A
BC-U2A

ACアダプター（付属）

警告

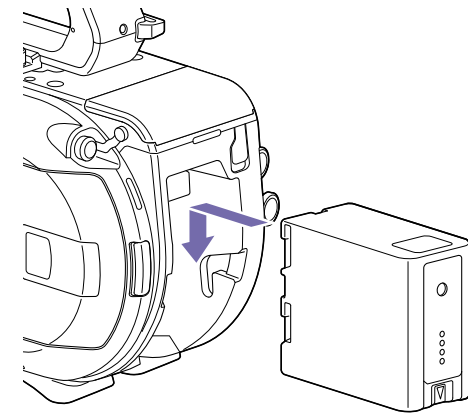
直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

【ご注意】

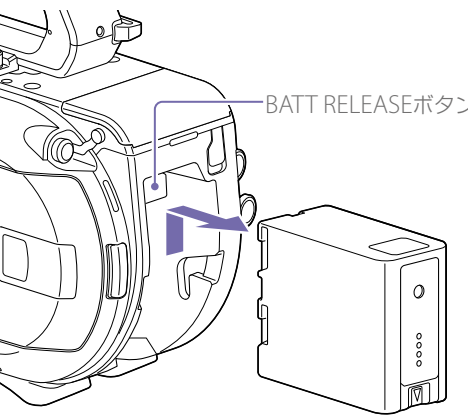
- コンセントにつないで使うときは、付属のACアダプターをご使用ください。
- バッテリーパックやACアダプターは、必ず本機のPOWERスイッチをOffの位置にしてから脱着してください。POWERスイッチをOnの位置のまま脱着した場合、まれに起動しなくなることがあります。もし起動しなくなった場合には、POWERスイッチをOffの位置にしてからバッテリーパックおよびACアダプターを一旦取り外し、約30秒放置した後に取り付けてください。（バッテリーパックで動作中の本機にACアダプターを着脱する場合は、POWERスイッチはOnの位置のままです問題ありません。）

バッテリーパックを使う

バッテリーパックをバッテリーパック装着部（7ページ）の奥まで差し込んで、下にスライドさせてロックします。



取り外すときは、BATT RELEASEボタン（7ページ）を押しながらバッテリーパックを上へスライドさせてロックを外し、引き抜きます。



【ご注意】

- 装着する前に、専用のバッテリーチャージャー BC-U1AまたはBC-U2Aを使用して充電してください。
- 使用直後でバッテリーパックの温度が上昇した状態で充電すると、完全に充電されないことがあります。

残量を確認する

バッテリーパックを使用して撮影・再生しているときは、ビューファインダー画面（9ページ）にバッテリー残量が表示されます。

アイコン	残量
	100%～ 91%
	90%～ 71%
	70%～ 51%
	50%～ 31%
	30%～ 11%
	10%～ 0%

残量は、現在の消費電流のペースで本機を継続使用した場合のバッテリーパックの使用可能時間を計算して分単位で表示されます。

拡張ユニット使用時について

拡張ユニットXDCA-FS7使用時は、使用するバッテリーによってバッテリー電圧またはバッテリー残量が表示されます。

【ご注意】

本機にXDCA-FS7を取り付けている場合は、本機のバッテリーパックは使用できません。XDCAFS7にバッテリーパックを装着するか、または電源を接続する必要があります。

バッテリーパックの容量が低下すると

使用中にバッテリーパックの容量が一定の値まで低下すると（Low BATT状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージが画面に表示され、録画ランプの点滅とブザー音で警告します。

さらに容量が減り、動作が継続不可能な状態に

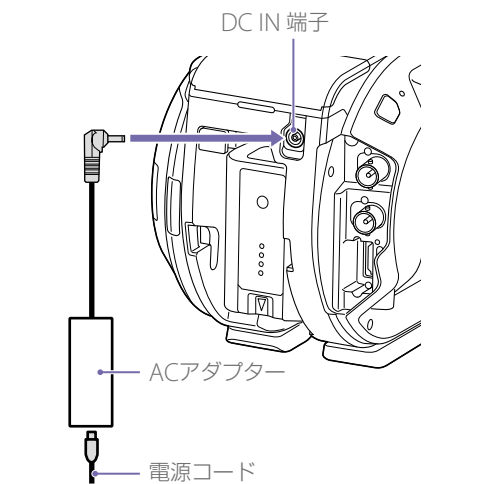
なると（BATT Empty状態）、バッテリーパックの残りが少ないことを知らせるメッセージに切り替わります。
充電されたバッテリーパックに交換してください。

警告残量を変更する

工場出荷時には、Low BATTはフル充電の10%、BATT Emptyは3%に設定されています。これらの設定は、SystemメニューのCamera Battery Alarm（78ページ）で変更することもできます。

コンセントにつないで使う

バッテリーが切れることを心配しないで使えます。



ACアダプターを本体のDC IN端子につなぎ、電源コード（付属）をコンセントにつなぎます。

ACアダプターの出力電圧が低下すると

使用中にACアダプターの出力電圧が一定の値まで低下すると（DC Low Voltage1状態）、ACアダプターの出力電圧が低下していることを知らせるメッセージが画面に表示され、録画ランプの点滅とブザー音で警告します。

さらに電圧が低下し、動作が継続不可能な状態になると（DC Low Voltage2状態）、ACアダプターの出力電圧が不足していることを知らせるメッセージに切り替わります。

ACアダプターが故障している可能性がありますので、必要に応じて点検を行ってください。

警告残量を変更する

工場出荷時には、DC Low Voltage1は11.5V、DC Low Voltage2は11.0Vに設定されています。これらの設定は、SystemメニューのCamera DC IN Alarm（79ページ）で変更することもできます。

ACアダプターについて

- ACアダプターを壁との隙間などの狭い場所に設置して使用しないでください。
- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターのプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。
- ACアダプターをつないでも本機に装着したバッテリーを充電することはできません。

機器の取り付け・調整

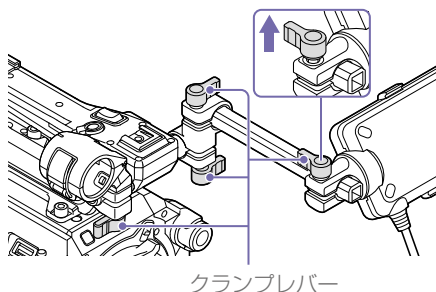
クランプレバーの操作について

マイクホルダーとビューファインダーの取り付けや取り外し、位置調節をするときはクランプレバーを操作します。

取り付けるときは、クランプレバーを時計方向に回してロッドを固定します。

取り外すときや位置調節するときは、クランプレバーを反時計方向に回し、クランプレバーを緩めます。

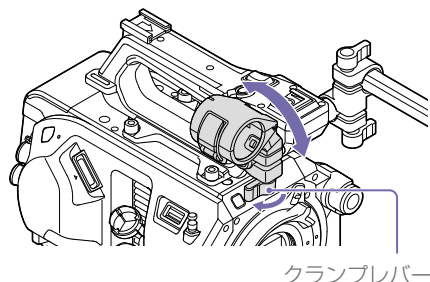
クランプレバーが回しにくい位置にある場合は、クランプレバーを引き出してから操作しやすい位置まで回します。位置を決めたらクランプレバーを元の位置にもどします。



クランプレバー

マイクホルダーの位置を調節する

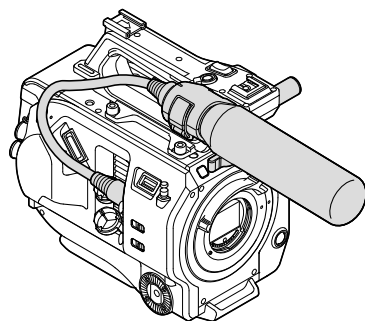
クランプレバーを緩め、マイクホルダーを前後に回して位置を調節します。



クランプレバー

マイクホルダーとマイクの取り付け方向について

マイクホルダーとマイクは下図のように取り付けてください。

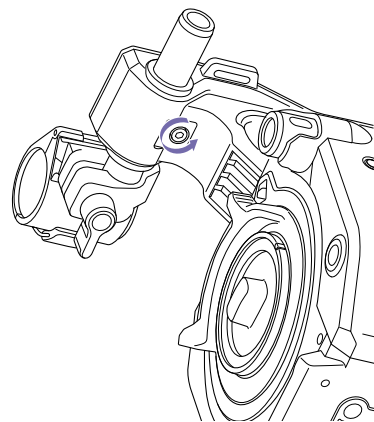


マイクロッドを交換する

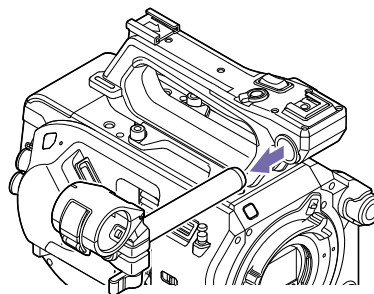
【ご注意】

- マイクロッドは取り付けた状態で出荷されています。
- マイクロッドの取り付け・取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- マイクロッドの取り付け・取り外しは、イメージセンサーを傷つけないようボディキャップを装着して行ってください。

1 ネジを緩める。



2 マイクロッドを引き抜く。



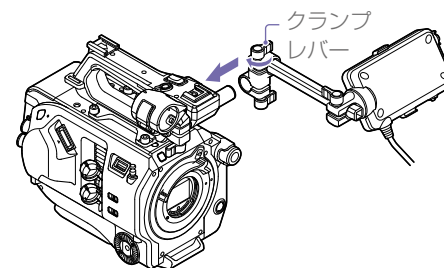
3 逆の手順でマイクロッドを取り付ける。

ビューファインダーを取り付ける

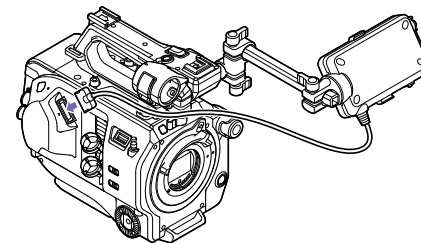
【ご注意】

ビューファインダーの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

1 ビューファインダーのクランプレバーを緩め、マイクロッドに差し込んで取り付ける。



2 ビューファインダーの左右位置が決まったらクランプレバーを回して締め、ビューファインダーケーブルを本機のビューファインダー接続端子に接続する。

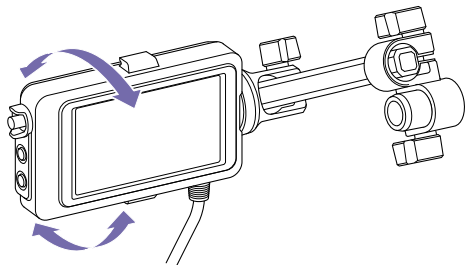


【ご注意】

確実にビューファインダーが取り付けられていることを確認してください。クランプレバーが緩んでいると、撮影中にビューファインダーが抜け落ちる恐れがあります。

ビューファインダーの向きを調節する

ビューファインダーを上下方向に回して、見やすい角度に調節します。



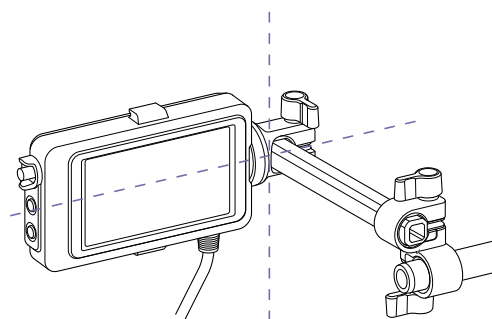
対面撮影にも活用できます。MIRRORスイッチ(39ページ)をB/Tの位置にすると液晶画面には左右反転して映りますが、実際には左右正しく録画されます。

ビューファインダーの位置を調節する

90°単位で調節する

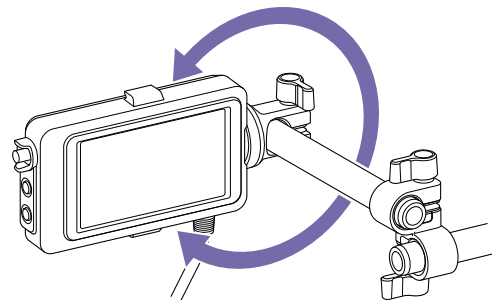
ロッドの接続部に角形クランプスペーサーが取り付けられている場合は、90°単位でビューファインダーの位置を調節できます。

一度ビューファインダーを取り外し、角度を変えて取り付けます。



任意の角度で調節する

ロッドの接続部に丸形クランプスペーサーが取り付けられている場合は、ロッドを軸にビューファインダーを回転して位置を調節できます。



【ご注意】

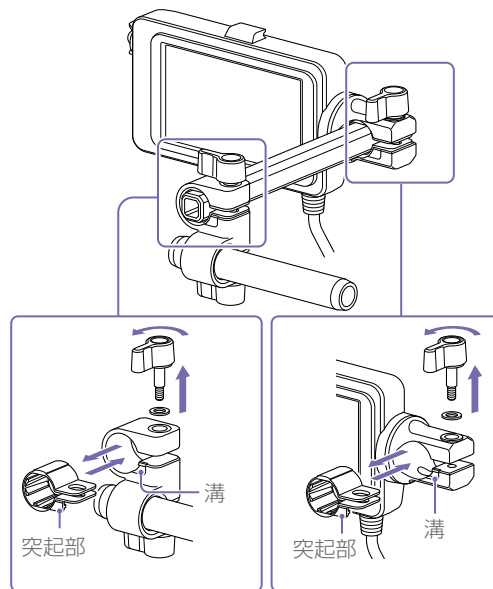
丸形クランプスペーサーを取り付けた場合は、ロッドも市販のφ15mmのロッドに付け替えてください。

メモ

初期状態では角形クランプスペーサーが取り付けられています。

クランプスペーサーを付け替える

下図のようにクランプスペーサーを取り外して、角形または丸形クランプスペーサーの突起部をクランプの溝に合わせて取り付けます。

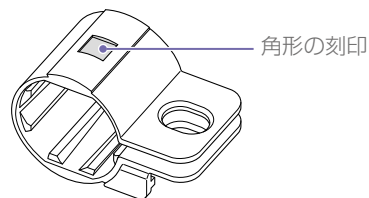


【ご注意】

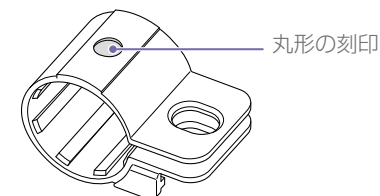
ワッシャーを必ず取り付けてください。ワッシャーがないと、ロッドの締め付け不足になり、ビューファインダーが落下するおそれがあります。

スペーサーの形状は、下図のように見分けることができます。

角形クランプスペーサー

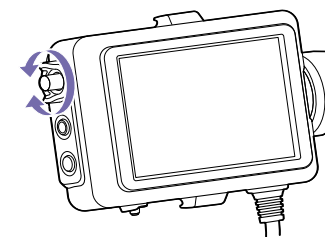


丸形クランプスペーサー



ビューファインダーのコントラストを調節する

CONTRAST調整つまみを回して、コントラストを調節します。



ビューファインダーの明るさは、VFメニューのVF SettingのBrightness(65ページ)で調節します。

ビューファインダーを取り外す

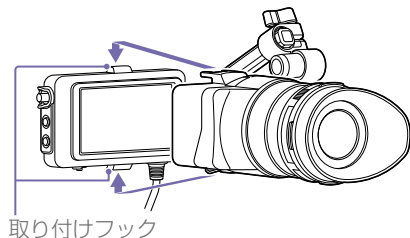
ビューファインダーのクランプレバーを緩め、ビューファインダーを取り付けたときと逆の方向に抜き取ります。

アイピースを取り付ける

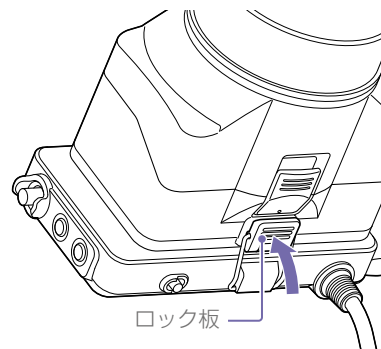
【ご注意】

アイピースの取り付け／取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

- 1 ビューファインダー上部の取り付けフックにアイピース上部のフックをひっかけてから、下部の取り付けフックにアイピース下部の金具をひっかける。

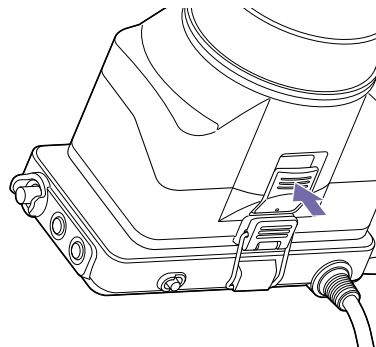


- 2 アイピース下部のロック板を矢印の方向に押し上げてアイピースをロックする。

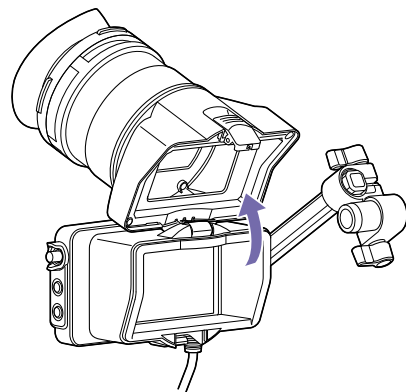


アイピースを開く

矢印部のボタンを押します。



ロックが外れて、アイピースが上方に開きます。アイピースをつけたままビューファインダーを直視できます。



アイピースを取り外す

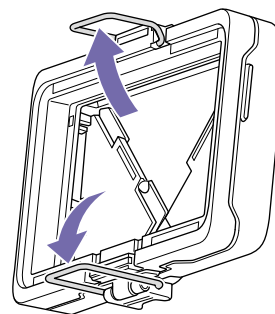
アイピースのロックを解除してビューファインダーからアイピースを取り外します。

ビューファインダーフードを取り付ける

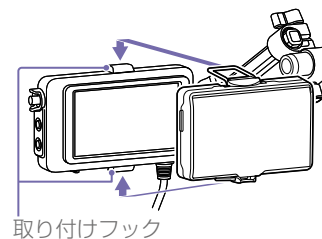
【ご注意】

ビューファインダーフードの取り付け／取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

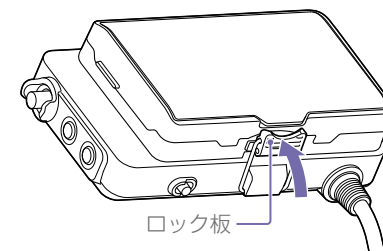
- 1 ビューファインダーフードの金具を開く。



- 2 ビューファインダー上部の取り付けフックにビューファインダーフード上部の金具をひっかけてから、下部の取り付けフックにビューファインダーフード下部の金具をひっかける。

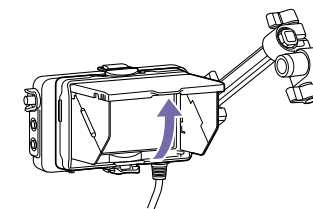


- 3 ビューファインダーフード下部のロック板を矢印の方向に押し上げてビューファインダーフードをロックする。



ビューファインダーフードカバーを開く

ビューファインダーフードカバーの中央下部を手前に引き、上方に開く。



【ご注意】

ビューファインダーを動かすときは、ビューファインダーを持って動かしてください。ビューファインダーフードを持って動かさないでください。

ビューファインダーフードを取り外す

ビューファインダーフードのロックを解除してビューファインダーからビューファインダーフードを取り外します。

レンズを取り付ける

⚠ 警告

レンズを太陽に向けて放置しないでください。太陽光がレンズを通して機器内部に焦点を結び、火災の原因となることがあります。

【ご注意】

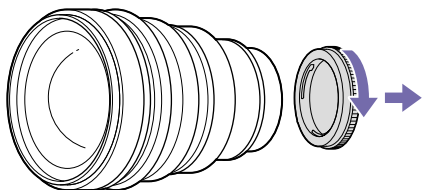
- レンズを取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。
- レンズは精密部品です。レンズは、マウント部側を下にして直に置かないでください。必ず付属のキャップをかぶせてください。

【メモ】

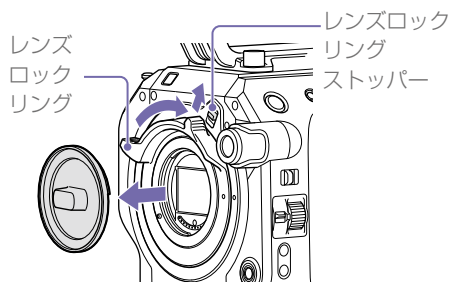
本機で使用できるレンズについて詳しくは、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

Eマウントレンズを取り付ける

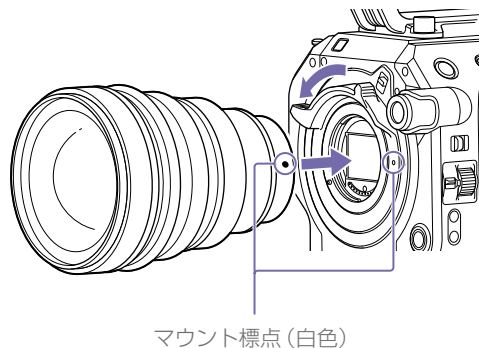
1 レンズからカバーを外す。



2 レンズロックリングストッパーを解除し、レンズロックリングを時計方向に回して、本体からボディキャップを外す。



3 本体とレンズのマウント標点（白色）を合わせて、レンズを軽く本体に押し付けながら、レンズロックリングを反時計方向にゆっくり回して、レンズをしっかり締め付け装着する。



マウント標点（白色）

【ご注意】

- レンズを取り付けたときに、レンズロックリングストッパーがロック位置になっていない場合は、手動でロック位置にしてください。
- レンズを取り付けるときは、レンズロックリングの標点（白色）と本体の標点（白色）を揃えてください。

Aマウントレンズを取り付ける

Aマウントレンズを取り付けて使用する場合は、マウントアダプター（別売）を取り付けてからAマウントレンズを装着してください。

【ご注意】

- Aマウントレンズ使用時はIrisがマニュアルになります。
- LA-EA4またはLA-EA2を装着してフォーカスをAFに設定すると、IrisはF3.5または開放端に固定されます。

レンズを取り外す

次の手順で取り外してください。

1 レンズロックリングストッパーを解除し、レンズをしっかり支えながらレンズロックリングを時計方向に回す。

2 レンズを前方に引き抜く。

【ご注意】

- レンズを取り外すときは、レンズロックリングの標点と本体の標点を揃えてください。
- レンズを落とさないように、レンズを手でしっかりと持って取り外してください。
- 別のレンズをすぐに取り付けたいときは、必ずボディキャップを取り付けてください。

レンズにAuto Irisスイッチがついている場合のアイリス調整について

- レンズのAuto IrisをAUTOにすると、アイリスの自動調整、または本機からの手動調節操作が可能です。
- レンズのAuto IrisをMANUALにすると、レンズリング操作のみ可能となり、本機からのアイリス操作を受け付けなくなります。

レンズにフォーカス切り替えスイッチがついている場合のフォーカス調節について

- レンズのフォーカス切り替えスイッチを「AF/MF」または「AF」にすると、フォーカスの自動調節、または本機からの手動調節が可能です。
- レンズのフォーカス切り替えスイッチを「Full MF」または「MF」にすると、レンズリング操作のみ可能となり、本機からのフォーカス操作を受け付けなくなります。

三脚の取り付けについて

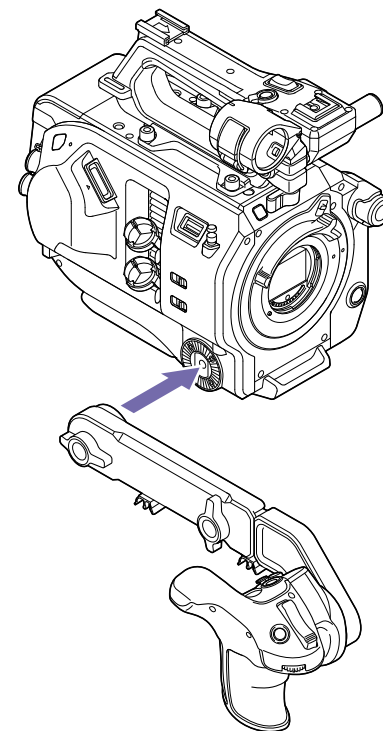
三脚に取り付けるときは、本機の三脚用ネジ穴をご使用ください。レンズの三脚座を使用すると、破損することがあります。

グリップリモコンを取り付ける

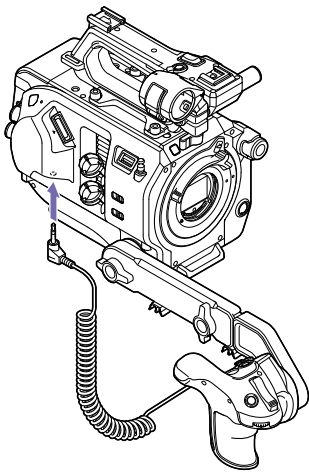
【ご注意】

グリップリモコンの取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

1 グリップ取り付け部にアームを取り付け、ネジを締めて固定する。



2 グリップリモコンケーブルを本機のREMOTE端子に接続する。

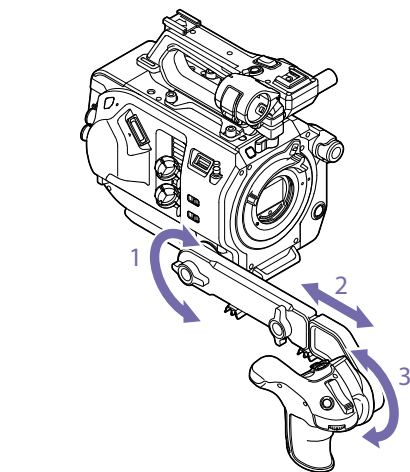


【ご注意】

- 確実に本機とアームが取り付けられていることを確認してください。ネジが緩んでいると、撮影中に本機が落ちる恐れがあります。
- グリップリモコンだけで本機の重量を支えないようにしてください。

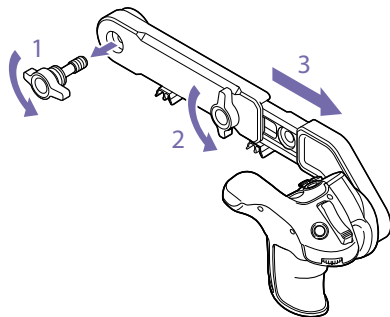
グリップリモコンの位置を調節する

- アーム取り付けネジを緩めて、アームの角度(1)を調節し、調節後ネジをしっかりと締め付ける。
- アーム伸縮ネジを緩めて、アームの長さ(2)を調節し、調節後ネジをしっかりと締め付ける。
- グリップ回転ボタン(8ページ)を押してグリップリモコンの角度(3)を調節する。



グリップを本機の近くに取り付ける

- 1 アーム取り付けネジを取り外す(1)。
- 2 アーム伸縮ネジ(2)を緩めて、穴が見えるまでアームを伸ばす(3)。

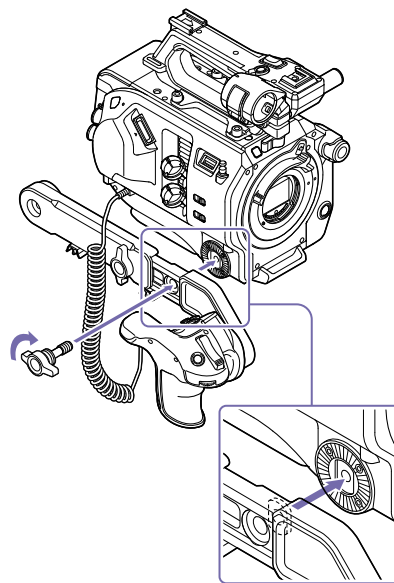


【ご注意】

アームを伸ばした後、ネジをしっかりと締め付けて固定してください。

- 3 グリップリモコンケーブルを本機のREMOTE端子に接続する。

- 4 グリップ取り付け部の凹みとアームの凸部を合わせてから、手順1で取り外したネジで固定する。

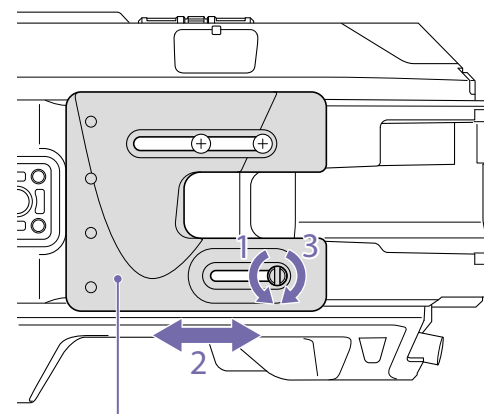


グリップリモコンを取り外す

- 1 本機からアームを取り外す。
- 2 グリップリモコンケーブルを本機のREMOTE端子から抜く。

ショルダーパッドの位置を調整する

ショルダーパッドは、前後にスライドさせることができます。本機を肩にのせた状態で操作しやすくなるように、ショルダーパッドの位置を調整してください。



ショルダーパッド

- 1 ショルダーパッドのネジ1本をコインなどで緩める。
- 2 前後方向にスライドして、適当な位置に調整する。
- 3 ネジを締めて固定する。

時計を合わせる

本機を初めて使用するときやバックアップ電池が放電してしまった後に、初めて本機の電源を入れるとビューファインダー画面に初回設定画面が表示されます。

この画面を使用して内蔵時計の日付/時刻を設定してください。

Time Zone について

UTC (協定世界時) からの時差を設定します。必要に応じて変更してください。

日付/時刻を設定する

SEL/SETダイヤル (6ページ) を回して項目や数値を選び、SEL/SETダイヤルを押して決定すると、時計が動き始めます。

設定画面が消えた後は、SystemメニューのClock Set (77ページ) を使用してTime Zoneおよび日時の設定を変更することができます。

[ご注意]

- 動作電源が供給されていない (バッテリーバックもDC IN電源も接続されていない) 状態でバックアップ電池が消耗するなどして現在日時の情報が失われた場合は、次に電源を入れると初回設定画面が表示されます。
- 初回設定画面が表示されている状態では、この画面での設定が完了するまで電源を切る以外の操作はできません。
- 本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。内蔵の充電式電池については、84ページをご覧ください。

本機の基本動作を設定する

撮影を始める前に、使用する運用形態に合わせて、基本動作の設定を行います。

撮影モード

本機では、現場で自在に映像の作りこみができる「Customモード」と、ポストプロダクション処理を前提とし、現場では画作りを行わないフィルムカメラと同等の使いかたができる「Cine EIモード」を切り替えて使用できます。SystemメニューのBase Setting (73ページ)のShooting Modeで切り替えます。

【ご注意】

Cine EIモードからカスタムモードに切り替えた際は、ガンマの設定はCine EIモードの設定が引き継がれます。

カラースペース

記録信号および出力信号のベースとなる色域を選択します。

撮影モードがCustomモードのときは、カラースペースはMatrix固定となります。

- Matrix：従来のビデオカメラと同様に、Matrix設定により色域を選択

撮影モードがCine EIモードのときは、MLUTをOffに設定した映像出力の色域を選択します。

- S-Gamut/SLog2：フィルムカメラに匹敵する広い色域
- S-Gamut3.Cine/SLog3：デジタルシネマの色域 (DCIP3) への調整がしやすい色域

- S-Gamut3/SLog3：ソニー独自の画像歪補正技術により最適化され、今後規格化される色域に対応可能な広い色域
- SystemメニューのBase Setting (73ページ)のColor Spaceで切り替えます。

イメージャースキャンモード

イメージセンサーの撮像方法の設定を行います。SystemメニューのBase Setting (73ページ)の、Imager Scan Modeで切り替えます。

- Normal：スロー&クイックモーションのハイフレームレートモード時以外は、Super 35mmサイズのフル画角をそのまま使用します。
RecordingメニューのS&Q Motion (69ページ)の、High Frame Rate Modeの設定がFull Scanのときは、Super 35mmサイズのフル画角のまま2Kデータに変換して使用します。Center Scanのときは、画面中心部のSuper 35mmの半分のサイズの2K画角を使用します。
- 2K Full：常時Super 35mmサイズのフル画角を2Kに変換して使用します。
- 2K Center：常時画面中心部のSuper 35mmの半分のサイズの2K画角を使用します。

【ご注意】

Imager Scan Mode (73ページ)の設定が2K Fullまたは2K Centerのときは、記録フォーマットの解像度は2K以下に制限されます。

XQDメモリーカードを使う

本機では、撮影した映像・音声を、カードスロット内のXQDメモリーカード（別売）に記録します。

XQDメモリーカードについて

本機では、下記のソニー製XQDメモリーカードをご使用ください。

他社製メディアの動作については、各社メディアの取扱説明書やメーカー情報をご確認ください。

XQDメモリーカード Sシリーズ

XQDメモリーカード Hシリーズ

XQDメモリーカード Nシリーズ

XQDメモリーカード Mシリーズ

XQDメモリーカード Gシリーズ

ソニー製XQDメモリーカード以外のメモリーカードをご使用の場合、動作の保証はいたしかねます。

[\[メモ\]](#)

XQDメモリーカードの使いかたや使用上のご注意については、XQDメモリーカードの取扱説明書をご覧ください。

推奨メディアについて

動作保証条件はRec FormatやRecording設定によって異なります。

Yes：動作を保証

No：保証しない

Format				XQD G XQD S (EB Stream)	XQD N XQD M	IBXQD XQD H XQD S (non EB Stream)
XAVC-I	4096×2160	–	59.94P	Yes	No	No
			50P	Yes	No	No
			29.97P	Yes	No	No
			25P	Yes	No	No
			24P	Yes	No	No
			23.98P	Yes	No	No

Format				XQD G XQD S (EB Stream)	XQD N XQD M	IBXQD XQD H XQD S (non EB Stream)
XAVC-I	3840×2160	–	59.94P	Yes	No	No
			50P	Yes	No	No
			29.97P	Yes	No	No
			25P	Yes	No	No
			23.98P	Yes	No	No
	1920×1080	Normal mode or S&Q (HFR* ¹ を除く)	59.94P	Yes	No	No
			59.94i	Yes	Yes	No
			50P	Yes	No	No
			50i	Yes	Yes	No
			29.97P	Yes	Yes	No
			25P	Yes	Yes	No
			23.98P	Yes	Yes	No
		S&Q (HFRモード)	59.94P	Yes	No	No
			50P	Yes	No	No
			29.97P	Yes	No	No
	XAVC-L	3840×2160	25P	Yes	No	No
			23.98P	Yes	No	No
			59.94P	Yes	Yes	No
			50P	Yes	Yes	No
			29.97P	Yes	Yes	No
			25P	Yes	Yes	No
			23.98P	Yes	Yes	No
	1920×1080	Normal mode or S&Q (HFRを 除く)	59.94P	Yes	Yes	Yes
			50P	Yes	Yes	Yes
			59.94i	Yes	Yes	Yes
			50i	Yes	Yes	Yes
			29.97P	Yes	Yes	Yes
			25P	Yes	Yes	Yes
			23.98P	Yes	Yes	Yes

Format				XQD G XQD S (EB Stream)	XQD N XQD M	IBXQD XQD H XQD S (non EB Stream)
XAVC-L	1920×1080	S&Q (HFRモード)	59.94P	Yes	Yes	No
			50P	Yes	Yes	No
			29.97P	Yes	50 Mbps: No 35 Mbps: Yes	No
			25P	Yes	No	No
			23.98P	Yes	No	No
MPEG HD 422	1920×1080	-	59.94i	Yes	Yes	Yes
			50i	Yes	Yes	Yes
			29.97P	Yes	Yes	Yes
			25P	Yes	Yes	Yes
			23.98P	Yes	Yes	Yes
	1280×720	-	59.94P	Yes	Yes	Yes
			50P	Yes	Yes	Yes
			29.97P	Yes	Yes	Yes
			25P	Yes	Yes	Yes
			23.98P	Yes	Yes	Yes
ProRes 422 HQ ^{*2}	1920×1080	-	59.94i	Yes	No	No
			50i	Yes	No	No
			29.97P	Yes	No	No
			25P	Yes	No	No
			23.98P	Yes	No	No
ProRes 422 ^{*2}	1920×1080	-	59.94i	Yes	Yes	No
			50i	Yes	Yes	No
			29.97P	Yes	Yes	No
			25P	Yes	Yes	No
			23.98P	Yes	Yes	No

*1 HFR: High Frame Rate
*2 ProResの記録には拡張ユニットXDCA-FS7 (別売) が必要です。

XQDメモリーカードを入れる

- 1
- メディア蓋リリースボタン (7ページ) を押してカードスロット部のメディア蓋を開ける。
- 2
- XQDメモリーカードを、XQDのラベルを左にして差し込む。
アクセスランプ (7ページ) が赤く点灯し、使用可能な状態になると緑で点灯します。
- 3
- メディア蓋を閉める。

- 【ご注意】
- 誤った向きで無理に入れると、メモリーカードやメモリーカードスロット、画像データが破損することがあります。
 - XQDカードスロットA/B両方にメディアを挿入して記録を行う際には、どちらのスロットにも、記録するフォーマットに対して動作が推奨されているメディアを挿入してください。

XQDメモリーカードを取り出す

メディア蓋リリースボタン (7ページ) を押してカードスロット部のメディア蓋を開け、XQDメモリーカードを軽く1回押して取り出します。

- 【ご注意】
- メモリーカードにアクセス中に本機の電源を切ったりメモリーカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するメモリーカードのアクセスランプが緑で点灯または消灯していることを確認してから操作してください。
 - 記録終了後にXQDメモリーカードを取り出した際、XQDメモリーカードが熱くなっている場合がありますが故障ではありません。

使用するXQDメモリーカードを切り替える

カードスロットAとBの両方にXQDメモリーカードが装着されているときは、SLOT SELECTボタン (6ページ) を押して使用するカードを切り替えることができます。
記録実行中にカードがフルになったときは、自動的にもう1枚のカードに切り替わります。

- 【ご注意】
- 再生中は、SLOT SELECTボタンは無効になります。ボタンを押しても切り替わりません。サムネイル画面 (46ページ) 表示中はボタン操作が有効です。

XQDメモリーカードをフォーマット (初期化) する

フォーマットされていないXQDメモリーカード、または別の仕様でフォーマットされたXQDメモリーカードを装着すると、メッセージ「フォーマットが必要なメディアです」がビューファインダー画面に表示されます。

下記の手順に従ってフォーマットしてください。

- 1 MediaメニューのFormat Media (71ページ) を選択する。
- 2 Media (A) (スロットA)またはMedia (B) (スロットB) を選択して、Executeを選択する。確認メッセージが表示されます。
- 3 Executeを選択する。
実行中はメッセージが表示され、アクセスランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SEL/SETダイヤルを押して画面を消します。

フォーマットできなかったときは

プロテクトされたXQDメモリーカードや本機で使用できないメモリーカードはフォーマットできません。
警告メッセージが表示されますので、メッセージに従って、使用できるXQDメモリーカードに交換してください。

【ご注意】
メモリーカードをフォーマットすると、記録された映像データ、セットアップファイルなどを含む、すべてのデータが消去されます。

残りの記録可能時間を確認する

撮影中(記録中/記録待機中)は、ビューファインダー画面(9ページ)のA/Bスロットメディア残量表示部で、各スロットに装着したXQDメモリーカードの残量を確認することができます。

現在設定されているビデオフォーマット(記録ビットレート)で撮影した場合に記録可能な時間を、それぞれのスロット内のメディアの残量から計算して分単位で表示します。

【ご注意】
メモリーカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

XQDメモリーカードの交換時期

- 記録中に2枚のメモリーカードの残記録可能時間の合計が5分を切ると、警告メッセージ「メディア残量がわずかです」(Media Near Full)が表示され、録画ランプの点滅とブザー音(ヘッドホン出力)で警告します。
空きのあるメディアに交換してください。
- 記録を継続して、残記録可能時間の合計が0になると、メッセージが「メディア残量がありません」(Media Full)に変わり記録が停止します。

【ご注意】
1枚のXQDメモリーカードに約600個までのクリップを記録できます。
記録できるクリップ数の上限に達すると、残時間表示が「0」になり、メッセージ「メディア残量がありません」(Media Full)が表示されます。

UTILITY SDカードを使う

本機では、カメラの設定値ファイルをSDカード（別売）に保存することができます。
保存したファイルはSDカードから読み込んで使用できます。

本機で使用可能なSDカード

SDHCメモリーカード*
SDメモリーカード*
* 本書ではまとめてSDカードと表現しています。

SDカードを入れる

- 1 メディア蓋リリースボタン（7ページ）を押してカードスロット部のメディア蓋を開ける。
- 2 SDカードのラベルを左にしてカードスロットに差し込む。
アクセスランプ（7ページ）が赤く点灯し、使用可能な状態になると消灯します。
- 3 メディア蓋を閉める。

SDカードを取り出す

メディア蓋リリースボタン（7ページ）を押してカードスロット部のメディア蓋を開け、SDカードを軽く1回押して取り出します。

- 【ご注意】
- SDカードにアクセス中に本機の電源を切ったりSDカードを抜いた場合はデータは保証されません。カードに記録されたすべてのデータが壊れる可能性があります。電源を切ったり、カードを抜くときは、必ず使用するSDカードのアクセスランプが消灯していることを確認してから操作してください。
 - 出し入れ時にはSDカードの飛び出しにご注意ください。

SDカードをフォーマット（初期化）する

本機で初めてSDカードを使用するときは、フォーマットが必要です。
本機で使用するSDカードは、本機のフォーマット機能を使用してフォーマットしてください。

- 1 MediaメニューのFormat Media（71ページ）を選択する。
- 2 SD Cardを指定し、Executeを選択する。
確認メッセージが表示されます。
- 3 Executeを選択する。
実行中はメッセージと進捗状況が表示され、アクセスランプが赤く点灯します。
フォーマットが終了すると、完了メッセージが表示されますので、SEL/SETダイヤルを押して画面を消します。

- 【ご注意】
- SDカードをフォーマットすると、すべてのデータが消去され、復元できません。

残容量を確認する

メディアステータス画面（12ページ）を表示させると、SDカードの残量を確認することができます。

- 【ご注意】
- SDカードがプロテクトされている場合は、マークが表示されます。

本機でフォーマットしたメディアを他の機器で使用するには

あらかじめバックアップを取り、お使いになる機器でフォーマットし直して使用してください。

XDCA-FS7を使う

本機に拡張ユニットXDCA-FS7 (別売) を取り付けると、Vシューバッテリーや外部同期信号の使用など、本機の機能を拡張することができます。

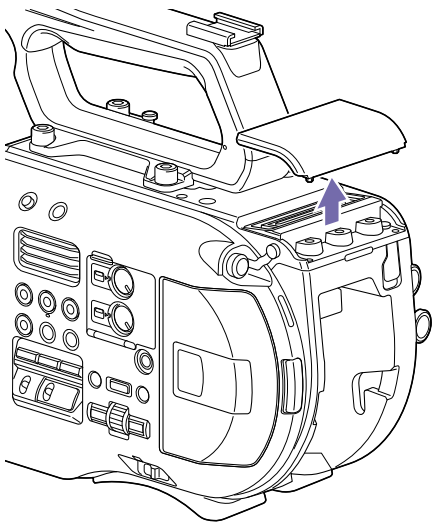
XDCA-FS7を取り付ける

【ご注意】

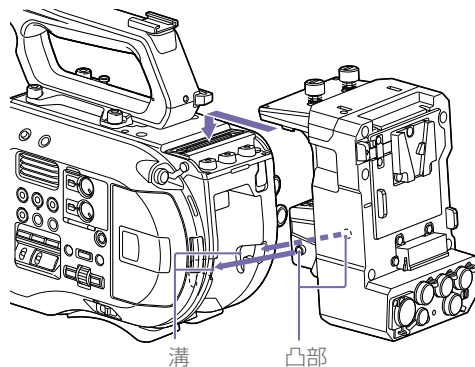
- 本機にXDCA-FS7を取り付けている場合は、本機のバッテリーパックは使用できません。XDCA-FS7にバッテリーパックを装着するか、または電源を接続する必要があります。
- XDCA-FS7の取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

1 本機に装着されているバッテリーパックを取り外す (13ページ)。

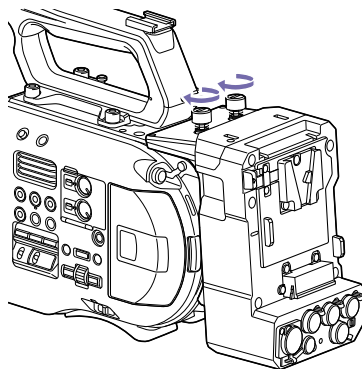
2 拡張ユニット接続端子部のカバーを取り外す。



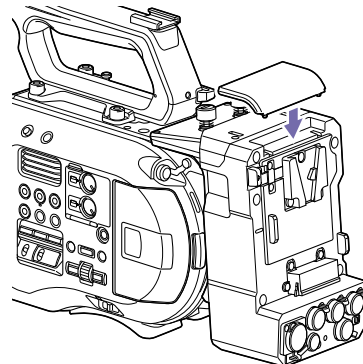
3 本機の左右の溝にXDCA-FS7の凸部を合わせ奥までスライドさせてから、下にスライドさせて接続端子部を合わせる。



4 XDCA-FS7上部のネジ2本を回して締め、XDCA-FS7を固定する。



取り外した拡張ユニット接続端子部のカバーは、拡張ユニットの上面にはめ込んでおくことができます。



タイムコードの入力／出力を切り替える

TC IN/OUTスイッチ (8ページ) で、タイムコードの入力/出力を切り替えることができます。
詳しくは82ページをご覧ください。

XDCA-FS7を取り外す

XDCA-FS7上部のネジ2本を回して緩め、XDCA-FS7を本機から取り外します。

バッテリーパックを取り付ける

バッテリーパックをXDCA-FS7のバッテリーパック装着部に差し込みます。

バッテリーパックを取り外す

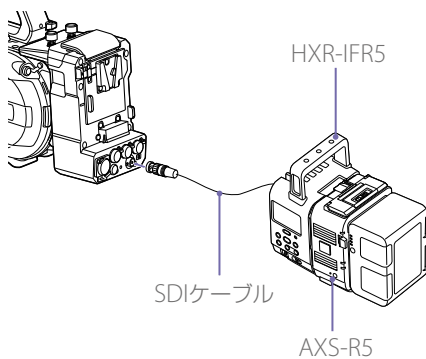
取り外すときは、BATT RELEASEボタンを押しながらバッテリーパックをXDCA-FS7のバッテリーパック装着部から引き抜きます。

HXR-IFR5/AXS-R5を使う

XDCA-FS7（別売）とインターフェースユニット
HXR-IFR5（別売）を使って、RAW動画をAXS-R5
（別売）に記録できます（41ページ）。
HXR-IFR5とAXS-R5の準備についてはHXR-
IFR5の取扱説明書をご覧ください。

HXR-IFR5を本機に接続する

- 1 本機にXDCA-FS7を取り付ける
（26ページ）。
- 2 XDCA-FS7のRAW OUT端子とHXR-IFR5の
SDI IN (RAW) 端子をSDIケーブルで接続す
る。



HXR-IFR5を取り外す

XDCA-FS7のRAW OUT端子からSDIケーブルを
抜きます。

赤外線リモコンを使う

初めて使用するときは

付属の赤外線リモコン（リモコン）を初めて使用するときは、電池ホルダーから絶縁シートを引き抜いてください。



ホルダーには工場出荷時にリチウム電池CR2025がセットされています。

リモコンで本機を操作するときは

リモコンを使用するときは、本体の電源を入れてから、リモコン操作機能を有効にしてください。

リモコン操作機能の有効/無効の切り替えには、セットアップメニューを使用します。

メニューで有効にするには

MENUボタンを押して本機をメニューモードに切り替え、SystemメニューのIR Remote（78ページ）をOnにします。

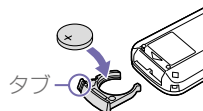
【ご注意】

- 本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、ほかのビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをDVD2以外のモードに切り替えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

リモコンの電池を交換する

市販のリチウム電池CR2025を使用します。CR2025以外の電池は使用しないでください。

- 1 タブを内側に押し込みながら、溝に爪をかけて電池ケースを引き出す。
- 2 +面を上にして新しい電池を入れる。
- 3 電池ケースを「カチッ」というまで差し込む。



警告

直射日光の下や火気の近くなど、高温のところにバッテリーを置かないでください。

【ご注意】

指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

Wi-Fiリモコンを使う

スマートフォンやタブレットなどブラウザーを搭載した機器を本機にワイヤレスLAN接続すると、ブラウザーで本機を操作することができます。これをWi-Fiリモコンと呼びます。本機をクレーンに装着して使用する場合など、離れた場所から操作する場合に有効です。Wi-Fiリモコンの準備手順は45ページをご覧ください。

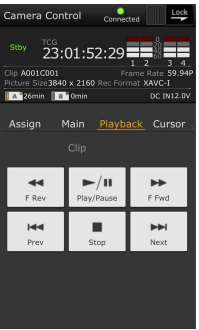
Wi-Fi Remote 画面 (スマートフォン)

Main画面



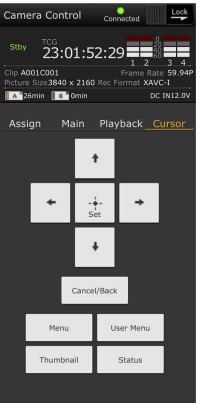
- 撮影設定表示
S&Q FPS、Shutter、White、Sensitivity/Gain/Exposure Index、Gamma、MLUT、Color Bars、Auto Black、Auto White、Rec Start/Stop、Lock、ND、Iris、Focus、Zoom、Auto Iris、Auto Shutter、AGC、Auto ND、ATW

Playback画面



- ステータス表示
- 再生操作ボタン
Play/Pause、Stop、F Fwd、F Rev、Next、Prev

Cursor画面



- ステータス表示
- カーソル操作ボタン
上下左右、Set、Cancel/Back、Menu、Status、Thumbnail、User Menu

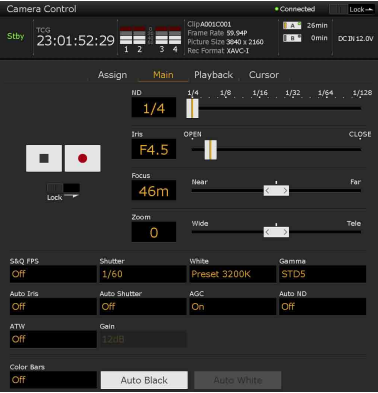
Assign画面



- ステータス表示
- アサインボタン表示
アサインボタン1～10

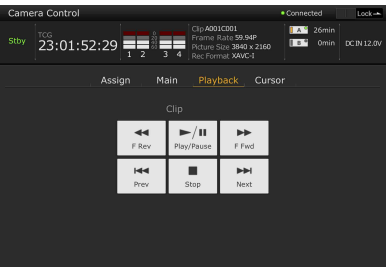
Wi-Fi Remote 画面 (タブレット)

Main画面



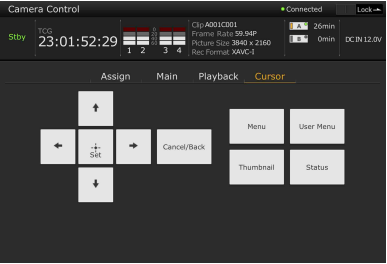
- 撮影設定表示
S&Q FPS、Shutter、White、Sensitivity/Gain/Exposure Index、Gamma、MLUT、Color Bars、Auto Black、Auto White、Rec Start/Stop、Lock、ND、Iris、Focus、Zoom、Auto Iris、Auto Shutter、AGC、Auto ND、ATW

Playback画面



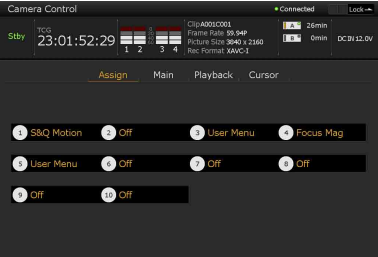
- ステータス表示
- 再生操作ボタン
Play/Pause、Stop、F Fwd、F Rev、Next、Prev

Cursor画面



- ステータス表示
- カーソル操作ボタン
上下左右、Set、Cancel/Back、Menu、Status、Thumbnail、User Menu

Assign画面



- ステータス表示
- アサインボタン表示
アサインボタン1～10

基本操作手順

基本的な撮影は次の手順で行います。

- 1
- 必要な機器が取り付けられ、電源が供給されていることを確認する。
- 2
- メモリーカードを入れる。
- 3
- POWERスイッチをOnにする。
POWERランプが点灯して、ビューファインダーに撮影画面が表示されます。
- 4
- 録画ボタン（4ページ）を押す。
録画ランプが点灯して、記録が始まります。
- 5
- 記録を終了するとき、もう一度録画ボタンを押す。
記録が停止し、本機はSTBY（記録待機）モードになります。

【ご注意】

電源を入れてから数秒以内に録画ボタンを押すと、録画ランプが点灯し録画状態になりますが、選択している記録フォーマットによっては最初の数秒間はメディアに記録されない場合があります。

撮影する（フルオートモード）

FULL AUTOボタンを押して、ボタンのインジケーターを点灯させます。
オートアイリス（対応レンズのみ）、AGC、オートシャッター、ATW（自動追尾ホワイトバランス）がOnになり、明るさとホワイトバランスが常に自動調整されます（フルオートモード）。
それぞれをマニュアルで調整したいときは、フ

ルオートモードをOffにしてください。

【メモ】

NDフィルターのバリエーションモード（34ページ）でND FILTERダイヤルの設定がClear以外のとき、フルオートモードをOnにすると、自動露出調節にNDフィルターを組み込んで動作します。

メモリーカードを入れ替えながら、中断することなく撮影する（リレー記録）

A/B両方のメモリーカードスロットにメモリーカードを入れておけば、撮影中にメモリーカードA（またはメモリーカードB）の残量がなくなる直前に、自動的にもう一方のメモリーカードへの記録に切り替わります。

【ご注意】

- 記録中のメモリーカードを取り出さないでください。
記録中にメモリーカードを入れ替えるときは、スロットのランプが消灯しているスロットのみ行ってください。
- 記録中のメモリーカードの残量が1分未満のときに、もう一方のスロットに記録可能なメモリーカードが入っていると、メッセージ「まもなくスロットを切り替えま
- す」が表示されます。メモリーカードスロットが切り替わると消えます。
- メモリーカードの残量が1分未満のときに記録を始めると、リレー記録ができない場合があります。リレー記録を正しく行うには、記録開始時にメモリーカードの残量が1分以上あることを確認してください。
- 本機を使ってリレー記録した動画は、本機上ではシームレス再生できません。

メモリーカードAとメモリーカードBの両方に記録するには（同時記録）

RecordingメニューのSimul RecのSettingをOnにすると、メモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録できます。

【ご注意】

スロー & クイックモーションモード（68ページ）やピクチャーキャッシュレックモード（69ページ）のときは同時記録できません。また、次の記録フォーマット（74ページ）では同時記録できません。

NTSC Area

XAVC-I

4096x2160 59.94P、4096x2160 29.97P、
4096x2160 24.00P、4096x2160 23.98P、
3840x2160 59.94P、3840x2160 29.97P、
3840x2160 23.98P、1920x1080 59.94P

XAVC-L

3840x2160 59.94P、3840x2160 29.97P、
3840x2160 23.98P

RAW（XDCA-FS7 および HXR-IFR5、AXS-R5 接続時）

4096x2160 59.94P、4096x2160 29.97P、
4096x2160 23.98P、2048x1080 59.94P、
2048x1080 29.97P、2048x1080 23.98P

RAW & XAVC-I（XDCA-FS7 および HXR-IFR5、AXS-R5 接続時）

4096x2160 59.94P、2048x1080 59.94P
ProRes 422 HQ、ProRes 422（XDCA-FS7 接続時）
1920x1080 59.94i、1920x1080 29.97P、
1920x1080 23.98P

PAL Area

XAVC-I

4096x2160 50P、4096x2160 25P、
3840x2160 50P、3840x2160 25P、
1920x1080 50P

XAVC-L

3840x2160 50P、3840x2160 25P
RAW（XDCA-FS7 および HXR-IFR5、AXS-R5 接続時）

4096x2160 50P、4096x2160 25P、
2048x1080 50P、2048x1080 25P
RAW & XAVC-I（XDCA-FS7 および HXR-IFR5、AXS-R5 接続時）

4096x2160 50P、2048x1080 50P
ProRes 422 HQ、ProRes 422（XDCA-FS7 接続時）

1920x1080 50i、1920x1080 25P

録画START/STOPボタンとハンドル録画START/STOPボタンの設定を変える

同時記録に設定しているとき、録画START/STOPボタンとハンドル録画START/STOPボタンで、それぞれ別のメモリーカードの記録開始／終了をすることができます。
工場出荷時は、どちらのボタンもメモリーカードAとメモリーカードBの両方に同時に記録するように設定されています。

- “Rec Button [SlotA SlotB] Handle Rec Button [SlotA SlotB]”

それぞれのボタンで別のメモリーカードへ記録するように設定したとき、SDI/HDMI Rec

ControlやRAW Rec Controlは、スロットAの記録状態に従います。

設定を変えるには

RecordingメニューのSimul RecのRec Button Setを選択します。

Rec Button Setの設定	ボタンとメモリーカード
“Rec Button [SlotA SlotB] Handle Rec Button [SlotA SlotB]”	どちらのボタンを押しても、メモリーカードAとメモリーカードBに同時に記録を開始/終了する。
“Rec Button [SlotA] Handle Rec Button [SlotB]”	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、ハンドル録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、記録を開始/終了する。
“Rec Button [SlotB] Handle Rec Button [SlotA]”	録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードBに、ハンドル録画START/STOPボタンを押したときはメモリーカードAに、記録を開始/終了する。

フォーカスを自動調節する

オートフォーカスに対応したレンズが必要です。本機のFOCUSスイッチ（6ページ）を「AUTO」に設定します。レンズにフォーカス切り替えスイッチがある場合はあらかじめ「AF/MF」または「AF」に設定してください。「Full MF」または「MF」の場合、レンズは本機からのフォーカス指示を受け付けません（18ページ）。

【ご注意】
LA-EA1/3（別売）ではプッシュオートフォーカスのみ操作できます。

オートフォーカスの対象を設定する（フォーカスエリア）

CameraメニューのFocusのFocus Area（54ページ）でオートフォーカスの対象とする領域を設定できます。

【ご注意】
LA-EA2/4（別売）では位置を設定できません。

一時的にオートフォーカスを止める（フォーカスホールド）

オートフォーカス中にPUSH AUTO FOCUSボタン（6ページ）を押すとオートフォーカスを止めます。
被写体の手前を撮影対象でないものが横切るときなど、オートフォーカスが迷うことが予想されるときに使うと便利です。

フォーカスを手動調節する

フォーカスを手動調整するには、FOCUSスイッチ（6ページ）を「MAN」に設定します。
撮影状況に応じて、手動でフォーカス合わせができます。
以下のようなときに使います。

- 水滴の多い被写体
- 背景とコントラストの弱い被写体
- 意図的にフォーカスを手前の被写体から奥の被写体に送るとき

マニュアルフォーカスで迅速にフォーカスを合わせる（プッシュオートフォーカス）

画面の中央にフォーカスを合わせたい被写体を置き、PUSH AUTO FOCUSボタン（6ページ）を押します。
指を離すと手動フォーカス合わせに戻ります。撮影する前にフォーカスをさっと合わせておきたいときに使うと便利です。
CameraメニューのFocusのFocus Area（Push AF）（54ページ）でフォーカスを合わせる位置を設定できます。

【ご注意】

- レンズ側でマニュアルフォーカスに設定されていると、プッシュオートフォーカスは動作しません。
- LA-EA2/4（別売）使用時、プッシュオートフォーカス動作中は、フルオートモードがOnになります。
- ピント拡大中は拡大表示している位置にフォーカスを合わせます。

フォーカス表示について

点灯／点滅でピント合わせの状況を表示します。

- 点灯：ピントが固定されています。
- 点滅：ピントが合っていません。自動でピントを合わせられないので、構図やフォーカス設定などを変えてください。

拡大表示をしてフォーカスを合わせる（ピント拡大）

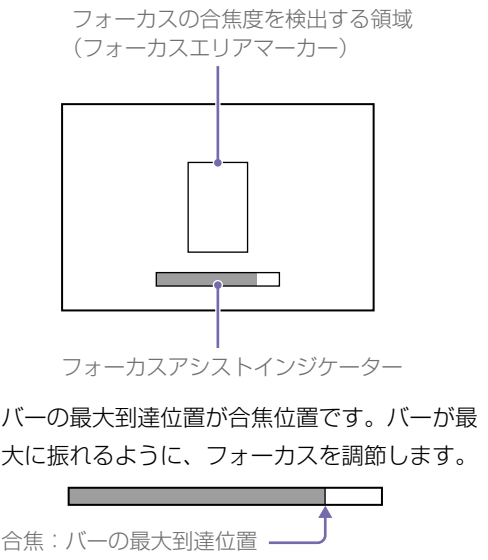
工場出荷時はグリップリモコンのASSIGN4ボタンにFocus Magnifier x4/x8が割り当てられています（37ページ）。
ASSIGN4ボタンを押すと、ピント拡大画面に切り替わり、画面中央が約4倍に拡大され、もう一度押すと約8倍に拡大されます。フォーカス

が合っているかを確認するときに便利です。
もう一度押すと元に戻ります。
ピント拡大中にマルチセクターで拡大位置を移動できます。マルチセクターを押しこむと中央に戻ります。また、本体の左/右ボタンやSEL/SETダイヤル、赤外線リモコン、Wi-Fiリモコンからも操作できます。
ピント拡大中にプッシュオートフォーカスを実行すると、拡大表示している位置にフォーカスを合わせます。

【ご注意】

- ピント拡大で表示されていても、記録される画像やSDI出力、HDMI出力の画像は拡大されません。
- ピント拡大中は、STATUS CHECKボタンやメニューボタン操作など、無効になる操作があります。
- 拡大位置は本機の電源を切ると画面中央に戻ります。

フォーカスアシストインジケーターでフォーカスを合わせる



バーの最大到達位置が合焦位置です。バーが最大に振れるように、フォーカスを調節します。

【ご注意】

- 凹凸の少ない被写体や暗いシーンを撮影するときは、フォーカスアシストインジケーターがほとんど変化しないことがあります。
- 検出範囲は設定できません。

音声を聞く

記録される音声をヘッドホンでモニターできます。

ヘッドホン端子 (7ページ) にヘッドホンをつなぐと、記録される音声をモニターできます。また、再生時 (47ページ) は内蔵スピーカー (7ページ) またはヘッドホンでモニターできます。

モニターするチャンネルの選択および音量の調整は、AudioメニューのAudio Output (63ページ) で行います。

XQDメモリーカードを切り替える

XQDメモリーカードが2枚装着されているときは、SLOT SELECTボタン (6ページ) を押して切り替えます。

【ご注意】

再生中にXQDメモリーカードを切り替えることはできません。またスロットAとスロットBをまたぐ連続再生はできません。

クリップ (記録データ)

記録を停止すると、開始から停止までの画像・音声と付随データが、ひとつの「クリップ」として

XQDメモリーカードに記録されます。

クリップ名について

本機で記録されるクリップには、「Clip」と「4桁の番号」で自動的にクリップ名がつけられます。「4桁の番号」部分は、記録順に自動的にカウントアップされます。

MediaメニューのClipで「Clip」の部分を変更することもできます。

クリップの最大時間

1クリップあたり6時間まで
リレー記録では複数のクリップに連続記録しますが、約13時間で自動的に停止します。

基本設定を変更する

映像の用途や撮影の状況に応じて、設定を変更します。

記録フォーマット

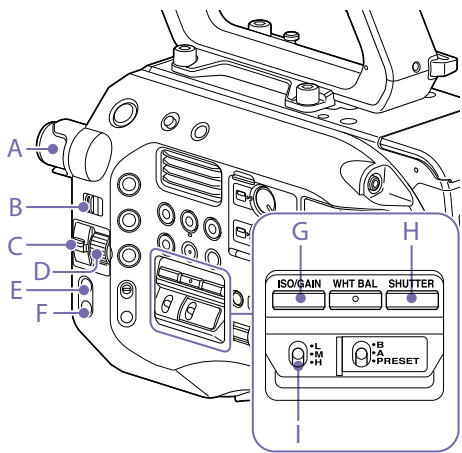
選択できるフォーマットは、使用地域(Country)およびコーデック (Codec) の設定によって異なります。

SystemメニューのRec Formatの、Video Formatで切り替えます。

【ご注意】

コーデックを変更したときは、必ずVideo Formatを確認してください。

明るさを調節する



アイリス、ゲイン、シャッタースピードを調節したり、NDフィルターを使って光量を調節したりして、明るさを調節できます。自動調節することもできます。

明るさを自動調節するときの目標レベルは、CameraメニューのAuto Exposure (54ページ) のLevelで設定します。アサインابلボタン (37ページ) にAuto Exposure Levelを割り当てることもできます。

【ご注意】

Cine EIモードではゲインを調節できません。また、アイリス、シャッタースピードによる明るさの自動調節はできません。NDフィルターによる明るさの自動調節は可能です。

アイリスを調節する

アイリスを調節して、明るさを調節できます。

【ご注意】

アイリスを調節するときはフルオートモード (30ページ) をOffにします。

アイリスを自動調節する

被写体に応じて明るさを調整します。対応するレンズが必要です。

1 レンズにAuto Irisスイッチがついている場合、AUTOにする。

2 IRISボタン (E) を押してオートアイリスをOnにする。
IRISボタンを押すたびにOn/Offが切り替わります。

【メモ】

アサインابلボタンにIRISを割り当てることもできます (37ページ)。

【ご注意】

Aマウントレンズではアイリスを自動調節できません。

アイリスを手動調節する

1 IRISボタン (E) を押してオートアイリスをOffにする。
IRISボタンを押すたびにOn/Offが切り替わります。

2 ND/IRISスイッチ (C) をIRISの位置にする。

3 ND/IRISダイヤル (D) を回して調節する。

【メモ】

アサインابلダイヤルにIRISを割り当てることもできます (37ページ)。

一時的に自動調節する

PUSH AUTO IRISボタン (F) を押している間、オートアイリスがOnになります。
指を離すと手動アイリスに戻ります。

【メモ】

アサインابلボタンにPUSH AUTO IRISを割り当てることもできます (37ページ)。

【ご注意】

レンズのAuto IrisスイッチをMANUALにすると、本機からのAuto IrisやPush Auto Irisを受け付けなくなります。また、本機からのアイリス手動調節操作も受け付けなくなります。

ゲインを調節する

ゲインを調節して、明るさを調節できます。

【ご注意】

ゲインを調節するときはフルオートモード (30ページ) をOffにします。

ゲインを自動調節する

ISO/GAINボタン (G) を押してAGCをOnにします。

または、CameraメニューのAuto Exposure

(54ページ) のAGCをOnにします。

ゲインを手動調節する

アイリスを固定したまま露出調整したいときや、AGCによるゲインアップを行いたくないときなどに使用します。

1 ISO/GAINボタン (G) を押してAGCをOffにする。

2 ISO/GAINスイッチ (I) でH/M/Lを選択する。

【メモ】

アサインابلボタンにPush AGCを割り当てると、そのボタンを押している間だけAGCをOnにできます。

ゲインを微調整する

IRISダイヤルまたはアサインابلダイヤル (37ページ) にISO/Gain/EIを割り当てると、ISO/GAINスイッチ (I) で設定した値からダイヤルで調整することができます。
被写界深度を変えずにもう一步露出を追い込みたいときに便利です。

微調整した結果は、ISO/GAINスイッチ (I) の切り替えやAGCをOn、電源をOffにすると無効になります。

シャッターを調節する

シャッターを調節して、明るさを調節できます。

【ご注意】

シャッターを調節するときはフルオートモード (30ページ) をOffにします。

シャッターを自動調節する

SHUTTERボタン (H) を押すと、映像の明るさに応じて自動でシャッター速度を調整できます。設定画面が表示された場合、もう一度押してく

ださい。

または、CameraメニューのAuto Exposure (54ページ) のAuto ShutterをOnにします。

シャッターを手動調節する

シャッター速度を設定して撮影します。

SHUTTERボタン (H) を押すと、固定シャッターの値を選ぶ画面が表示されSEL/SETダイヤルで設定できます。SEL/SETの代わりにSHUTTERボタンをもう一度押すとオートシャッターがOnになります。

【メモ】

角度で設定したり、周波数で細かく設定することもできます (55ページ)。

光量を調節する (NDフィルター)

撮影状況が明るすぎるときは、NDフィルターを変更して適切な明るさにすることができます。本機は2つのNDフィルターモードを備えています。2つのモードはPRESET/VARIABLEスイッチ (B) で切り替えます。

プリセットモードで調節する

PRESET/VARIABLEスイッチ (B) をPRESETの位置にして、ND FILTERダイヤル (A) で切り替えます。

Clear：NDなし

1：CameraメニューのND FilterのPreset1 (53ページ) で設定した透過率。

2：CameraメニューのND FilterのPreset2 (54ページ) で設定した透過率。

3：CameraメニューのND FilterのPreset3 (54ページ) で設定した透過率。

バリエابلモードで調節する

PRESET/VARIABLEスイッチ (B) をVARIABLEの位置にします。ND FILTERダイヤル (A) の位置1、2、3は区別なくNDフィルターがOnとして動作します。

【ご注意】

調節するときはフルオートモード (30ページ) をOffにします。

光量を自動調節する

オート ND フィルターを On にすると、ND フィルターを使った自動露出調節を行います。

1 ND FILTERダイヤル (A) を1、2、3のいずれかにする。

2 CameraメニューのAuto Exposure (54ページ) のAuto ND FilterをOnにする。

光量を手動調節する

1 ND FILTERダイヤル (A) を1、2、3のいずれかにする。

2 CameraメニューのAuto Exposure (54ページ) のAuto ND FilterをOffにする。

3 ND/IRISスイッチ (C) をNDの位置にする。

4 ND/IRISダイヤル (D) を回してフィルターの透過率を調節する。
フィルターの透過率調節にND FILTERダイヤル1/2/3の位置は影響しません。

一時的に自動調節する

Push Auto ND が割り当てられたアサインブルボタン (37 ページ) を押している間、オート ND フィルターが On になります。指を離すとオート ND フィルターが Off に戻ります。

ND FILTER ダイヤル (A) は 1、2、3 のいずれかにしておいてください。

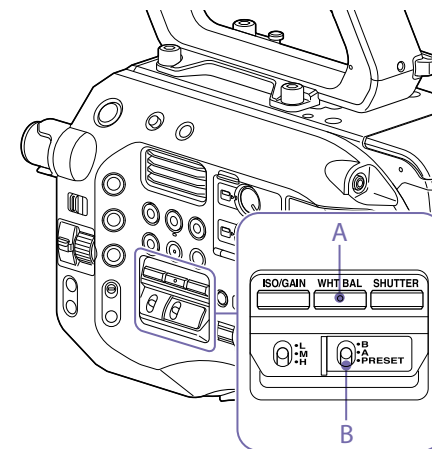
【ご注意】

撮影中にND FILTERダイヤルの設定を切り替えると、画像が乱れたり音声にノイズが入ることがあります。

【メモ】

- ND FILTERダイヤルの代わりに、ND Filter Positionが割り当てられたアサインブルボタン (37ページ) を押して設定を変更することもできます。
プリセットモード：Clear→Preset1→Preset2→Preset3→Clear・・・
バリエابلモード：Clear→On→Clear・・・
電源をOffにするとND FILTERダイヤルの示す設定に戻ります。
- Auto ND Filterが割り当てられたアサインブルボタン (37ページ) を押してオートNDフィルターをOn/Offすることもできます。
- 明るい被写体を撮影するとき、アイリスを極端に絞ると回折現象が生じピントが甘くなることがあります (ビデオカメラでは一般的に起こる現象です)。NDフィルターを使うことでこの現象を抑え、より良好な撮影結果を得ることができます。

自然な色合いに調節する (ホワイトバランス)



撮影状況に応じて調整モードを選択できます。

ATW (自動追尾ホワイトバランス)

常に適切なホワイトバランスになるように自動的に調整します。

光源の色温度が変化すると、ホワイトバランスを自動的に調整し直します。

WHT BALボタン (A) を押すとATWのOn/Offが切り替わります。

PaintメニューのWhiteのATW Speed (58ページ) で、5段階の調整速度を選択できます。アサインブルボタン (37ページ) にATW Hold機能を割り当てておくと、このボタンを押すことによって、ATWモードでも一時的にATWを停止させ、ホワイトバランスを固定することができます。

【ご注意】

- Cine EIモードのとき、ATWiは使えません。

- 照明や被写体の条件によっては、ATWを使用しても適切な色に調整できないことがあります。
- 例：
- － 空、海、地面、草花など単一色の被写体が大部分を占める場合
 - － 色温度が非常に高い/非常に低い光源下の被写体
- ATWの自動追従の時間が遅い場合や、適切な効果が得られない場合は、オートホワイトバランスを実行してください。

ホワイトバランスを手動調節する

- 1 フルオートモード (30ページ) をOffにする。
- 2 ホワイトバランスがATWモードになっているときは、WHT BALボタン (A) を押してマニュアルモードにする。
- 3 WHT BALスイッチ (B) でB/A/PRESETを選択する。
B: メモリー Bモード*
A: メモリー Aモード
PRESET: プリセットモード
* BはATW Onに割り当てることができます。

プリセットモード

色温度をプリセット値 (工場出荷時：3200K) に調整するモードです。

メモリー A/メモリー B モード

メモリー A またはメモリー B に保存されたホワイトバランスに調整します。

【ご注意】

Cine EIモードのとき、WHT BALスイッチの設定は以下に固定されます。
B: 5500K
A: 4300K

PRESET: 3200K

オートホワイトバランスを実行する

- 1 調整値をメモリーに保存したい場合は、メモリー Aモードまたはメモリー Bモードを選択する。
- 2 被写体の照明光源と同じ条件のところに白い紙などを置き、ズームアップして画面に白を映す。
- 3 明るさを調整する。
「アイリスを手動調節する」 (33ページ) に従って、アイリスを調整してください。
- 4 WB SETボタン (4ページ) を押す。
 - メモリーモードで実行した場合は、調整値は手順1で選択したメモリー (AまたはB) に保存されます。
 - ATWモードで実行した場合は、調整が終わるとATWモードでのホワイトバランス調整に戻ります。

【ご注意】

- Cine EIモードのとき、オートホワイトバランスは実行できません。
- 正常に終了しなかったときは画面に約3秒間エラーメッセージが表示されます。繰り返し調整を試みてもエラーメッセージが表示されるときは、ソニーのサービス担当者にご相談ください。

収録する音声を設定する

本機の入力端子やスイッチ、ダイヤルなどを使い、収録する音声を設定します。

外部音声の入力端子と切り替えスイッチ

INPUT1端子 (7ページ)
INPUT2端子 (7ページ)
INPUT1スイッチ (LINE/MIC/MIC+48V) (4ページ)
INPUT2スイッチ (LINE/MIC/MIC+48V) (4ページ)

録音レベルの設定用スイッチ

CH1 LEVEL CONTROLスイッチ (6ページ)
CH2 LEVEL CONTROLスイッチ (6ページ)
CH1 INPUT LEVELダイヤル (6ページ)
CH2 INPUT LEVELダイヤル (6ページ)

音声入力機器を選ぶ

- 1 音声入力を切り替える。
AudioメニューのAudio InputのCH1 Input Select/CH2 Input Selectで音声入力を切り替えます。
機器を接続する端子に合わせて、INPUT1またはINPUT2を設定します。また、シューマイクまたはXLRアダプターを使う場合は、同様にShoe 1またはShoe 2を設定します。
XLRアダプターについては「オーディオ入力端子を増設する」 (41ページ) をご覧ください。

【ご注意】

本機はマイクを内蔵しています。納品音声には適しません。他機器とのタイミング合わせなどにご利用いただけません。その場合はInternal MICを設定します。

- 2 入力する音源を選ぶ。
INPUT1/INPUT2端子に接続する機器に合わせて、INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを設定します。

接続機器	スイッチの位置
外部音声機器 (ミキサーなど)	LINE
ダイナミックマイクや電池内蔵のマイク	MIC
+48V電源 (ファンタム電源) 対応のマイク	MIC+48V

- MIC+48Vにしたままで+48V電源に対応していない機器を接続すると、接続した機器の故障の原因になります。接続前にご確認ください。
- 接続しない端子の雑音が気になるときは、INPUT1/INPUT2 (LINE/MIC/MIC+48V) スイッチを「LINE」にしてください。

録音レベルを自動調節する

自動調整するチャンネルのCH1/CH2 LEVEL CONTROLスイッチを「AUTO」にします。
CH3/CH4の場合は、AudioメニューのAudio InputのCH3 Level Control、CH4 Level ControlをAutoに設定します (61ページ)。

録音レベルを手動調節する

CH1/CH2の録音レベルを手動調整する場合は、以下の手順で行います。

- 1 調節するチャンネルのCH1/CH2 LEVEL CONTROLスイッチを「MAN」にする。
- 2 撮影中またはスタンバイ中に、調節するチャンネルのINPUT LEVEL (CH1) / (CH2) ダイヤルを回して、音量を調節する。
 - Audio Input Levelが割り当てられたアサインابلダイヤル (37ページ) やセットアップメニューから録音レベルを調整す

ることもできます。

- CH3/CH4の場合は、AudioメニューのAudio InputのCH3 Level Control、CH4 Level ControlをManualに設定し、CH3 Input Level、CH4 Input Levelで録音レベルを設定します（61ページ）。

【ご注意】

- Audioメニューの設定の組み合わせによりAudio Input Levelの設定が無効になる場合があります。詳細は101ページの図をご覧ください。
- AudioメニューのAudio InputのCH1 Input Select、CH2 Input SelectがどちらもInternal MICに設定されている場合は、CH1 LEVEL CONTROLスイッチの設定に連動してCH2の自動・手動も切り替わります。また、CH1 INPUT LEVELダイヤルの設定に連動してCH2の録音レベルも変わります（61ページ）。
- 本機では組み合わせによりさまざまな設定ができます。詳細は101ページの図をご覧ください。

タイムデータ

タイムコードを設定する

記録されるタイムコードは、TC/UBメニューのTimecode（68ページ）で設定します。

タイムデータを表示する

DISPLAYボタンを押すと、画面にタイムデータが表示されます（9ページ）。

表示するタイムコードは、TC/UBメニューのTC Display（68ページ）のDisplay Selectで設定します。

DURATION/TC/U-BIT機能が割り当てられたアサインブルボタン（37ページ）を押すと、表示がタイムコード、ユーザービット、経過時間の順に切り替わります。

便利な機能

アサインابلボタン/ダイヤル

本機には、機能を割り当てて使用できるアサインابلボタンが10個（6、8ページ）あります。

ND/IRISスイッチをIRISにしたときのND/IRISダイヤル（6ページ）と、グリップリモコンのアサインابلダイヤル（8ページ）にも機能を割り当てることができます。

ボタンの機能を変更する

SystemメニューのAssignable Button（75ページ）を使用します。

割り当てられた機能は、アサインابلボタンステータス画面（11ページ）で確認することができます。

工場出荷時にアサインابلボタンに割り当てられている機能

ボタン1	S&Q Motion
ボタン2	Off
ボタン3	User Menu
ボタン4	Focus Magnifier x4/x8
ボタン5	User Menu
ボタン6	Off
ボタン7	Off
ボタン8	Off
ボタン9	Off
ボタン10	Off

割り当てられる機能

- Off
- Marker

- Zebra
- Peaking
- Video Signal Monitor
- DURATION/TC/U-BIT
- Focus Magnifier x4/x8
- Focus Magnifier x4
- Focus Magnifier x8
- Push AF/Focus Hold
- Focus Area
- Focus Area (Push AF)
- VF Mode
- ND Filter Position
- IRIS
- AGC
- Auto ND Filter
- SHUTTER
- Auto Exposure Level
- Push Auto Iris
- Push AGC
- Push Auto ND
- Spotlight
- Backlight
- ATW
- ATW Hold
- SteadyShot
- Color Bars
- User Menu
- Rec Lamp
- S&Q Motion
- Picture Cache Rec
- Rec Review
- Thumbnail
- Shot Mark1
- Shot Mark2
- Clip Flag OK

- Clip Flag NG
- Clip Flag Keep
- High/Low Key

ダイヤルの機能を変更する

SystemメニューのAssignable Dial（76ページ）を使用します。

割り当てられた機能は、アサインابلボタンステータス画面（11ページ）で確認することができます。

工場出荷時にはIRISが割り当てられています。

割り当てられる機能

- Off
- IRIS
- ISO/Gain/El
- ND Filter
- Focus
- Audio Input Level

スロー&クイックモーション

ビデオフォーマット（74ページ）が下記に設定されているときは、記録時のフレームレートを再生時のフレームレートと異なる値に設定することができます。

NTSC Area

XAVC-I

4096x2160 59.94P、4096x2160 29.97P、4096x2160 24.00P、4096x2160 23.98P、3840x2160 59.94P、3840x2160 29.97P、

3840x2160 23.98P、1920x1080 59.94P、1920x1080 29.97P、1920x1080 23.98P

XAVC-L

3840x2160 59.94P、3840x2160 29.97P、3840x2160 23.98P、1920x1080 59.94P 50、1920x1080 59.94P 35、1920x1080 29.97P 50、1920x1080 29.97P 35、1920x1080 23.98P 50、1920x1080 23.98P 35

PAL Area

XAVC-I

4096x2160 50P、4096x2160 25P、3840x2160 50P、3840x2160 25P、1920x1080 50P、1920x1080 25P

XAVC-L

3840x2160 50P、3840x2160 25P、1920x1080 50P 50、1920x1080 50P 35、1920x1080 25P 50、1920x1080 25P 35

S&Q Motionが割り当てられたアサインابلボタンを長押しすると、記録時のフレームレートを設定できます。

[ご注意]

- 記録中、再生中、サムネイル表示中は、スロー&クイックモーションモードにできません。
- スロー&クイックモーションモードでは、音声は記録できません。
- スロー&クイックモーションモードでは、オートフォーカス機能が無効になります。
- 60fpsよりも早いフレームレートで撮影する場合は、下記の状態になります。
 - フォーカスアシスト表示、被写界深度表示、フォーカスポジション表示、アイリスポジション表示、ズームポジション表示がOffになる。

NTSC Area

フォー マット	解像度	フレーム レート	ハイフレーム レート
XAVC-I	2160	1 ～ 60fps	非対応
		(59.94P、29.97P、24.00P、23.98P)	
	1080	1 ～ 60fps	72/75/80/90/96/ 100/110/120/125/ 135/144/150/ 160/168/175/ 180fps
		(59.94P、29.97P、23.98P)	
XAVC-L	2160	1 ～ 60fps	非対応
		(59.94P、29.97P、23.98P)	
	1080	1 ～ 60fps	72/75/80/90/96/ 100/110/120fps
		(59.94P 50、59.94P 35、 29.97P 50、29.97P 35、 23.98P 50、23.98P 35)	

PAL Area

フォー マット	解像度	フレーム レート	ハイフレーム レート
XAVC-I	2160	1 ～ 60fps	非対応
		(50P、25P)	
	1080	1 ～ 60fps	72/75/80/90/96/ 100/110/120/ 125/135/144/ 150fps
		(50P、25P)	
XAVC-L	2160	1 ～ 60fps	非対応
		(50P、25P)	
	1080	1 ～ 60fps	72/75/80/90/96/ 100/110/120fps
		(50P 50、50P 35、25P 50、 25P 35)	

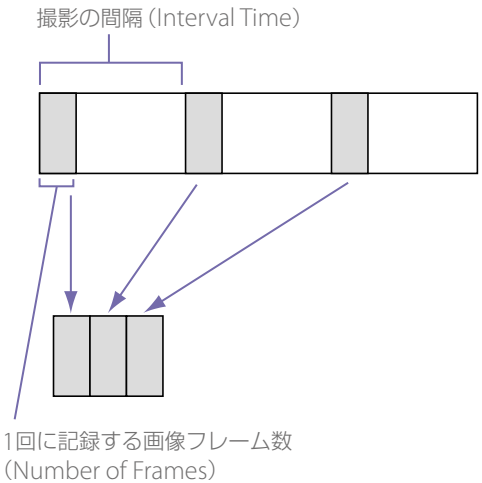
間欠的に映像を記録する
(インターバルレック機能)

本機のメモリーを利用して間欠的に映像を取り込み、記録するインターバルレック機能は、主に動きの少ない被写体を撮影するときに有効です。

記録を開始すると、設定したフレーム数 (Number of Frames) 分の映像を、任意のインターバル (Interval Time) で自動記録できます。本機能は、下記のビデオフォーマット (74ページ) に設定されている場合に有効です。

- XAVC-I
- XAVC-L*
- MPEG HD 422*

* 59.94i、50iは非対応



インターバルレックを有効にしているときは、撮影開始前にビデオライトHVL-LBPC (別売) を自動的に点灯させ、光量、色温度を安定させた状態で撮影を行うことができます (プリライティング機能)。

【ご注意】

- インターバルレックなどの特殊記録機能を複数同時に使用できません。
- インターバルレック使用中に他の特殊記録機能を有効にすると、インターバルレックは自動的に解除されます。
- ビデオフォーマットなどのシステム設定を変更すると、インターバルレックモードは自動的に解除されます。
- 記録中や再生中、サムネイル画面表示中にインターバルレックの設定を変更することはできません。

設定するには

RecordingメニューのInterval Rec (69ページ) でSettingをOnに設定し、Number of FramesとInterval Timeを設定してください。ビデオライトHVL-LBPC (別売) を使用する場合は、必要に応じてRecordingメニューのInterval RecのPre-Lightingで記録開始前のビデオライト点灯時間を設定してください。

【ご注意】

- ビデオライトを記録前に点灯させる場合は、ビデオライトのスイッチをAUTOに設定してください。このときCameraメニューのVideo Light Set (57ページ) の設定にしたがってビデオライトが自動点灯/消灯します。
- ビデオライトのスイッチをONに設定すると、ビデオライトは常時点灯します。(ビデオライトは自動点灯/消灯しません。)
- 各設定により消灯時間が5秒以下になる場合は、ビデオライトは消灯しません。

本機の電源を切るとインターバルレックモードは解除されますが、Number of Frames、Interval Time、Pre-Lightingの設定は保持されます。次回インターバルレックモードで撮影するときに再設定する必要はありません。

撮影するには

録画ボタンを押すと記録が開始され、ビューファインダー画面上に「Int [A]/[B]●Rec」と「Int [A]

/[B]●Stby」が交互に表示されます。プリライティング機能を使用する場合は、記録が始まる前にビデオライトが点灯します。

撮影を終了するには

記録停止の操作を行います。撮影を終了すると、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像がメディアに記録されます。

インターバルレックモードを解除するには

次のいずれかを実行します。

- POWERスイッチをOffにする。
- 記録待機中に、RecordingメニューのInterval RecのSettingをOffに設定する。

また、本機が再起動した場合もインターバルレックモードは解除されます。

記録中の動作制限

- 音声は記録されません。
- レックレビュー操作は行えません。
- ゲンロックはかかりません。

本機の電源が切れた場合

- 本機のPOWERスイッチをOffにした場合は、その瞬間までメモリーに蓄えられていた映像を記録するため、メディアにアクセスしてから、自動的に電源が切れます。
- 記録中にバッテリーを取り外したり、DC電源コードを引き抜いたり、ACアダプター側の電源を切ったりした場合は、その瞬間以前に撮影したショット (最大10秒) が記録されないことがあります。バッテリー交換の際は充分ご注意ください。

数秒前の映像から記録する (ピクチャーキャッシュレック機能)

ピクチャーキャッシュレック機能を使用すると、撮影している映像を、指定した時間内蔵キャッシュメモリーに蓄えておくことによって、記録開始以前にさかのぼって映像をXQDメモリーカードに記録することができます。ピクチャーキャッシュレックの蓄積時間は、RecordingメニューのPicture Cache RecのCache Rec Time (69ページ) で設定できます。

対応記録フォーマットについて

記録フォーマット	解像度	キャッシュ時間 [秒]
RAW	4096x2160 2048x1080	非対応
XAVC *1	4096x2160 3840x2160	0-2
	1920x1080	0-2/2-4/4-6/6-8
MPEG-2	1920x1080	0-2/2-4/4-6/6-8/ 8-10/13-15
ProRes422	1920x1080	非対応

*1：XAVC-Iの59.94Pと50Pは非対応

【ご注意】

- ピクチャーキャッシュレックは、インターバルレック、スロー&クイックモーションと同時にOnにすることはできません。ピクチャーキャッシュレックをOnにすると、これらの機能は強制的にOffになります。
- 記録中、レックレビュー中は、ピクチャーキャッシュレックモードにできません。
- ピクチャーキャッシュレックがOnのときは、タイムコードはTC/UBメニューの設定に関わらず常にFree Runモードで記録されます (68ページ)。
- ピクチャーキャッシュレック中はOutput Formatの設定を変更できない場合があります。この場合、一度ピクチャーキャッシュレックをOffにしてから変更操作を行ってください。

撮影前の設定

あらかじめRecordingメニューのPicture Cache Rec (69ページ) で設定を行ってください。アサインابلボタン (37ページ) にPicture Cache Rec機能を割り当てて、ボタン操作でSettingのOn/Offを切り替えることもできます。設定を完了すると、ビューファインダー画面上に「●」 (●は緑) が点灯します (9ページ)。

ピクチャーキャッシュレックを実行する

録画ボタンを押すと記録が開始され、キャッシュメモリーに蓄積されている映像からXQDメモリーカードに書き込まれます。

ピクチャーキャッシュレック機能を解除するには

RecordingメニューのPicture Cache RecでSettingをOffにするか、Picture Cache Rec機能を割り当てたアサインابلボタンを押します。

【ご注意】

- 記録フォーマットが変更されると、それまで蓄えていた映像をクリアし、新たに蓄積を開始します。したがって、変更直後に記録を開始しても、フォーマット変更前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- XQDメモリーカード挿入直後にピクチャーキャッシュレックの開始/終了操作を行った場合は、データがカードに記録されないことがあります。
- 画像の蓄積は、ピクチャーキャッシュレック機能をOnにしてから開始されます。したがって、Onにする前の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 再生、レックレビュー、サムネイル画面表示など、XQDメモリーカードにアクセスしている間は映像を蓄

- えないため、この間の映像はピクチャーキャッシュレックできません。
- 記録中でもメニュー操作で蓄積時間の設定を変更できますが、設定値は記録終了後に反映されます。

レックレビュー

直前に記録したクリップの映像を画面で確認 (レックレビュー) できます。記録を停止したら、Rec Reviewが割り当てられたアサインابلボタン (37ページ) を押します。クリップの終わりまで再生すると、レックレビューは終了し、STBY (記録待機) モードに戻ります。ボタンを押し続けると逆再生を始めます。ボタンを離れたところから、クリップの終わりまで再生を行います。

レックレビューを中止するには

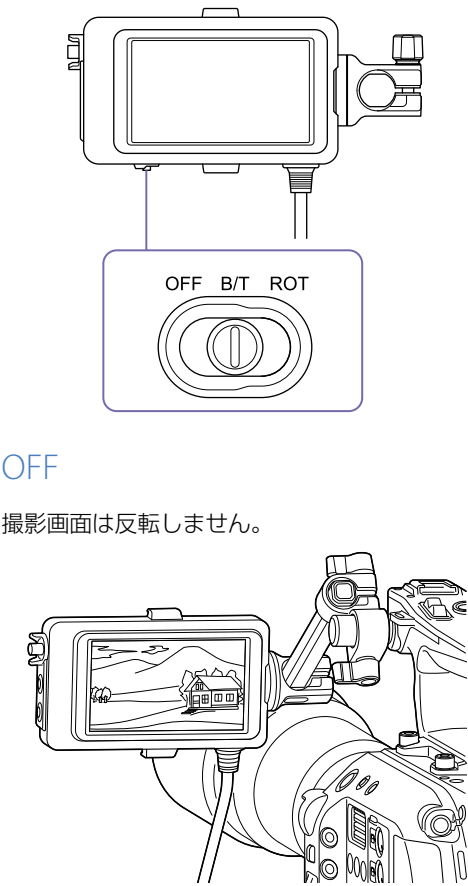
Rec Reviewが割り当てられたアサインابلボタンを押します。

【ご注意】

記録後にビデオフォーマットを変更したときは、レックレビューはできません。

自分撮りモード

ビューファインダー (7ページ) のMIRRORスイッチで、撮影画面を上下反転させたり、上下左右反転させることができます。ビューファインダーをレンズ側に180°回転させて操作するときに使います。

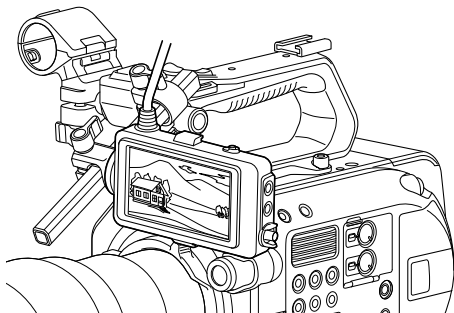


OFF
撮影画面は反転しません。

B/T

撮影画面は上下に反転します。

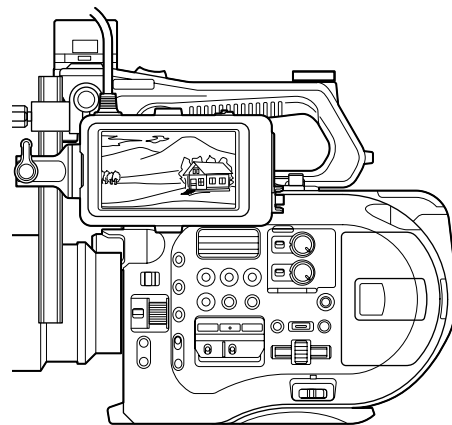
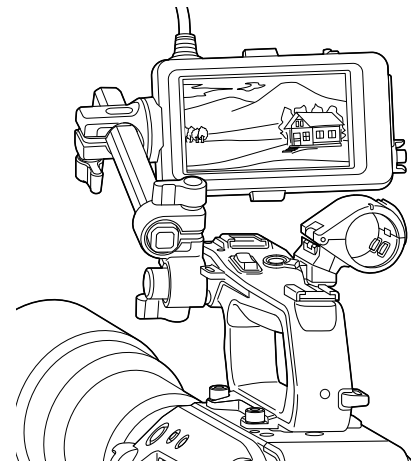
情報表示は上下左右に反転します。



ROT

撮影画面は上下左右に反転します。

情報表示も上下左右に反転します。



【ご注意】

B/TまたはROT表示は、ビューファインダー表示のみに影響し、外部出力や記録画には影響しません。

ピーキング表示

ビューファインダー（7ページ）のPEAKINGボタンを押すと、ピーキング表示をOn/Offにすることができます。

VFメニューのPeaking（65ページ）で、ピーキング表示のOn/Offやピーキングの種類、ピーキング周波数などを設定することができます。

ゼブラパターン表示

ビューファインダー（7ページ）のZEBRAボタンを押すと、ゼブラパターン表示をOn/Offにすることができます。

VFメニューのZebra（65ページ）で、ゼブラパターン表示のOn/Offやゼブラパターンの種類、表示レベルなどを設定することができます。

【ご注意】

本機ではビューファインダーの映像を計測しています。Cine EIモードでは、ビューファインダーのモニター LUT（64ページ）の設定に応じて表示レベルなどを調節してください。

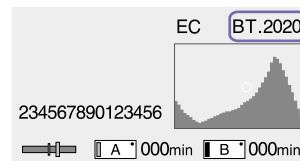
映像信号モニター

VFメニューのVideo Signal MonitorのSetting（67ページ）で、ビューファインダー画面に表示する映像信号の種類をウェーブフォーム、ベクトルスコープ、ヒストグラムのいずれかに設定できます。

本機の映像信号モニターは映像出力の経路上で映像信号を計測するため、記録映像に対して出力映像がエッジクロップされている場合、切り取られた部分の信号成分は計測されません。このとき、映像信号モニターの左上に「EC」が表示されます。

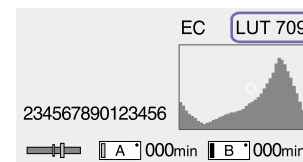
色域の情報表示

CustomモードでMatrixのPreset Select（61ページ）がBT.2020のときは、映像出力の解像度、Output Color Space、Sourceの設定に応じて入力画像の色域が映像信号モニターの右上に表示されます。



モニター LUTの情報表示

Cine EIモードで映像出力を2K以下に設定しているときは、VFメニューのVideo Signal MonitorのSource（68ページ）で、SDI1系統とSDI2系統のどちらの映像信号を計測するかを設定できます。設定したSDI系統のモニター LUTの設定（64ページ）が映像信号モニターの右上に表示されます。



【ご注意】

- VFメニューのDisplay On/OffのSetting（66ページ）がOffのときは、映像信号モニターは表示されません。
- 設定したSDI系統のモニター LUTの設定がOffのときは、映像信号モニターの右上にはColor Space（73ページ）の設定が表示されます。

位置情報を取得する（GPS）

SystemメニューのGPSをOnに設定すると  が表示され、測位準備が行われます。測位できた場合、動画の撮影時に測位情報を記録します。

【ご注意】

- ハンドルにGPS受信機が内蔵されているため、ハンドル未装着時はSystemメニューでGPSをOnにできません。
- GPS衛星からの電波の受信状況によって画面に表示されるアイコンが変わります。
- GPS機能使用中に、ハンドルを握ると、測位精度に影響をおよぼすことがあります。

測位状況	画面表示	GPS受信状況
機能切	非表示	GPSがOffになっている、またはエラーが起きている。
測位困難	NO GPS SIGNAL	GPS信号を受信できないため、測位情報が取得できない。空の開けた場所に移動してください。
衛星探索中		衛星を探索中です。測位中になるまで数分かかることがあります。
測位中		弱いGPS信号を受信中。
		GPS信号を受信中。測位情報を取得できる。
		強いGPS信号を受信中。測位情報を取得できる。

[メモ]

- 工場出荷時はGPSがOnになっています。Onにすると、GPSの測位中に撮影した動画の位置情報や測位時刻が記録されます。
- 数分待ってもアイコンが測位中にならないときは、受信困難な状態です。そのまま撮影を始めるか、空の開けた場所に移動してください。そのまま撮影すると測位情報は記録されません。
- 屋内や高い建物のそばでは電波をうまく受信できません。空の開けた場所に移動してください。
- 「測位中」になっていても、電波の受信状況によりGPS情報の記録が途切れることがあります。

Cine EIモードで撮影する

ポストプロダクションを前提とした、フィルムカメラライクなモードです。

Cine EIモードの制約

- 自動調節（追尾）できない機能
 - ホワイトバランス
 - ゲイン

- シャッター
- アイリス
- 設定変更できない機能
 - ISO感度／ゲイン
 - Paint メニューの設定
 - Scene File
 - Lens File

Cine EIモードのみで使える機能

- Exposure Index
- Monitor LUT
- High/Low Key
- RAW動画記録

RAW動画を記録する

本機に取り付けたXDCA-FS7（別売）のRAW OUT端子から出力した信号をHXR-IFR5（別売）で変換して、RAW動画をAXS-R5（別売）に記録できます（27ページ）。

- 外部RAWレコーダーを用意する（27ページ）。
- SystemメニューのBase SettingのShooting ModeでCine EIを選択する。
- SystemメニューのCodecのSelectでRAWを選択する。
RAW&XAVC-Iなどを選ぶと、外部RAWレコーダーでの記録と同時に、本機のXQDメディアにHDの動画を記録することができます。

- SystemメニューのImager Scan Modeで解像度を選択する。
NormalのときRAWの解像度は4096x2160になります。

- SystemメニューのRec FormatのRAW Output Formatでフレームレートを選択する。

- 外部レコーダーの電源が入っていることを確認し、本機の録画ボタンを押す。

[ご注意]

本機の録画ボタンを使わずに外部レコーダーで録画操作を行うと、正常に記録されない場合があります。

サポートをしているRAW出力フォーマットは以下のとおりです。

NTSC Area

CodecのSelectの設定	RAW Output Format
RAW/RAW & XAVC-I/	4096x2160 59.94P
RAW & XAVC-L/RAW	4096x2160 29.97P
& MPEG HD422	4096x2160 23.98P
	2048x1080 59.94P
	2048x1080 29.97P
	2048x1080 23.98P

PAL Area

CodecのSelectの設定	RAW Output Format
RAW/RAW & XAVC-I/	4096x2160 50P
RAW & XAVC-L/RAW	4096x2160 25P
& MPEG HD422	2048x1080 50P
	2048x1080 25P

記録状態表示

VFメニューのDisplay On/Off（67ページ）で、HXR-IFR5 Rec ControlがOnに設定されている場合は、ビューファインダー画面にRAW動画の記録状態がアイコンで表示されます。

[ご注意]

本機のRAW OUT端子は外部レコーダーにRec Control信号を送ることで記録制御をしているため、本機でRAW動画の記録中と表示していても、実際に記録していないことがあります。正確な動作状態は外部レコーダー上の表示で確認してください。

スロー&クイックモーション記録

RecordingメニューのS&Q Motionで、SettingがOnに設定されている場合は、スロー&クイックモーションモードでRAW動画を記録します。本機のRAW出力のスロー&クイックモーションは、2K解像度の120/240fps（NTSCの場合）、100/200fps（PALの場合）のみ対応しています。

オーディオ入力端子を増設する

XLRアダプター XLR-K2M（別売）を使うと、同時に4系統のXLR音声機器を本機に接続することができます。
MIシューにXLRアダプターを装着して、AudioメニューのAudio InputのCH3 Input SelectをShoe 1に、CH4 Input SelectをShoe 2に設定してください。
入力にXLRアダプターを選択したチャンネルでは、重複する本機の機能は無効になります。XLRアダプターのスイッチやダイヤルで調節してください。

【ご注意】

- AudioメニューのAudio InputのCH3 LevelやCH4 LevelをAudio Input Levelに設定した場合は、XLRアダプターで調節したレベルに本機のAudio Input Levelが掛け合わされます。
XLRアダプターのスイッチをAUTOに設定した場合もAudio Input Levelが有効になります。
Throughに設定した場合は、XLRアダプターで調節したレベルで記録されます（101ページ）。
- XLRアダプターを装着し、AudioメニューのAudio InputのCH1 Input SelectをShoe 1、CH2 Input SelectをShoe 2に設定することで、CH1、CH2に割り当てることも可能です。ただし、CH1、CH2の両方にXLRアダプターからの入力を割り当てた場合は、本機のINPUT1/INPUT2端子からの入力をチャンネルに割り当てられなくなるため使用できなくなります。

外部記録装置の記録制御

RecordingメニューのSDI/HDMI Rec ControlのSetting（70ページ）で、本機の記録・停止操作に外部記録装置の動作を連動させる設定をすることができます。

設定	内容
Off	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録／停止を制御しません。
SDI/HDMI Remote I/F	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録／停止を制御します。 【ご注意】 メディアが挿入されていないときは、RECトリガー信号のみ出力されます。
Parallel Rec	SDI OUT端子に接続されたCBK-WA100のプロキシファイル記録が、本機の記録動作と同期します。HDMI出力信号による外部接続機器の記録／停止も制御します。

アイコン表示について

ビューファインダー画面のSDI/HDMI出力の記録制御状態表示（10ページ）に、以下のアイコンが表示されます。

設定	内容
SDI/HDMI Remote I/F	
Parallel Rec	

アイコンの右側に記録制御状態が、RecまたはStopと表示されます。

【ご注意】

- 接続した外部機器がRECトリガー信号に対応していない場合は動作しません。
- 同時記録のとき、RECトリガー信号は以下に従って出力されます。
 - SDI/HDMI Remote I/F：メディアA側の操作。
 - Parallel Rec：いずれかのメディアが記録中。

プロキシ映像の同期記録

- Parallel Rec設定では
 - CBK-WA100で記録されるプロキシファイルのクリップ名は、本機で記録される映像のクリップ名と同じになります。
 - CBK-WA100のプロキシファイル記録はスロットAまたはスロットBどちらかの記録状態に従います。どちらか一方のスロットで記録が開始されると、CBK-WA100のプロキシファイル記録が開始されます。両方のスロットの記録が停止すると、CBK-WA100のプロキシファイル記録が停止します。
 - CBK-WA100のプロキシファイル記録を本機の記録動作と同期させるためには、CBK-WA100のSTATUSインジケーターが黄緑で点灯している必要があります。

- ただし、以下のいずれかが設定されている場合は、CBK-WA100のプロキシファイル記録は本機の記録動作と同期しません。
- RecordingメニューのS&Q MotionのSettingがOnの場合
 - RecordingメニューのInterval RecのSettingがOnの場合
 - RecordingメニューのPicture Cache RecのSettingがOnの場合
 - RecordingメニューのSimul RecのRec Button Setを下記のいずれかに設定した状態で、メモリーカードAとメモリーカードBに、同時に記録を行った場合
Rec Button [SlotA] Handle Rec Button [SlotB]
Rec Button [SlotB] Handle Rec Button [SlotA]
- CBK-WA100がプロキシファイル記録できる本機のSDI出力信号は次のとおりです。
 - 1920×1080 59.94i
 - 1920×1080 50i
 - 1920×1080 29.97PsF
 - 1920×1080 25PsF
 - 1920×1080 23.98PsF
 - 1280×720 59.94P
 - 1280×720 50P
 - SystemメニューのCodecのSelectでRAWを選択しているときは、Parallel Recに設定できません。
 - USBケーブル接続による本機での状態表示、ファイル転送などの機能には対応していません。
 - 本機で利用できるCBK-WA100のファームウェアバージョンは3.0以降です。

タブレットなどの機器とワイヤレスLANで接続する

本機にUSBワイヤレスLANモジュール IFU-WLM3 (付属) またはワイヤレスアダプター CBK-WA100 (別売) を取り付けると、スマートフォンやタブレットなどのデバイスと本機をワイヤレスLAN接続することができます。

【ご注意】
IFU-WLM3以外のUSBワイヤレスLANモジュールは使用できません。

ワイヤレスLAN接続した機器で以下が可能になります。

- 遠隔操作
本機を遠隔操作できます。
- 映像のモニタリング (CBK-WA100使用時のみ)
本機の映像をモニタリングできます。
CBK-WA100 (別売) と「Content Browser Mobile」アプリケーションが必要です。

【メモ】
「Content Browser Mobile」アプリケーションについて詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご確認ください。

対応デバイスについて

本機の設定や操作にはスマートフォン、タブレットまたはコンピューターを使用することができます。使用できるデバイス、OS、ブラウザーは以下をご覧ください。

デバイス	OS	ブラウザー
スマートフォン	Android 6.0	Chrome
	iOS9	Safari
タブレット	Android 6.0	Chrome
	iOS9	Safari

コンピューター	Microsoft Windows 7/Microsoft Windows 8.1/ Microsoft Windows 10	Chrome
	Mac OS 10.10/10.11	Safari

IFU-WLM3を取り付ける

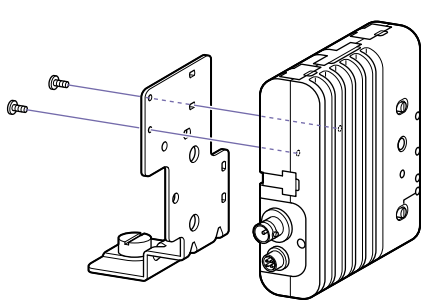
IFU-WLM3をUSBワイヤレスLANモジュール接続端子 (4ページ) に差し込みます。
装着後、SystemメニューのWi-FiのWi-Fi (78ページ) で、ワイヤレスLANを有効 (Enable) に設定する必要があります。

【ご注意】
IFU-WLM3の取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

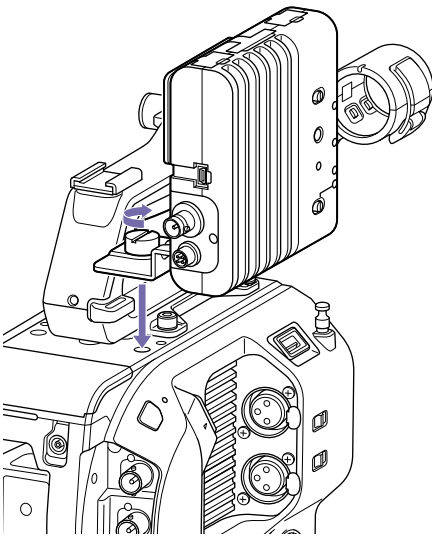
CBK-WA100を取り付ける

【ご注意】
CBK-WA100の取り付け/取り外しは、本機の電源を切った状態で行ってください。

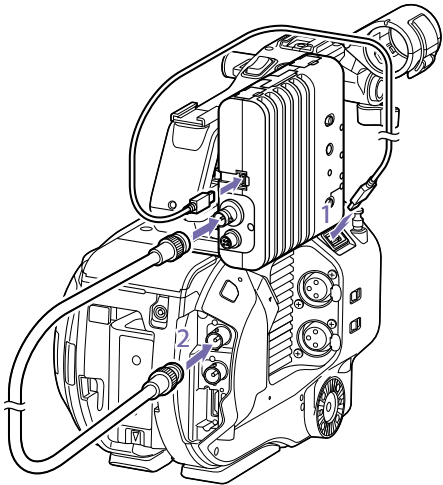
- 1 CBK-WA100を取り付け金具に取り付け、ネジ2本を締めて固定する。



- 2 CBK-WA100の取り付け金具を本機に取り付け、ネジを締めて固定する。



- 3 CBK-WA100のUSBケーブルをUSBワイヤレスLANモジュール接続端子に (1)、SDIケーブルをSDI OUT端子に (2) それぞれ接続する。



- 4 CBK-WA100の電源を入れてから本機の電源を入れる。

- 5 SystemメニューのWi-FiのWi-Fi (78ページ) で、ワイヤレスLANを有効 (Enable) に設定する。

- 6 RecordingメニューのSDI/HDMI Rec ControlのSettingをParallel Recに設定する (42ページ)。

【ご注意】
本機でCBK-WA100を使用するには、SDI OUTの出力設定が必要です。ただしXAVC-I 24.0PやProRes 23.98Pのときは、本機はCBK-WA100に適合する信号を出力できません (63ページ)。

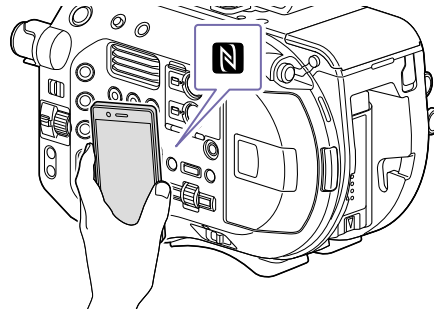
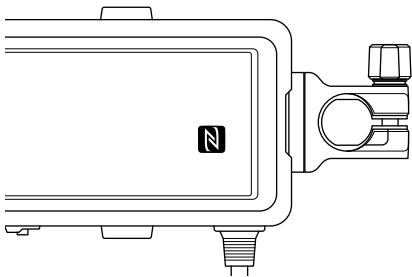
CBK-WA100について

CBK-WA100には、低解像度なプロキシファイルをSDカードに記録し、ワイヤレスLAN経由でサーバーに転送する機能があります。詳しくはCBK-WA100の取扱説明書でご確認ください。

NFC機能搭載のデバイスでワンタッチ接続する (IFU-WLM3使用時のみ)

デバイスがNFCをサポートしている場合には、NFCを利用したワンタッチ接続が可能です。

- 1 本機にIFU-WLM3を取り付け（43ページ）、SystemメニューのWi-FiのWi-Fi（78ページ）で、ワイヤレスLANを有効（Enable）に設定する。
画面に  が表示されます。



【ご注意】

- 一部の  が付いているデバイスはNFCに対応していません。詳しくはデバイスの取扱説明書でご確認ください。
- あらかじめデバイスのスリープおよび画面ロックを解除してください。
- デバイスで「Content Browser Mobile」が起動するまで（1～2秒）動かさずにタッチし続けてください。

- 2 デバイスの「設定」を起動して「その他の設定」を選び、「NFC/おサイフケータイ設定」の「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer, P2P」にチェックを入れる。
デバイスにより設定項目名などが異なる場合があります。詳しくはデバイスの取扱説明書をご覧ください。

- 3 本機とデバイスをタッチする。
デバイスが本機に接続され、Webブラウザーが起動して、Wi-Fiリモコンが表示されます。
初回接続時は、認証が求められます。

Wi-Fiリモコンを表示する

Wi-Fi Remote 画面は、デバイスの画面サイズに応じて自動で切り替わります。

- 1 本機とデバイスをワイヤレスLAN接続 (44ページ) する。
- 2 デバイスでブラウザを起動し、「http://本機のIPアドレス (Systemメニュー→Wi-Fi→IP Address)/rm.html」にアクセスする。
例：IPアドレスが「192.168.1.1」の場合は、アドレスバーに「http://192.168.1.1/rm.html」と入力します。
- 3 ブラウザー画面に、ユーザー名とパスワード (Systemメニュー→Basic Authentication→User NameおよびPassword) を入力する。
接続が完了すると、デバイスにWi-Fi Remote画面が表示されます。
以降は、画面表示のとおり to 操作してください。
Lockつまみを右にスライドすると、録画ボタンの操作を禁止することができます。

【ご注意】

- スマートフォン用のページを表示したい場合は、アドレスの最後を「rms.html」に、タブレット用のページを表示したい場合は「rmt.html」に置き換えて入力してください。通常は「rm.html」と入力すれば、各ページに自動的に移動します。デバイスによっては正常に動作しない場合があります。
- 次の場合は、Wi-Fi Remote画面と本機の状態が一致しなくなることがあります。その場合は、ブラウザの表示を更新してください。
 - 接続中に本機を再起動した場合
 - 接続中に本機を操作した場合
 - デバイスを再接続した場合
 - ブラウザーで進む/戻るを操作した場合
- 電波状態が著しく悪い場合、Wi-Fi Remoteが機能しなくなることがあります。

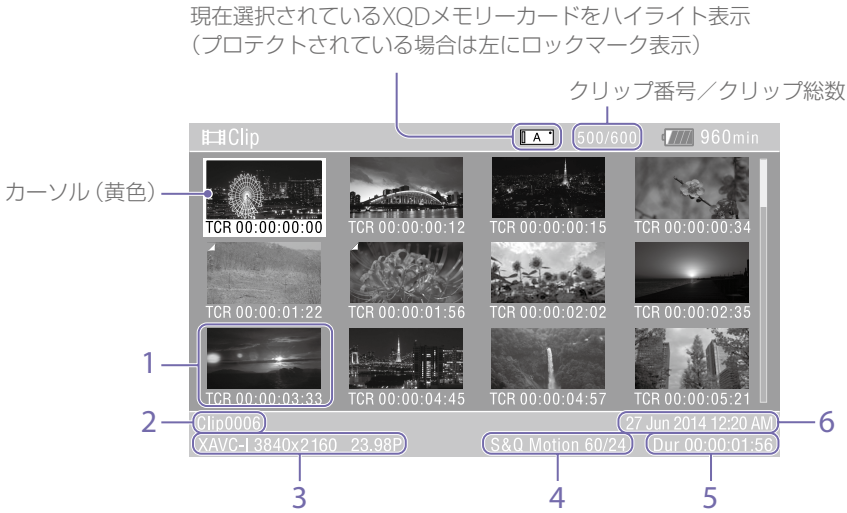
サムネイル画面

THUMBNAILボタン (6ページ) を押すと、XQDメモリーカードに収録されているクリップが、サムネイル (縮小画) 画面に表示されます。サムネイル画面で選択したクリップから再生を開始することができます。再生画像は、ビューファインダー、外部ビデオモニターに表示できます。THUMBNAILボタンを押すと、サムネイル画面を終了し、撮影画面に戻ります。

- [ご注意]**
- サムネイル画面には、現在選択しているフォーマットで収録されたクリップのみが表示されます。収録したはずのクリップが表示されないときは、記録フォーマットをご確認ください。また、メディアのフォーマット (初期化) などを行う際にはご注意ください。
 - SystemメニューのCodecのSelect が以下のいずれかに設定されている場合は、再生中またはサムネイル表示状態から記録を開始できません。
RAW & XAVC-I、RAW & XAVC-L、RAW & MPEG HD422

画面の構成

画面下部には、カーソル位置のクリップの情報が表示されます。



1. サムネイル (縮小画)

各クリップの代表画像です。記録時にはクリップの先頭フレームが自動的に代表画に設定されます。サムネイルの下にはクリップ/フレーム情報が表示されます。サムネイルメニューのCustomize View (71ページ) の、Thumbnail Captionで表示内容を変更できます。

2. クリップ名

選択されているクリップのクリップ名が表示されます。

3. 記録時のビデオフォーマット

選択したクリップのファイルフォーマットが表示されます。

4. 特殊記録撮影情報

特殊記録モードで記録されたクリップの場合のみ、そのモードが表示されます。スロー&クイックモーション記録されたクリップの場合は、右側にフレームレートが表示されます。

5. クリップの収録時間 (Duration)

6. 作成日時

クリップの再生

記録したクリップを再生する

本機が記録停止中 (Stby) のときは、記録したクリップを再生することができます。

- 1 再生するXQDメモリーカードを入れる。
- 2 THUMBNAILボタンを押す。
- 3 SEL/SETダイヤル (6ページ) を回して、再生を開始したいクリップのサムネイルにカーソルを合わせる。
- 4 SEL/SETダイヤルを押す。
選択したクリップの先頭から再生が始まります。

再生操作は次のボタンで行います。

SEL/SET ダイヤル：

再生を一時停止します。

もう一度押すと再生に戻ります。

左ボタン / 右ボタン短押し：

クリップの先頭または前後のクリップに移動します。

左ボタン / 右ボタン長押し：

高速再生します。

長押しをやめると標準再生に戻ります。

CANCEL/BACK ボタン：

再生を停止し、記録停止状態にします。

[ご注意]

- クリップとクリップの境界では、一時的に画像が乱れたり、静止画になる場合があります。またこの間は操作ができません。
- サムネイル画面でクリップを選択して再生を開始する

と、クリップの先頭部分の再生映像が乱れる場合があります。クリップの先頭から乱れない映像で再生するには、一度再生モードにした後で一時停止にし、SEL/SETダイヤルの左ボタンを押してクリップの先頭に戻して再生を行ってください。

- 付属の赤外線リモコンでも再生操作をすることができます。

クリップ操作

サムネイル画面では、サムネイルメニューを使用してクリップの操作や詳細情報の確認などが可能です。

Menuボタンを押してThumbnailを選択すると、サムネイルメニュー（70ページ）が表示されます。

サムネイルメニューの操作方法

SEL/SETダイヤル（6ページ）を回して機能を選択し、SEL/SETダイヤルを押してください。CANCEL/BACKボタン（6ページ）を押すと、操作前の画面に戻ります。

【ご注意】

メニューを表示させたときの状態によって選択できない項目があります。

クリップ操作メニュー

- Display Clip Properties
- Set Index Picture
- Thumbnail View
- Set Shot Mark
- Set Clip Flag
- Lock/Unlock Clip
- Delete Clip
- Filter Clips
- Customize View

クリップ操作メニューについて詳しくは、「Thumbnailメニュー」（70ページ）をご覧ください。

ださい。

クリップの詳細情報画面を表示する

ThumbnailメニューのDisplay Clip Properties（70ページ）を選択すると、クリップの詳細情報画面を表示されます。

エッセンスマークサムネイル画面を表示する

ThumbnailメニューのThumbnail View（70ページ）を選択し、Essence Mark Thumbnailで表示したいエッセンスマークを選ぶと、指定した種別のエッセンスマークの付いているフレームをサムネイル表示することができます。

フィルタードクリップサムネイル画面を表示する

ThumbnailメニューのFilter Clips（70ページ）で表示したいフラグを選ぶと、指定したフラグの付いているクリップのみを表示することができます。すべてのクリップを表示するには、ThumbnailメニューのThumbnail ViewのEssence Mark ThumbnailでAllを選んでください。

クリップを削除する

XQDメモリーカードからクリップを削除することができます。ThumbnailメニューのDelete ClipからSelect ClipまたはAll Clipsを選びます。

Select Clip :

任意のクリップを削除します。1 度に複数のクリップを選択することもできます。

All Clips :

表示されているすべてのクリップを削除します。

サムネイル画面の情報を変更する

サムネイルの下に表示されるクリップ／フレーム情報を変更します。

ThumbnailメニューのCustomize Viewの、Thumbnail Captionから、表示したい内容を選びます。

Date Time :

作成日時または最終変更日時

Time Code :

タイムコード

Duration :

収録時間

Sequential Number :

サムネイル番号

セットアップメニューの構成と階層

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセットアップメニューがビューファインダー画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。下記のメニューから選択して設定します。

- Fileメニュー
ファイルに関する設定
- Systemメニュー
システムに関する設定

メニュー構成

- Userメニュー
任意の設定を集めたメニュー
Edit User Menuから編集できます。
- Edit Userメニュー
Userメニューの編集に関する設定
- Cameraメニュー
撮影に関する設定
- Paintメニュー
画質に関する設定
- Audioメニュー
音声に関する設定
- Videoメニュー
映像出力に関する設定
- VFメニュー
ビューファインダー表示に関する設定
- TC/UBメニュー
タイムコードとユーザービットに関する設定
- Recordingメニュー
録画に関する設定
- Thumbnailメニュー
サムネイル表示に関する設定
- Mediaメニュー
メディアに関する設定

セットアップメニューの階層

User (工場出荷時の設定)	Country
	Base Setting
	Rec Format
	Codec
	S&Q Motion
	Interval Rec
	Picture Cache Rec
	Simul Rec
	Output Format
	Monitor LUT
	Clip
	VF Setting
	Assignable Button
	Assignable Dial
	Format Media
	Edit User Menu
Edit User	Add Item
	Customize Reset
Camera	ISO/Gain/El
	ND Filter
	Auto Exposure
	Focus
	Shutter
	Color Bars
	Noise Suppression
	Flicker Reduce
	SteadyShot
	Handle Zoom
	Auto Black Balance
	AF Micro Adjustment
	Video Light Set

Paint	White
	Offset White
	Black
	Gamma
	Black Gamma
	Knee
	White Clip
	Detail
	Skin Detail
	Aperture
	Matrix
	Multi Matrix
	Maintenance
Audio	Audio Input
	Audio Output
Video	Output On/Off
	Output Format
	Output Setting
	Monitor LUT
	Output Display
VF	VF Setting
	Peaking
	Zebra
	Marker
	Display On/Off
	Video Signal Monitor
TC/UB	Timecode
	TC Display
	Users Bit
	HDMI TC Out
Recording	S&Q Motion
	Interval Rec
	Picture Cache Rec
	Simul Rec
	SDI/HDMI Rec Control

Thumbnail	Display Clip Properties	System	Basic Authentication
	Set Index Picture		Wi-Fi
	Thumbnail View		GPS
	Set Shot Mark		IR Remote
	Set Clip Flag		Camera Battery Alarm
	Lock/Unlock Clip		Camera DC IN Alarm
	Delete Clip		Ext. Unit Battery Alarm
	Filter Clips		Ext. Unit DC IN Alarm
	Customize View		All Reset
Media	Update Media		APR
	Format Media		Camera Config
	Clip		Version
File	All File		
	Scene File		
	User Menu Item		
	User Gamma		
	Monitor LUT		
	Monitor 3D LUT		
	Lens File		
System	Base Setting		
	Codec		
	Rec Format		
	Genlock		
	Assignable Button		
	Assignable Dial		
	ND Dial		
	Rec Lamp		
	Fan Control		
	HOLD Switch Setting		
	Lens		
	Language		
	Clock Set		
	Country		
	Hours Meter		

セッティングメニューの操作方法

MENUボタンを押すと、撮影や再生に必要な各種設定を行うセッティングメニューがビューファインダー画面に表示されます（外部ビデオモニターに表示させることもできます）。

メニュー操作部

MENUボタン（6ページ）

セッティングメニューを操作するメニューモードをOn/Offします。

左ボタン/右ボタン（6ページ）

左ボタン/右ボタンを押すと、カーソルが左右に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。

SEL/SETダイヤル（6ページ）

- SEL/SETダイヤルを回すとカーソルが上下に移動して、メニュー項目や設定値を選択できます。
- SEL/SETダイヤルを押すと、選択している項目を決定します。

CANCEL/BACKボタン（6ページ）

一つ前の階層に戻ります。確定前の変更はキャンセルされます。

【ご注意】

ピント拡大（31ページ）になっていると、セッティングメニューは操作できません。

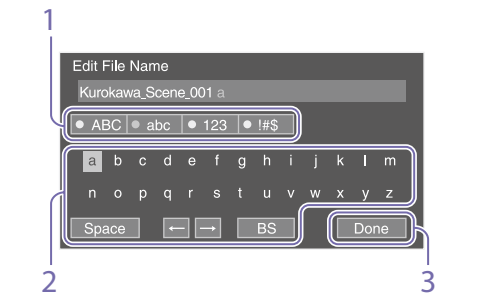
メニューを設定する

SEL/SETダイヤルを回して設定したい項目にカーソルを合わせ、SEL/SETダイヤルを押して決定します。

- 選択項目が表示される選択肢エリアは最大8行表示です。選択肢が1度に表示できない場合は、カーソルを上下に移動すると表示がスクロールします。
- 選択肢の範囲が大きい項目の場合（例：-99～+99）は、選択肢エリアは表示されません。文字がハイライト表示になり設定変更が可能な状態であることを示します。
- 実行項目でExecuteを選択した場合は、対応する機能が実行されます。
- 実行前に確認が必要な項目を選択すると、いったんメニューが消え、確認メッセージが表示されます。メッセージに従って、実行するかキャンセルするかを選択してください。

文字列を入力する

ファイル名など、文字列を設定する項目を選択した場合は、文字列の入力画面が表示されます。



- 1 SEL/SETダイヤルを回して入力したい文字タイプを選択し、決定する。
- ABC：英大文字
abc：英小文字
123：数字
!#\$：特殊文字

- 2 選んだ文字タイプから文字を選択し、決定する。
- カーソルが次の欄に移動します。
- Space：カーソルの位置にスペースを入力します。
- ←/→：カーソル位置を移動します。
- BS：カーソルの左の文字を削除します。
- 3 入力が終わったら、Doneを選択し、決定する。
- 文字列を確定して、入力画面が消えます。

セットアップメニュー一覧

各メニュー項目の機能および設定値は以下のとおりです。
工場出荷時の初期設定値は、**太文字**（例：**18dB**）で示します。

Userメニュー

User		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Country 地域の設定	SystemメニューのCountryをご覧ください。	
Base Setting 基本設定	SystemメニューのBase Settingをご覧ください。	
Rec Format 記録フォーマットの設定	SystemメニューのRec Formatをご覧ください。	
Codec コーデックの設定	SystemメニューのCodecをご覧ください。	
S&Q Motion スロー&クイックモーションモードの設定	RecordingメニューのS&Q Motionをご覧ください。	
Interval Rec インターバルレックモードの設定	RecordingメニューのInterval Recをご覧ください。	
Picture Cache Rec ピクチャーキャッシュレックモードの設定	RecordingメニューのPicture Cache Recをご覧ください。	
Simul Rec 同時記録の設定	RecordingメニューのSimul Recをご覧ください。	
Output Format 出力フォーマットの設定	VideoメニューのOutput Formatをご覧ください。	
Monitor LUT モニター LUTの設定	VideoメニューのMonitor LUTをご覧ください。	
Clip クリップ名に関する設定	MediaメニューのClipをご覧ください。	
VF Setting ビューファインダーの設定	VFメニューのVF Settingをご覧ください。	

User		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assignable Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定	SystemメニューのAssignable Buttonをご覧ください。	
Assignable Dial アサインابلダイヤルへの機能割り当て設定	SystemメニューのAssignable Dialをご覧ください。	
Format Media メモリーカードの初期化	MediaメニューのFormat Mediaをご覧ください。	
Edit User Menu Userメニューの編集		Userメニューを編集する。 Edit User Menuを選択すると、Edit User Menuが第1階層に繰り上がり、第2階層以下の項目が表示されます。

Edit Userメニュー

UserメニューでEdit User Menuを選択すると、Edit Userメニューが第1階層に表示されます。

Edit User		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Add Item Userメニュー項目の追加		Userメニューに第2階層の項目を追加する。
Customize Reset Userメニュー項目のリセット		Userメニューの登録項目を工場出荷時の状態に戻す。
編集集中に選択した第2階層の項目	Delete	Userメニューに登録した第2階層の項目を削除する。
	Move	Userメニューに登録した項目を並べ替える。
	Edit Sub Item	Userメニューに登録した第3階層の項目を削除する。

Cameraメニュー

Camera>ISO/Gain/El
ゲインに関する設定を行います。

メニュー項目	細目と設定値	内容								
Mode	ISO/dB	ゲイン設定モードを選択する。								
ISO/ Gain<H>	ModeがISOでダイナミックレンジが460% のとき ISO 800 / ISO 1000 / ISO 1250 / ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000/ ISO 6400 ModeがISOでダイナミックレンジが800% のとき ISO 1600 / ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12500 ModeがISOでダイナミックレンジが 1300%のとき (Gamma Categoryが S-Log2、 S-Log3のとき) ISO 2000 / ISO 2500 / ISO 3200 / ISO 4000 / ISO 5000 / ISO 6400 / ISO 8000 / ISO 10000 / ISO 12500 / ISO 16000 ModeがdBのとき - 3dB / 0dB / 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 18dB	ゲインのプリセット値<H>を設定する。 [メモ] ダイナミックレンジはガンマで決まります。 <table><tr><th>ガンマ</th><th>ダイナミック レンジ</th></tr><tr><td>STD / HG1 / HG2 / HG3 / HG4</td><td>460%</td></tr><tr><td>HG7 / HG8 / User</td><td>800%</td></tr><tr><td>S-Log2 / S-Log3</td><td>1300%</td></tr></table>	ガンマ	ダイナミック レンジ	STD / HG1 / HG2 / HG3 / HG4	460%	HG7 / HG8 / User	800%	S-Log2 / S-Log3	1300%
ガンマ	ダイナミック レンジ									
STD / HG1 / HG2 / HG3 / HG4	460%									
HG7 / HG8 / User	800%									
S-Log2 / S-Log3	1300%									
ISO/ Gain<M>	設定値はISO/Gain<H>と同じです。 初期値は以下のとおりです。 ModeがISOでダイナミックレンジが460% のとき ISO1600 ModeがISOでダイナミックレンジが800% のとき ISO3200 ModeがISOでダイナミックレンジが 1300%のとき (Gamma Categoryが S-Log2、 S-Log3のとき) ISO4000 ModeがdBのとき 6dB	ゲインのプリセット値<M>を設定する。								

Camera>ISO/Gain/El ゲインに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
ISO/Gain<L>	設定値はISO/Gain<H>と同じです。 初期値は以下のとおりです。 ModeがISOでダイナミックレンジが460% のとき ISO800 ModeがISOでダイナミックレンジが800% のとき ISO1600 ModeがISOでダイナミックレンジが 1300%のとき (Gamma Categoryが S-Log2、S-Log3のとき) ISO2000 ModeがdBのとき 0dB	ゲインのプリセット値<L>を設定する。
Exposure Index<H>	500EI / 4.0E 640EI / 4.3E 800EI / 4.7E 1000EI / 5.0E 1250EI / 5.3E 1600EI / 5.7E 2000EI / 6.0E 2500EI / 6.3E 3200EI / 6.7E 4000EI / 7.0E 5000EI / 7.3E 6400EI / 7.7E 8000EI / 8.0E	Exposure Index<H>を設定する。 Cine EIモード時のみ有効です。
Exposure Index<M>	設定値はExposure Index<H>と同じです。 初期値は1600EI / 5.7Eです。	Exposure Index<M>を設定する。
Exposure Index<L>	設定値はExposure Index<H>と同じです。 初期値は800EI / 4.7Eです。	Exposure Index<L>を設定する。
Shockless Gain	On / Off	ショックレスゲイン機能をOn/Offにする。
Camera>ND Filter NDフィルターのプリセット値を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Preset1	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	NDフィルターのプリセット1の値を設定 する。

Camera>ND Filter NDフィルターのプリセット値を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Preset2	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	NDフィルターのプリセット2の値を設定する。
Preset3	1/4 / 1/8 / 1/16 / 1/32 / 1/64 / 1/128	NDフィルターのプリセット3の値を設定する。
Camera>Auto Exposure 自動露出調節の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Level	−2.0 / −1.75 / −1.5 / −1.25 / −1.0 / −0.75 / −0.5 / −0.25 / 0 / +0.25 / +0.5 / +0.75 / +1.0 / +1.25 / +1.5 / +1.75 / +2.0	自動検出した露出に対する明暗レベルを設定する。
Mode	Backlight / Standard / Spotlight	制御モードを設定する。 Backlight: バックライトモード (中心となる被写体が逆光のとき、黒沈みを軽減するモード) Standard: 標準モード Spotlight: スポットライトモード (中心となる被写体にスポットライトが当たっているとき、白潰れを軽減するモード)
Speed	−99 ~ +99 (±0)	調節スピードを設定する。
AGC	On / Off	AGC (オートゲインコントロール) 機能をOn/Offにする。
AGC Limit	ISO/Gain/ElのModeがdBのとき 3dB / 6dB / 9dB / 12dB / 15dB / 18dB ISO/Gain/ElのModeがISOでダイナミックレンジが460%のとき ISO1000 / ISO1600 / ISO2000 / ISO3200 / ISO4000 / ISO6400 ISO/Gain/ElのModeがISOでダイナミックレンジが800%のとき ISO2000 / ISO3200 / ISO4000 / ISO6400 / ISO8000 / ISO12500 ISO/Gain/ElのModeがISOでダイナミックレンジが1300%のとき ISO2500 / ISO4000 / ISO5000 / ISO8000 / ISO10000 / ISO16000	AGC機能の最大ゲインを設定する。

Camera>Auto Exposure 自動露出調節の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto ND Filter	On / Off	オートNDフィルター機能をOn/Offにする (34ページ)。
Auto Shutter	On / Off	オートシャッターコントロール機能をOn/Offにする。
A.SHT Limit	1/100 / 1/150 / 1/200 / 1/250 / 1/2000	オートシャッター機能の最速シャッタースピードを設定する。
Clip High light	On / Off	高輝度部の検出を無視して、高輝度に対する反応を鈍くさせる機能をOn/Offにする。
Detect Window	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6	被写体の明るさに追従して露出を自動調整する測光範囲を選択する。(露出手動調整しているときは無効)
Detect Window Indication	On / Off	Detect WindowをOn/Offにする。
Camera>Focus フォーカスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Focus Area	Wide / Center / Flexible Spot	オートフォーカスの対象とする領域を設定する (31ページ)。 Wide : 映像全域からピントを合わせる位置を探す。 Center : 映像の中央にピントを合わせる。 Flexible Spot : 映像の指定した位置にピントを合わせる。
Focus Area (Push AF)	Center / Flexible Spot	プッシュオートフォーカスの対象とする領域を設定する (31ページ)。 Center : 映像の中央にピントを合わせる。 Flexible Spot : 映像の指定した位置にピントを合わせる。 【ご注意】 LA-EA2/4 (別売) では位置を設定できません。

Camera>Focus フォーカスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
AF Assist	On / Off	Onに設定すると、オートフォーカス時、一時的に手動でフォーカスを合わせることができる。
Camera>Shutter 電子シャッターの動作条件を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Mode	Speed / Angle / ECS / Off	電子シャッターのモードを選択する。 Speed/Angle（標準モード）： 動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合などに使用する。秒数でシャッター速度を設定するSpeed（スピード）モードと開角度でシャッター速度を設定するAngle（角度）モードを選択する。 ECS（拡張クリアスキャンモード）： モニター画面を、水平方向の縞模様が出ないように撮影したい場合などに使用する。

Camera>Shutter 電子シャッターの動作条件を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shutter Speed	1/3 ～ 1/9000 設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なります。 59.94P/59.94i： 1/4、1/8、1/15、1/30、 1/60 、1/90、1/100、1/125、1/180、1/250、1/350、1/500、1/725、1/1000、1/1500、1/2000、1/3000、1/4000、1/6000、1/9000 50P/50i： 1/3、1/6、1/12、1/25、 1/50 、1/60、1/100、1/120、1/150、1/215、1/300、1/425、1/600、1/1000、1/1250、1/1750、1/2500、1/3500、1/6000、1/9000 29.97P： 1/4、1/8、1/15、1/30、 1/60 、1/90、1/100、1/125、1/180、1/250、1/350、1/500、1/725、1/1000、1/1500、1/2000、1/3000、1/4000、1/6000、1/9000 25P： 1/3、1/6、1/12、1/25、 1/50 、1/60、1/100、1/120、1/150、1/215、1/300、1/425、1/600、1/1000、1/1250、1/1750、1/2500、1/3500、1/6000、1/9000 24P： 1/3、1/6、1/12、1/24、1/40、 1/48 、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/144、1/192、1/200、1/288、1/400、1/576、1/1200、1/2400、1/4800、1/9000 23.98P： 1/3、1/6、1/12、1/24、1/40、 1/48 、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/144、1/192、1/200、1/288、1/400、1/576、1/1200、1/2400、1/4800、1/9000	Speedモード選択時、シャッタースピードを設定する。 S&Qの記録フレームレートが1fpsのときは、1/1まで設定できます。

Camera>Shutter 電子シャッターの動作条件を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shutter Angle	5.6° / 11.2° / 22.5° / 45° / 90° / 120° / 144° / 150° / 172.8° / 180° / 216° / 300°	Angleモード 選択時、開角度を設定する。
ECS Frequency	23.99 ~ 8000 設定値は、選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって異なります。 初期値は以下のとおりです。 59.94P : 60.00 59.94i : 60.00 50P : 50.00 50i : 50.00 29.97P : 30.00 24P : 24.02 23.98P : 23.99 25P : 25.02	ECSモード 選択時、ECS周波数を設定する。
Camera>Color Bars カラーバーの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	カラーバーをOn/Offにする。 [ご注意] - RAW動画を記録する設定のときはOnにできません。 - PaintメニューのMatrixのPreset SelectがBT.2020のとき、カラーバーはBT.2020用の色情報を出力します。VFとBT.709色域に設定した映像出力のカラーバーは共に若干色が違って見えます。映像出力の色域についてはOutput Color Space (63ページ) をご覧ください。
Type	ARIB / SMPTE / 75% / 100%	カラーバーの種類を選択する。
Camera>Noise Suppression ノイズサプレスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ノイズサプレス機能をOn/Offにする。 [メモ] SystemメニューのBase SettingのShooting ModeがCine EIの場合、初期値はOffです。
Level	Low / Mid / High	ノイズサプレスのレベルを設定する。

Camera>Flicker Reduce フリッカー補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Mode	Auto / On / Off	フリッカー補正モードを設定する。
Frequency	50Hz / 60Hz	フリッカーの原因となる照明の電源周波数を設定する。
Camera>SteadyShot 手ブレ補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	Active SteadyShot / SteadyShot / Off	手ブレ補正機能をOn/Offにする。 [ご注意] 対応レンズ装着時のみ設定できます。
Camera>Handle Zoom ハンドルズームの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Zoom Speed Type	Fix / Variable / Off	ハンドル部のズームレバーの挙動を設定する。 [ご注意] ハンドル未装着の場合は、設定できません。
Zoom Speed	1 ~ 8 (3)	ハンドルズームスピードを設定する。 (Zoom Speed TypeがFixのときのみ有効) [ご注意] ハンドル未装着の場合は、設定できません。
Camera>Auto Black Balance オートブラックバランスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto Black Balance	Execute / Cancel	オートブラックバランス機能を実行する。 [ご注意] - オートブラックバランス機能は、レンズにキャップをつけて実行してください。 - 記録中、カラーバー表示中は設定できません。 - インターバルレックモード、スロー&クイックモーションモードのときは設定できません。
Camera>AF Micro Adjustment フォーカスポジションの微調整を行います。LA-EA2/4 (別売) 使用時のみ有効な設定です。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	AF微調整機能をOn/Offにする。

Camera>AF Micro Adjustment フォーカスポジションの微調整を行います。LA-EA2/4 (別売) 使用時のみ有効な設定です。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Amount	−20 ~ 0 ~ +20	AF微調整レベルを設定する。 Aマウントレンズを調整する方法は以下のとおりです。 1 LA-EA2/4 (別売) を使用して、調整したいレンズを装着します。 2 SettingをOnにし、Amountの値を調整します。 +側に設定することで被写体の後方に、−側に設定することで被写体の前方にピントを調整することができます。 調整を行う場合には、ワンプッシュAFなどで撮影結果を確認しながら調整値を決めることをお勧めします。
Clear All	Execute / Cancel	保存している調整値を初期化する。
Camera>Video Light Set ビデオライトの点灯方式を設定します。HVL-LBPC (別売) 使用時のみ有効な設定です。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Video Light Set	Power Link / Rec Link / Rec Link + Stby	マルチインターフェースシューに取り付けるビデオライトの点灯方式を設定する。 Power Link : 本機の電源の入／切に連動してビデオライトが点灯／消灯する。 Rec Link : 本機の録画開始／終了に連動してビデオライトが点灯／消灯する。 Rec Link + Stby : 本機の録画開始／終了に連動してビデオライトが点灯／スタンバイ点灯する。

Paintメニュー		
Paint>White ホワイトバランスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Preset White	2100K ~ 10000K (3200K)	ホワイトバランスのプリセット値を設定する。
Color Temp <A>	1500K ~ 50000K (3200K)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する。
Color Temp. Balance <A>	−99 ~ +99 (±0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのゲイン値 (Rゲイン、Bゲイン連動) を設定する。
R Gain <A>	−99 ~ +99 (±0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
B Gain <A>	−99 ~ +99 (±0)	メモリー Aに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。
Color Temp 	1500K ~ 50000K (3200K)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスの色温度を表示する。
Color Temp. Balance 	−99 ~ +99 (±0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのゲイン値 (Rゲイン、Bゲイン連動) を設定する。
R Gain 	−99 ~ +99 (±0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのRゲイン値を設定する。
B Gain 	−99 ~ +99 (±0)	メモリー Bに保存されたホワイトバランスのBゲイン値を設定する。
Filter White Memory	On / Off	NDフィルターごとにホワイトバランスメモリー領域を設定する機能をOn/Offにする。 On : NDフィルターごとにホワイトバランスメモリーを設定する。 [メモ] プリセットモードのときはCLEAR/1/2/3の4組、バリエابلモードのときはCLEARとOnの2組となります。 Off : 各NDフィルターでホワイトバランスメモリーは共通。

Paint>White ホワイトバランスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shockless White	Off / 1 / 2 / 3	ホワイトバランスモード切り替え時のホワイトバランス変化速度を設定する。 Off：瞬時に切り替わる。 1～3：数字が大きいほどゆっくり切り替わる。
White Switch	Memory / ATW	WHT BALスイッチをBに設定したときに選択されるホワイトバランス調整モードを選択する。
ATW Speed	1 / 2 / 3 / 4 / 5	ATWモード時の反応速度を設定する。 1：最も反応速度が速い。
Paint>Offset White ホワイトバランスのオフセットの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Offset White <A>	On / Off	メモリー Aのホワイトバランスにオフセット値を付加する(On)か付加しないか(Off)を選択する。
Warm Cool <A>	－99 ～＋99 (±0)	Offset White <A>がOnの場合に、メモリー Aのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する。
Warm Cool Balance <A>	－99 ～＋99 (±0)	Warm Cool <A>の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
Offset White 	On / Off	メモリー Bのホワイトバランスにオフセット値を付加する(On)か付加しないか(Off)を選択する。
Warm Cool 	－99 ～＋99 (±0)	Offset White がOnの場合に、メモリー Bのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する。
Warm Cool Balance 	－99 ～＋99 (±0)	Warm Cool の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
Offset White <ATW>	On / Off	ATWのホワイトバランスにオフセット値を付加する(On)か付加しないか(Off)を選択する。
Warm Cool<ATW>	－99 ～＋99 (±0)	Offset White<ATW>がOnの場合に、ATWのホワイトバランスに付加するオフセットを色温度で設定する。

Paint>Offset White ホワイトバランスのオフセットの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Warm Cool Balance <ATW>	－99 ～＋99 (±0)	Warm Cool<ATW>の設定で希望の映像が得られなかった場合に、さらに細かく色温度を設定する。
Paint>Black ブラックの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ブラック補正をOn/Offにする。
Master Black	－99 ～＋99 (±0)	マスターブラックレベルを設定する。 【ご注意】 SEL/SETダイヤルをゆっくり回すことで、微調整できます。その場合、数値が変わらないことがあります。
R Black	－99 ～＋99 (±0)	Rブラックレベルを設定する。
B Black	－99 ～＋99 (±0)	Bブラックレベルを設定する。
Paint>Gamma ガンマ補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ガンマ補正機能をOn/Offにする。
Step Gamma	0.35 ～ 0.45 ～ 0.90	ガンマ補正値を0.05ステップで設定する。
Master Gamma	－99 ～＋99 (±0)	マスターガンマレベルを設定する。
R Gamma	－99 ～＋99 (±0)	Rガンマレベルを設定する。
G Gamma	－99 ～＋99 (±0)	Gガンマレベルを設定する。
B Gamma	－99 ～＋99 (±0)	Bガンマレベルを設定する。
Gamma Category	STD / HG / User / S-Log2 / S-Log3	スタンダードガンマ (STD)、ハイパーガンマ (HG)、ユーザーガンマ (User)、S-Log2、S-Log3を選択する。

Paint>Gamma ガンマ補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Gamma Select	Gamma CategoryがSTDのとき	ガンマ補正に使用するガンマテーブルを選択する。 ハイパーガンマとS-Log2/S-Log3の詳細は次のとおりです。
	STD1 DVW / STD2 x 4.5 / STD3 x 3.5 / STD4 240M / STD5 R709 / STD6 x 5.0	
	Gamma CategoryがHGのとき	名称ダイナミックレンジホワイトリミット18%グレーカードのビデオ出力(ビデオ入力20%)
	HG1 3250G36 / HG2 4600G30 / HG3 3259G40 / HG4 4609G33 / HG7 8009G40 / HG8 8009G33	
	Gamma CategoryがUserのとき	HG1 3250G36 325% 100% 36% HG2 4600G30 460% 100% 30% HG3 3259G40 325% 109% 40% HG4 4609G33 460% 109% 33% HG7 8009G40 800% 109% 40% HG8 8009G33 800% 109% 33%
	User 1 / User 2 / User 3 / User 4 / User 5	
	Gamma CategoryがS-Log2のとき	S-Log2 1300% - 32%
	S-Log2	
	Gamma CategoryがS-Log3のとき	S-Log3 1300% - 41%
	S-Log3	
Paint>Black Gamma ブラックガンマ補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ブラックガンマ補正機能をOn/Offにする。 (Gamma設定のGamma CategoryがSTDのときのみ有効) 【ご注意】 Black GammaとKneeのKnee Saturationの機能は同時に使用できません。
Range	Low / Mid / High	ブラックガンマ補正の有効範囲を選択する。
Master Black Gamma	- 99 ~ + 99 (±0)	マスターブラックガンマレベルを設定する。
Paint>Knee ニー補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ニー補正機能をOn/Offにする。 (Gamma設定のGamma CategoryがSTDのときのみ有効)

Paint>Knee ニー補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto Knee	On / Off	オートニー機能をOn/Offにする。
Point	75% ~ 109% (90%)	ニーポイントを設定する。
Slope	- 99 ~ + 99 (±0)	ニースロープを設定する。
Knee Saturation	On / Off	Onにすると、ニーサチュレーション(ニーポイントより上の部分の色つき具合)の調整が有効になる。 【ご注意】 Black GammaとKneeのKnee Saturationの機能は同時に使用できません。
Knee Saturation Level	- 99 ~ + 99 (±0)	ニーポイントより上の部分の色つき具合(ニーサチュレーション)を調整する。
Paint>White Clip ホワイトクリップ調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ホワイトクリップ調整機能をOn/Offにする。 【ご注意】 - 本設定は電源を切るとOnに戻ります。永続的にOffしたい場合はLevelを109%に設定してください。 - Gamma設定のGamma CategoryがS-Log2、S-Log3のときは設定できません。
Level	90.0% ~ 109.0% お買い上げの地域により初期値が異なります。 NTSC Area : 108.0% PAL Area : 105.0%	ホワイトクリップレベルを設定する。
Paint>Detail ディテール調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ディテール調整機能をOn/Offにする。
Level	- 99 ~ + 99 (±0)	ディテールレベルを設定する。
H/V Ratio	- 99 ~ + 99 (±0)	HディテールレベルとVディテールレベルのミックス比を設定する。

Paint>Detail ディテール調整の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Crispening	−99 ～ +99 (±0)	クリスプニングレベルを設定する。
Level Depend	On / Off	レベルディPEND調整機能をOn/Offにする。
Level Depend Level	−99 ～ +99 (±0)	レベルディPENDレベルを設定する。
Frequency	−99 ～ +99 (±0)	ディテールの中心周波数 (ディテールの太さ) を設定する。 中心周波数を高くするとディテールは細くなり、中心周波数を低くするとディテールは太くなる。
Knee Aperture	On / Off	ニーアパーチャー補正機能をOn/Offにする。
Knee Aperture Level	−99 ～ +99 (±0)	ニーアパーチャーレベルを設定する。
Limit	−99 ～ +99 (±0)	白側、黒側両方向のディテールリミッターを設定する。
White Limit	−99 ～ +99 (±0)	白側のディテールリミッターを設定する。
Black Limit	−99 ～ +99 (±0)	黒側のディテールリミッターを設定する。
V Black Limit	−99 ～ +99 (±0)	黒側のVディテールリミッターを設定する。
V Detail Creation	NAM / Y / G / G+R	垂直ディテールを生成するための元とする信号を、NAM (GとRのどちらか大きい方)、Y、G、G+Rのいずれかから選択する。
Paint>Skin Detail スキنديテール補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	スキنديテール補正機能をOn/Offにする。
Area Detection	Execute / Cancel	スキنديテール補正の対象となる色を検出する。 Execute：実行
Area Indication	On / Off	スキنديテール補正の対象となる色のエリアにゼブラを表示する機能をOn/Offにする。
Level	−99 ～ +99 (±0)	スキنديテールレベルを設定する。

Paint>Skin Detail スキنديテール補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Saturation	−99 ～ +99 (±0)	スキنديテール補正の対象となる色の飽和度 (サチュレーション) を設定する。
Hue	0 ～ 359	スキنديテール補正の対象となる色の色相 (ヒュー) を設定する。
Width	0 ～ 90 (40)	スキنديテール補正の対象となる色の色相の範囲を設定する。
Paint>Aperture アパーチャー補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	Onにすると、アパーチャー補正 (ビデオ信号に、高周波数のアパーチャー信号を加えて周波数特性による劣化を補正し、解像度を高める処理) が有効になる。
Level	−99 ～ +99 (±0)	アパーチャー補正のレベルを設定する。
Paint>Matrix マトリクス補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	マトリクス補正機能をOn/Offにする。
Adaptive Matrix	On / Off	アダプティブマトリクス機能をOn/Offにする。
Preset Matrix	On / Off	プリセットマトリクス機能をOn/Offにする。

Paint>Matrix マトリクス補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Preset Select	Standard High Saturation FL Light Cinema F55 709 Like BT.2020	プリセットマトリクスを選択する。 【ご注意】 - BT.2020は、録画フォーマットが4KまたはQFHDのときのみ選択できます。 - BT.2020設定時の各映像出力の色域については、「Preset SelectがBT.2020設定時の各出力メニュー設定と各映像出力の色域」(91ページ)をご覧ください。 - BT.2020を設定時にBT.2020のマトリクス補正が有効になるのは、 「Preset SelectがBT.2020設定時の各出力メニュー設定と各映像出力の色域」(91ページ)でBT.2020となっている出力信号 4KまたはQFHDで記録される映像の2つであり、「Preset SelectがBT.2020設定時の各出力メニュー設定と各映像出力の色域」(91ページ)でBT.709となっている出力信号にはITU-R BT.709相当のマトリクス補正が働きます。
User Matrix	On / Off	ユーザーマトリクス補正機能をOn/Offにする。
Level	−99 ～ +99 (±0)	映像全域の色の濃さ(サチュレーション)を調整する。
Phase	−99 ～ +99 (±0)	映像全域の色合い(フェーズ)を調整する。
User Matrix R-G	−99 ～ +99 (±0)	R-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix R-B	−99 ～ +99 (±0)	R-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix G-R	−99 ～ +99 (±0)	G-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix G-B	−99 ～ +99 (±0)	G-Bのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix B-R	−99 ～ +99 (±0)	B-Rのユーザーマトリクスを任意に設定する。
User Matrix B-G	−99 ～ +99 (±0)	B-Gのユーザーマトリクスを任意に設定する。

Paint>Multi Matrix マルチマトリクス補正の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	Multi Matrix補正機能をOn/Offにする。
Area Indication	On / Off	Area Indication機能をOn/Offにする。
Color Detection	Execute / Cancel	Multi Matrix補正の対象となる色を検出する。
Axis	B / B+ / MG− / MG / MG+ / R / R+ / YL− / YL / YL+ / G− / G / G+ / CY / CY+ / B−	Axisを選択する。
Hue	−99 ～ +99 (±0)	Multi Matrix補正の対象となる色の色相(ヒュー)を設定する。
Saturation	−99 ～ +99 (±0)	Multi Matrix補正の対象となる色の飽和度(サチュレーション)を設定する。
Paint>Maintenance メンテナンスの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Test Saw	On / Off	テスト信号をOn/Offにする。

Audioメニュー

「ブロックダイアグラム」(101ページ)を併せてご覧ください。

Audio>Audio Input 音声入力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
CH1 Input Select	INPUT1 / Internal MIC / Shoe 1	記録CH1に対する入力元を切り替える。
CH2 Input Select	INPUT1 / INPUT2 / Internal MIC / Shoe 2	記録CH2に対する入力元を切り替える。
CH3 Input Select	Off / Internal MIC / Shoe 1	記録CH3に対する入力元を切り替える。
CH4 Input Select	Off / Internal MIC / Shoe 2	記録CH4に対する入力元を切り替える。
INPUT1 MIC Reference	−60dB / −50dB / −40dB	INPUT1からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。

Audio>Audio Input 音声入力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
INPUT2 MIC Reference	−60dB / −50dB / −40dB	INPUT2からのXLRマイク入力に対するリファレンスレベルを設定する。
CH1 Wind Filter	On / Off	記録CH1に対する風音低減フィルターを設定する。
CH2 Wind Filter	On / Off	記録CH2に対する風音低減フィルターを設定する。
CH3 Wind Filter	On / Off	記録CH3に対する風音低減フィルターを設定する。
CH4 Wind Filter	On / Off	記録CH4に対する風音低減フィルターを設定する。
CH3 Level Control	Auto / Manual	記録CH3の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。 [ご注意] CH3 Input Select、CH4 Input SelectがどちらもInternal MICに設定されている場合は、本設定に連動してCH4の自動・手動も切り替わります。
CH4 Level Control	Auto / Manual	記録CH4の音声入力レベル調整を自動にするか、手動にするかを設定する。 [ご注意] CH3 Input Select、CH4 Input SelectがどちらもInternal MICに設定されている場合は、CH3 Level Controlの設定に連動してCH4の自動・手動も切り替わります。
CH3 Input Level	0 ~ 99 (49)	記録CH3の音声入力レベルを設定する。 [ご注意] CH3 Input Select、CH4 Input SelectがどちらもInternal MICに設定されている場合は、本設定に連動してCH4 Input Levelも切り替わります。
CH4 Input Level	0 ~ 99 (49)	記録CH4の音声入力レベルを設定する。 [ご注意] CH3 Input Select、CH4 Input SelectがどちらもInternal MICに設定されている場合は、CH3 Input Levelの設定に連動してCH4 Input Levelも切り替わります。

Audio>Audio Input 音声入力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Audio Input Level	0 ~ 99	音声入力レベルを設定する。 CH1 Level ~ CH4 Levelの設定に従って、マスターボリュームとして使用できます。
Limiter Mode	Off / −6dB / −9dB / −12dB / −15dB / −17dB	オーディオ入力レベルの手動調節時の大きな信号に対するリミッター特性を選択する。
CH1&2 AGC Mode	Mono / Stereo	記録CH1とCH2の自動レベル調整モードを設定する。
CH3&4 AGC Mode	Mono / Stereo	記録CH3とCH4の自動レベル調整モードを設定する。
AGC Spec	−6dB / −9dB / −12dB / −15dB / −17dB	AGC特性を選択する。
1kHz Tone on Color Bars	On / Off	カラーバー表示中の1 kHzの基準音声信号をOn/Offにする。 [ご注意] Onに設定すると、CH3 Input Select、CH4 Input SelectがOffの場合でも、1 kHzの基準音声信号を記録CH3、記録CH4に乗せます。
CH1 Level	XLRアダプター入力なし Audio Input Level / Side / Level+Side XLRアダプター入力あり (41ページ) Audio Input Level / Through	記録CH1の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 [ご注意] Sideは本機側面のCH1 INPUT LEVELダイヤルを指します。Level+Sideを設定したときはAudio Input Level設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります (101ページ)。
CH2 Level	XLRアダプター入力なし Audio Input Level / Side / Level+Side XLRアダプター入力あり (41ページ) Audio Input Level / Through	記録CH2の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 [ご注意] Sideは本機側面のCH2 INPUT LEVELダイヤルを指します。Level+Sideを設定したときはAudio Input Level設定の割合とダイヤル設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります (101ページ)。

Audio>Audio Input 音声入力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
CH3 Level	XLRアダプター入力なし Audio Input Level / CH3 Input Level / Level+CH3 Input Level XLRアダプター入力あり (41ページ) Audio Input Level / Through	記録CH3の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 [ご注意] Level+CH3 Input Levelを設定したときはAudio Input Level設定の割合とCH3 Input Level設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります (101ページ)。
CH4 Level	XLRアダプター入力なし Audio Input Level / CH4 Input Level / Level+CH4 Input Level XLRアダプター入力あり (41ページ) Audio Input Level / Through	記録CH4の音声入力レベル調整の組み合わせを設定する。 [ご注意] Level+CH4 Input Levelを設定したときはAudio Input Level設定の割合とCH4 Input Level設定の割合を掛け合わせた割合が録音レベルになります (101ページ)。
Audio>Audio Output 音声出力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Monitor CH	CH1/CH2 / CH3/CH4 / MIX ALL / CH1 / CH2 / CH3 / CH4	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーに出力する音声チャンネルを選択する。 [ご注意] 複数チャンネルの音声を同時出力する設定値を選択した場合は、音割れしないように各チャンネルの出力レベルを下げて音声が出力されます。
Monitor Volume	0 ~ 15 (7)	ヘッドホン端子および内蔵スピーカーのモニター音声レベルを調整する。
Headphone Out	Mono / Stereo	ヘッドホン端子をモノラル (Mono) 出力にするか、ステレオ (Stereo) 出力にするかを選択する。
Alarm Volume	0 ~ 7 (4)	警告音の音量を調整する。
Output Limiter	On / Off	オーディオ出力リミッターを選択する。
HDMI Output CH	CH1/CH2 / CH3/CH4	HDMIに出力される音声チャンネルの組み合わせを設定する。

Videoメニュー

Video>Output On/Off 映像出力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
SDI	On / Off	SDI出力をOn/Offにする。
HDMI	On / Off	HDMI出力をOn/Offにする。
Video>Output Format 出力フォーマットの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
SDI	設定項目について詳しくは、「出力のフォーマットと制限」(86ページ)をご覧ください。	SDIとHDMI出力の解像度設定をする。 [ご注意] ピクチャーキャッシュレック中はOutput Formatの設定を変更できない場合があります。この場合、一度ピクチャーキャッシュレックをOffにしてから変更操作を行ってください。
HDMI		
REF		
Video>Output Setting 出力変換モードの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
HDMI Target Device	Recorder / Monitor	HDMI出力に接続するHDMI入力機器の種類を設定する。 Recorder : Cine EIモードのときにSDI1と同じ映像をHDMIに出力する。 Monitor : Cine EIモードのときにSDI2と同じ映像をHDMIに出力する。
Output Color Space	PaintメニューのMatrixのPreset SelectがBT.2020で、VideoメニューのOutput Formatが2K以下のとき SDI2 BT.709 / SDI2 BT.2020 / All BT.709 上記以外のときは設定できません。出力される色域を表示します。	出力色域を設定する。 [メモ] BT.2020設定時の各映像出力の色域については、「Preset SelectがBT.2020設定時の各出力メニュー設定と各映像出力の色域」(91ページ)をご覧ください。 [ご注意] S&Q MotionがOnの場合には、一時的にAll BT.709に設定されます。
4K/2K to HD Conv.	Edge Crop / Letter Box	17:9映像をHD映像出力するときの変換モードを設定する。

Video>Monitor LUT モニター LUTの設定を行います。Cine EIモードの撮影時のみ有効です。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Category	LUT / Look Profile / User 3D LUT	Monitor LUTとして適用するLookの種類を選択する。 LUT : Preset LUTもしくはUser LUTを適用した映像を出力する。 Look Profile : Lookナンバーを選択することで、カラーグレーディングの開始点に適した映像やプリントフィルムに近づけた映像を出力する。 User 3D LUT : User 3D LUTを適用した映像を出力する。 [ご注意] - Monitor LUTを系統別に設定できない場合があります (91ページ)。 - SystemメニューのBase SettingのColor SpaceをS-Gamut/S-Log2に設定した場合は、User 3D LUTを選べません。

Video>Monitor LUT モニター LUTの設定を行います。Cine EIモードの撮影時のみ有効です。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
LUT Select	P1: 709 (800%) P2: HG8009G40 P3: HG8009G33 P4: S-Log2 P5: S-Log3 U1 U2 U3 U4 U5 U6	Monitor LUTのCategoryがLUTのときの、LUTの種類を選択する。 709 (800%) : ITU-R709 をベースにダイナミックレンジを800% まで拡張した信号。 HG8009G40 : ダイナミックレンジ800%、ホワイトリミット109%、18%グレーカードのビデオ出力40% のハイパーガンマを使用した信号。 HG8009G33 : ダイナミックレンジ800%、ホワイトリミット109%、18%グレーカードのビデオ出力33% のハイパーガンマを使用した信号。 S-Log2 : ポストプロダクション処理を前提とし、かつVideo Monitorでの視認性も考慮したダイナミックレンジ1300%のLog信号です。 (SystemメニューのBase SettingのColor SpaceがS-Gamut/SLog2のときのみ選択可能) S-Log3 : Cineon Logカーブに近い、よりフィルム特性に似せたダイナミックレンジ1300%のLog信号。 (SystemメニューのBase SettingのColor SpaceがS-Gamut3.Cine/SLog3またはS-Gamut3/SLog3のときのみ選択可能) U1 ~ U6 : SD Cardからインポートした任意のLUTの信号。 [ご注意] RAW ViewerでLUTを作成するときは、出力形式としてF55/F5を選んでください。 LUTファイルは、SDカードに以下のフォルダを作成して配置してください。 \\PRIVATE\\SONY\\PRO\\CAMERA\\PMWF55_F5

Video>Monitor LUT モニター LUTの設定を行います。Cine EIモードの撮影時のみ有効です。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Look Profile Select	1: LC-709 2: LC-709typeA 3: SLog2-709 4: Cine+709	Monitor LUTのCategoryがLook Profileのときの、Look Profileの種類を選択する。
User 3D LUT Select	User 3D-1 User 3D-2 User 3D-3 User 3D-4	User 3D LUTの種類を選択する。
SDI1 & Internal Rec	MLUT On / MLUT Off	SDI OUT1出力およびXQDメモリーカードに記録する映像にMonitor LUTを適用するか選択する。
SDI2	MLUT On / MLUT Off	SDI OUT2出力する映像にMonitor LUTを適用するか選択する。
HDMI	MLUT On / MLUT Off	HDMI出力する映像にMonitor LUTが適用されるかどうかの状態を表示する。 [メモ] HDMI Target Deviceの設定に従います (91ページ)。
Viewfinder	MLUT On / MLUT Off	ビューファインダー出力の映像にMonitor LUTを適用するか選択する。
Video>Output Display 出力信号の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
SDI2	On / Off	SDI出力信号やHDMI出力信号にメニューやステータスを重畳するか選択する。
HDMI	On / Off	

VFメニュー

VF>VF Setting ビューファインダーの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Brightness	−99 ~ +99 (±0)	ビューファインダー映像の明るさを調整する。
Color Mode	Color / B&W	E-E表示/記録時のビューファインダーの表示モードを選択する。
VF>Peaking ピーキングの設定を行います		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ピーキング機能をOn/Offにする。
Peaking Type	Normal / Color	ピーキングの種類を選択する。 Normal：通常のピーキング Color：カラーピーキング
Frequency	Normal / High	ピーキング周波数を標準 (Normal) にするか高く (High) するかを選択する。
Normal Peaking Level	0 ~ 99 (50)	ノーマルピーキングのレベルを設定する。
Color	B&W / Red / Yellow / Blue	カラーピーキングの信号色を選択する。
Color Peaking Level	0 ~ 99 (50)	カラーピーキングのレベルを設定する。
VF>Zebra ゼブラパターンの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ゼブラ機能をOn/Offにする。
Zebra Select	1 / 2 / Both	ゼブラ表示の種類 (ゼブラ1、ゼブラ2、または両方) を選択する。
Zebra1 Level	0% ~ 107% (70%)	ゼブラ1を表示するレベルを設定する。
Zebra1 Aperture Level	1% ~ 20% (10%)	ゼブラ1のアパーチャーレベルを設定する。
Zebra2 Level	0% ~ 109% (100%)	ゼブラ2を表示するレベルを設定する。

VF>Marker マーカー表示の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	すべてのマーカー表示をまとめてOn/Offにする。
Color	White / Yellow / Cyan / Green / Magenta / Red / Blue	マーカーの信号色を選択する。
Center Marker	1 / 2 / 3 / 4 / Off	センターマーカーをOn/Offにする。
Safety Zone	On / Off	セーフティーゾーンマーカーをOn/Offにする。
Safety Area	80% / 90% / 92.5% / 95%	セーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
Aspect Marker	Line / Mask / Off	アスペクトマーカーの比を選択する。
Aspect Mask	0 ～ 15 (12)	マーカー外側のビデオ信号のレベルを設定する。
Aspect Safety Zone	On / Off	アスペクトセーフティーゾーンマーカーをOn/Offにする。
Aspect Safety Area	80% / 90% / 92.5% / 95%	アスペクトセーフティーゾーンマーカーの大きさ（画面全体に対する比率）を選択する。
Aspect Select	4:3 / 1.66 : 1 / 1.85 : 1 / 2.35 : 1 / 2.4 : 1	アスペクトマーカーを表示するときのモードを設定する。
User Box	On / Off	ボックスカーソルを表示するときOnに設定する。
User Box Width	3 ～ 479 (240)	ボックスカーソルの幅（中心から左右端までの距離）を設定する。
User Box Height	3 ～ 269 (135)	ボックスカーソルの高さ（中心から上下端までの距離）を設定する。
User Box H Position	－476 ～ +476 (0)	ボックスカーソルの中心の水平位置を設定する。
User Box V Position	－266 ～ +266 (0)	ボックスカーソルの中心の垂直位置を設定する。
100% Marker	On / Off	100%マーカーをOn/Offする。
Guide Frame	On / Off	ガイドフレーム表示をOn/Offにする。

VF>Display On/Off 画面表示項目の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ビューファインダー画面に表示する項目を選択する。
Shutter Setting	On / Off	
ND Filter Value	On / Off	
Gain Setting	On / Off	

VF>Display On/Off 画面表示項目の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Rec/Play Status	On / Off	ビューファインダー画面に表示する項目を選択する。
HXR-IFR5 Rec Control	On / Off	
Color Temp.	On / Off	
Frame Rate / Interval	On / Off	
Battery Remain	On / Off	
Timecode	On / Off	
Audio Manual	On / Off	
Audio Level Meter	On / Off	
Media Status	On / Off	
Focus Position	Meter / Feet / Off	
Iris Position	On / Off	
Zoom Position	Number / Bar / Off	
SteadyShot	On / Off	
Focus Mode	On / Off	
Focus Area Indicator	On / Off	
Focus Area Ind. (Push AF)	On / Off	
Focus Indicator	On / Off	
Auto Shutter	On / Off	
AGC	On / Off	
Auto ND Filter	On / Off	
Auto Iris	On / Off	
AE Mode	On / Off	

VF>Display On/Off 画面表示項目の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto Exposure Level	On / Off	ビューファインダー画面に表示する項目を選択する。
White Balance Mode	On / Off	
SDI/HDMI Rec Control	On / Off	
Rec Format	On / Off	
Gamma	On / Off	
Timecode Lock	On / Off	
Wi-Fi Condition	On / Off	
Clip Name	On / Off	
Focus Assist Indicator	On / Off	
Focus Area Marker	On / Off	
Video Level Warning	On / Off	
Clip Number	On / Off	
GPS	On / Off	
Level Gauge	On / Off	
Lens Info	Meter / Feet / Off	
Notice Message	On / Off	
VF>Video Signal Monitor 映像信号モニターの設定を行います (40ページ)。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	Off / Waveform / Vector / Histogram	映像信号モニターの種類を設定する。 【ご注意】 Display On/OffのSettingがOffのときは非表示になります。

VF>Video Signal Monitor 映像信号モニターの設定を行います（40ページ）。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Source	CustomモードでPreset SelectがBT.2020、映像出力の解像度が2K以下、Output Color SpaceがSDI2 BT.709のとき、または、Cine EIモードで映像出力の解像度が2K以下のとき SDI1 & Internal Rec / SDI2	映像信号モニターの計測対象を設定する。設定できないときは計測対象を表示します。

TC/UBメニュー

TC/UB>Timecode タイムコードの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Mode	Preset / Regen / Clock	タイムコードの歩進モードを設定する。 Preset（プリセット）： 設定された状態から歩進する。 Regen（リジェネ）： 前のクリップのタイムコードに続けて歩進する。 Clock（クロック）： 内蔵時計をタイムコードとして使用する。
Run	Rec Run / Free Run	Rec Run：記録時のみ歩進する。 Free Run：記録に関係なく常に歩進する。
Setting		タイムコードを任意の値に設定する。 SET：決定
Reset	Execute / Cancel	タイムコードを00:00:00:00にリセットする。 Execute：実行
TC Format	DF / NDF	タイムコードのフォーマットを設定する。 DF：ドロップフレーム NDF：ノンドロップフレーム

TC/UB>TC Display タイムデータ表示の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display Select	Timecode / Users Bit / Duration	タイムデータの表示を切り替える。
TC/UB>Users Bit ユーザービットに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Mode	Fix / Time	ユーザービットのモードを設定する。 Fix：ユーザービットに任意の固定値を使用する。 Time：ユーザービットに現在の時分秒を使用する。
Setting		ユーザービットを任意の値に設定する。
TC/UB>HDMI TC Out HDMI利用時のタイムコード出力に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	HDMIを利用して、他の業務用機器にタイムコードを出力するかどうかを設定する。

Recordingメニュー

Recording>S&Q Motion スロー&クイックモーションモードの設定を行います（37ページ）。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	スロー&クイックモーションモードをOn/Offにする。 Onのとき、以下の機能が無効になります。 - オートアイリス - オートフォーカス

Recording>S&Q Motion スロー&クイックモーションモードの設定を行います (37ページ)。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
High Frame Rate Mode	Off / Full Scan / Center Scan	60Pより早い高速撮像方式を設定する。 Off： 60Pより早い高速撮像を行わない。 Full Scan： Super 35mmサイズの画角で高速撮像を行う。 Center Scan： 画面中央部分のSuper 35mmサイズの半分の画角で高速撮像を行う。 [ご注意] Imager Scan Modeで2K Fullまたは2K Centerを選択しているとき、本設定はImager Scan Modelに従うため設定できません。
Frame Rate	最大240fps	スロー&クイックモーション撮影時のフレームレートを設定する。 [ご注意] 初期値は、Codec、Country、Video FormatおよびRAW Output Formatの値によって変わります。
Recording>Interval Rec インターバルレックの設定を行います (38ページ)。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	インターバルレックモードをOn/Offにする。(この設定をOnにすると、他の特殊記録モードの設定がOffになる。)
Interval Time	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (sec) 1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / 7 / 8 / 9 / 10 / 15 / 20 / 30 / 40 / 50 (min) 1 / 2 / 3 / 4 / 6 / 12 / 24 (hour)	Interval Recの設定がOnの場合に、インターバル撮影時の録画間隔(インターバル)を設定する。

Recording>Interval Rec インターバルレックの設定を行います (38ページ)。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Number of Frames	1frame / 2frames / 3frames / 6frames / 9frames / 12frames 選択されているビデオフォーマットのフレーム周波数によって設定値が異なります。 50P/59.94P： 2frames / 6frames / 12frames 23.98P/25P/29.97P/50i/59.94i： 1frame / 3frames / 6frames / 9frames	Interval Recの設定がOnの場合に、インターバル撮影時の1回の記録フレーム数を設定する。
Pre-Lighting	Off / 2sec / 5sec / 10sec	インターバルレック撮影開始時にビデオライトを点灯させる場合は何秒前に点灯させるかを選択する。 [メモ] HVL-LBPC (別売) 使用時のみ有効な設定です。
Recording>Picture Cache Rec ピクチャーキャッシュレックモードの設定を行います (39ページ)。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	ピクチャーキャッシュレックモードをOn/Offにする。
Cache Rec Time	0-2sec / 2-4sec / 4-6sec / 6-8sec / 8-10sec / 10-12sec / 12-14sec / 13-15sec	Picture Cache Recの設定がOnの場合に、ピクチャーキャッシュレック時間を設定する。
Recording>Simul Rec 同時記録の設定を行います (30ページ)。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	本線同時記録機能のOn/Offと記録先メディアを一括設定する。
Rec Button Set	"Rec Button [SlotA SlotB] Handle Rec Button [SlotA SlotB]" / "Rec Button [SlotA] Handle Rec Button [SlotB]" / "Rec Button [SlotB] Handle Rec Button [SlotA]"	記録メディアごとに録画ボタンの割り当てを行う。

Recording>SDI/HDMI Rec Control SDI/HDMI記録制御の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	Off / SDI/HDMI Remote I/F / Parallel Rec	SDI/HDMI出力信号による外部接続機器の記録/停止制御方法を設定する（42ページ）。 Rec Button Setで各ボタンの割り当てが異なるとき、記録制御信号はSlot Aの記録状態に従います。 [メモ] 本設定がSDI/HDMI Remote I/Fのときは、XQDカードが挿入されていなくても外部接続機器に対して記録／停止制御を行います。

Thumbnailメニュー

Thumbnail		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Display Clip Properties		クリップ詳細情報画面を開く。
Set Index Picture		クリップの代表画を設定する。
Thumbnail>Thumbnail View サムネイル画面の表示形態の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Essence Mark Thumbnail	All / Rec Start / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Shot Mark3 / Shot Mark4 / Shot Mark5 / Shot Mark6 / Shot Mark7 / Shot Mark8 / Shot Mark9 / Shot Mark0	エッセンスマークのついているフレームをサムネイル表示する。
Clip Thumbnail		記録されているクリップのサムネイルを表示する。
Thumbnail>Set Shot Mark ショットマークの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Add Shot Mark1		Shot Mark1を追加する。

Thumbnail>Set Shot Mark ショットマークの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Delete Shot Mark1		Shot Mark1を削除する。
Add Shot Mark2		Shot Mark2を追加する。
Delete Shot Mark2		Shot Mark2を削除する。
Thumbnail>Set Clip Flag クリップフラッグの編集を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Add OK		OKフラグを付ける。
Add NG		NGフラグを付ける。
Add KEEP		Keepフラグを付ける。
Delete Clip Flag		すべてのフラグを外す。
Thumbnail>Lock/Unlock Clip クリップ保護の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Select Clip		保護/保護解除するクリップを選択して実行する。
Lock All Clips		すべてのクリップを保護する。
Unlock All Clips		すべてのクリップを保護解除する。
Thumbnail>Delete Clip クリップを削除します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Select Clip		任意のクリップを削除する。
All Clips		表示されているすべてのクリップを削除する。
Thumbnail>Filter Clips 表示するクリップの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
OK		OKフラグのついたクリップのみを表示する。

Thumbnail>Filter Clips 表示するクリップの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
NG		NGフラグのついたクリップのみを表示する。
KEEP		Keepフラグのついたクリップのみを表示する。
None		フラグのついていないクリップのみを表示する。
Thumbnail>Customize View サムネイル画面の表示を切り替えます。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Thumbnail Caption	Date Time / Time Code / Duration / Sequential Number	サムネイル画像直下の表示内容を切り替える。

Mediaメニュー

Media>Update Media メモリーカード内の管理ファイルを更新します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Media (A)	Execute / Cancel	スロットAのXQDメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 Execute：実行
Media (B)	Execute / Cancel	スロットBのXQDメモリーカード内の管理ファイルを更新する。 Execute：実行
Media>Format Media メモリーカードを初期化します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Media (A)	Execute / Cancel	スロットAのXQDメモリーカードを初期化する。 Execute：実行
Media (B)	Execute / Cancel	スロットBのXQDメモリーカードを初期化する。 Execute：実行

Media>Format Media メモリーカードを初期化します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
SD Card	Execute / Cancel	UTILITY SDカードを初期化する。 Execute：実行
Media>Clip クリップ名に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Auto Naming	Cam ID + Reel# / Title	クリップ名の生成モードを決める Cam ID + Reel#： Camera ID + Reel Number + Shot Number + 年月日 + ランダム文字列 Title： Title Prefixで設定した任意文字列 + クリップ番号 【ご注意】 Simul RecがOnのときは、Cam ID + Reel#に設定できません。
Camera ID	A ～ Z	Auto NamingがCam ID + Reel#のとき、カメラIDを設定する。
Reel Number	001 ～ 999	Auto NamingがCam ID + Reel#のとき、Reel Numberの数字部分を設定する。
Camera Position	C / L / R	Auto NamingがCam ID + Reel#のとき、Shot Numberの先頭文字部分を設定する。
Title Prefix	初期値は「機種固有ID_」。 機種固有ID：シリアルNo.の下3桁	Auto NamingがTitleのとき、クリップ名のタイトル部分を設定する。 【メモ】 設定は文字列入力画面（51ページ）で行います。
Number Set	0001 ～ 9999	Auto NamingがTitleのとき、クリップ名の番号部分を設定する。

Fileメニュー

File>All File Allファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Load SD Card	Execute / Cancel	Allファイルを読み出す。 Execute：実行
Save SD Card	Execute / Cancel	Allファイルを保存する。 Execute：実行
File ID		ファイルに名前を付ける。
File>Scene File Sceneファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Recall Internal Memory	Execute / Cancel	内蔵メモリーからSceneファイルを読み出す。 Execute：実行
Store Internal Memory	Execute / Cancel	内蔵メモリーにSceneファイルを保存する。 Execute：実行
Load SD Card	Execute / Cancel	Executeを選択するとSDカードから読み出しを実行する。 Execute：実行
Save SD Card	Execute / Cancel	Executeを選択するとSDカードへ保存を実行する。 Execute：実行
File ID		ファイルに名前を付ける。
Scene White Data	On / Off	Scene Fileを読み出し時にWhite Balanceのデータを反映させるかどうかを設定する。
File>User Menu Item Userメニュー項目に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Load SD Card	Execute / Cancel	SDカード内のUserメニュー項目の設定を内蔵メモリーに読み込む。 Execute：実行
Save SD Card	Execute / Cancel	Userメニュー項目の設定をSDカードに保存する。 Execute：実行

File>User Menu Item Userメニュー項目に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
File ID		Load SD Cardで読み込んだファイルに設定されているFile IDを表示する。また、本メニューでファイルの識別用に保存する場合のFile IDを設定（編集）する。
File>User Gamma ユーザーガンマファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Current Settings		ユーザーガンマファイルの現在の設定（ファイル名）を一覧で表示する。
Load SD Card	Execute / Cancel	SDカード内のユーザーガンマの設定を内蔵メモリーに読み込む。 Execute：実行 CvpFileEditor™ V4.2で作成されたユーザーガンマファイルを実機で使用する際には、SDカードの以下の階層に保存してください。 PRIVATE ¥SONY ¥PRO ¥CAMERA ¥HD_CAM
Reset	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / All 初期値：709 (800%)	内蔵メモリー上のユーザーガンマファイルを初期値に戻す。 1～5：個別 All：全部
File>Monitor LUT モニター LUTファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Current Settings		モニター LUTファイルの現在の設定（ファイル名）を一覧で表示する。
Load SD Card	Execute / Cancel	SDカード内のモニター LUTの設定を内蔵メモリーに読み込む。 Execute：実行 RAW Viewerで生成されたユーザー LUTファイルは、SDカードの以下の階層に保存されます。 PRIVATE ¥SONY ¥PRO ¥CAMERA ¥PMWF55_F5

File>Monitor LUT モニター LUTファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Reset	1 / 2 / 3 / 4 / 5 / 6 / All	内蔵メモリー上のモニター LUTデータを初期値に戻す。 1 ～ 6：個別 All：全部
File>Monitor 3D LUT モニター 3D LUTファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Current Settings		モニター 3D LUTファイルの現在の設定（ファイル名）を一覧で表示する。
Load SD Card	Execute / Cancel	SDカード内のモニター 3D LUTの設定を内蔵メモリーに読み込む。 Execute：実行 本機では、Catalyst Browse、RAW ViewerやBMD製Da Vinci Resolve*で生成される17格子または33格子のCUBEファイル (*.cube) をインポートすることができます。 * Resolve V9.0、V10.0およびV11.0にて確認 Catalyst BrowseやRAW ViewerでCUBE ファイルを生成する場合は、Catalyst Browse上のSource設定またはRAW Viewer上のInput設定をS-Gamut3.Cine/ S-Log3としてください。 また、CUBEファイルをエクスポートする際にFormatをResolveとしてください。 生成された3D LUTデータ（ユーザー 3D LUTファイル）は、SDカードの以下の階層に保存してください。 PRIVATE ¥SONY ¥PRO ¥CAMERA ¥PMWF55_F5 【ご注意】 本機のSystemメニューのBase SettingのColor SpaceをS-Gamut/SLog2に設定した場合は、モニター 3D LUT機能は使えません。
Reset	1 / 2 / 3 / 4 / All	内蔵メモリー上のモニター 3D LUTデータを初期値に戻す。 1 ～ 4：個別 All：全部

File>Lens File レンズファイルに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
White Offset R	－99 ～ +99 (±0)	レンズファイルにレンズによるホワイトバランスオフセットのRch補正値を設定する。
White Offset B	－99 ～ +99 (±0)	レンズファイルにレンズによるホワイトバランスオフセットのBch補正値を設定する。

【ご注意】

各ファイルは、UTILITY SDカードの以下のフォルダにおいてください。

Allファイル、Sceneファイル、User Menu Item：

¥PRIVATE ¥Sony ¥PRO ¥CAMERA ¥PXW-FS7M2

ユーザーガンマファイル：

¥PRIVATE ¥Sony ¥PRO ¥CAMERA\HD_CAM

モニター LUTファイル、モニター 3D LUTファイル：

¥PRIVATE ¥Sony ¥PRO ¥CAMERA ¥PMWF55_F5

Systemメニュー

System>Base Setting 基本設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Shooting Mode	Custom / Cine EI	撮影モードを設定する。 【ご注意】 Cine EIモードからカスタムモードに切り替えた際は、ガンマの設定はCine EIモードの設定が引き継がれます。
Color Space	S-Gamut/SLog2 / S-Gamut3.Cine/SLog3 / S-Gamut3/SLog3 / Matrix	色域を設定する。
Imager Scan Mode	Normal / 2K Full / 2K Center	イメージセンサーが撮像した情報の読み出し方を設定する（21ページ）。

System>Base Setting 基本設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Rec/Out EI Applied	On / Off	Rec/Out EI AppliedをOn/Offにする。 Onに設定した場合、Videoメニュー>Monitor LUTをMLUT Offに設定した系統に、Exposure Index (Cameraメニュー>Exposure Indexで設定) がISO感度として適用されます。ただし、この機能はRAW動画には無効です。 [ご注意] ● 本設定はCine EIモードのときに有効です。 ● Onに設定するとカメラ撮像画面のゲイン表示の単位部が  と表示されます。
System>Codec コーデックの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Select	RAW / RAW & XAVC-I / RAW & XAVC-L / RAW & MPEG HD 422 / XAVC-I / XAVC-L / MPEG HD 422 / ProRes 422 HQ / ProRes 422	記録・再生モードを設定する。 [ご注意] ● RAW / RAW & XAVC-I / RAW & XAVC-L / RAW & MPEG HD 422はXDCA-FS7接続時、Base SettingのShooting ModeでCine EIを選択しているときのみ設定できます。 ● ProRes 422 HQ / ProRes 422はXDCA-FS7接続時のみ設定できます。 ● コーデックを変更したときは、必ずVideo Formatを確認してください。

System>Rec Format 記録フォーマットの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Video Format		録画フォーマットを設定する。 ● NTSC系の場合： CodecのSelectでXAVC-Iを選択しているとき 4096x2160 59.94P 4096x2160 29.97P 4096x2160 24.00P 4096x2160 23.98P 3840x2160 59.94P 3840x2160 29.97P 3840x2160 23.98P 1920x1080 59.94P 1920x1080 29.97P 1920x1080 23.98P CodecのSelectでXAVC-Lを選択しているとき 3840x2160 59.94P 3840x2160 29.97P 3840x2160 23.98P 1920x1080 59.94P 50 1920x1080 59.94P 35 1920x1080 59.94i 50 1920x1080 59.94i 35 1920x1080 59.94i 25 1920x1080 29.97P 50 1920x1080 29.97P 35 1920x1080 23.98P 50 1920x1080 23.98P 35 CodecのSelectでMPEG HD422を選択しているとき 1920x1080 59.94i 50 1920x1080 29.97P 50 1920x1080 23.98P 50 1280x720 59.94P 50 1280x720 29.97P 50 1280x720 23.98P 50 CodecのSelectでProRes 422 HQ / ProRes 422を選択しているとき 1920×1080 59.94i 1920×1080 29.97P 1920×1080 23.98P
		● PAL系の場合： CodecのSelectでXAVC-Iを選択しているとき 4096x2160 50P 4096x2160 25P 3840x2160 50P 3840x2160 25P 1920x1080 50P 1920x1080 50i 1920x1080 25P CodecのSelectでXAVC-Lを選択しているとき 3840x2160 50P 3840x2160 25P 1920x1080 50P 50 1920x1080 50P 35 1920x1080 50i 50 1920x1080 50i 35 1920x1080 50i 25 1920x1080 25P 50 1920x1080 25P 35 CodecのSelectでMPEG HD422を選択しているとき 1920x1080 50i 50 1920x1080 25P 50 1280x720 50P 50 1280x720 25P 50 CodecのSelectでProRes 422 HQ / ProRes 422を選択しているとき 1920×1080 50i 1920×1080 25P [ご注意] ● CodecのSelectでRAWを選択しているときは「---」表示でグレースアウトします。 ● CodecのSelectでRAW & XAVC-I、RAW & XAVC-L、RAW & MPEG HD 422を選択しているときは、固定値を表示してグレースアウトします。 ● Imager Scan Modeで2K Fullまたは2K Centerを選択しているときは、4096x2160および3840x2160の録画フォーマットを設定できません。

System>Rec Format 記録フォーマットの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
RAW Output Format	• NTSC系の場合： CodecのSelectでRAWを含む項目を選択し、Imager Scan ModeがNormalのとき 4096x2160 59.94P 4096x2160 29.97P 4096x2160 23.98P CodecのSelectでRAWを含む項目を選択し、Imager Scan Modeが2K Fullまたは2K Centerのとき 2048x1080 59.94P 2048x1080 29.97P 2048x1080 23.98P	外部RAWレコーダーで記録するフォーマットを設定する。 • PAL系の場合： CodecのSelectでRAWを含む項目を選択し、Imager Scan ModeがNormalのとき 4096x2160 50P 4096x2160 25P CodecのSelectでRAWを含む項目を選択し、Imager Scan Modeが2K Fullまたは2K Centerのとき 2048x1080 50P 2048x1080 25P
System>Genlock ゲンロックの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Reference	Internal / External (HD) / External (SD)	ゲンロックの状態を表示する。ゲンロックがかかっている場合は信号の種別を表示する。 Internal：かかっていない External (HD)：HD信号でかかっている External (SD)：SD信号でかかっている

System>Assignable Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
<1> ～ <10>	Off / Marker / Zebra / Peaking / Video Signal Monitor / DURATION/TC/ U-BIT / Focus Magnifier x4/x8 / Focus Magnifier x4 / Focus Magnifier x8 / Push AF/Focus Hold / Focus Area / Focus Area (Push AF) / VF Mode / ND Filter Position / IRIS / AGC / Auto ND Filter / SHUTTER / Auto Exposure Level / Push Auto Iris / Push AGC / Push Auto ND / Spotlight / Backlight / ATW / ATW Hold / SteadyShot / Color Bars / User Menu / Rec Lamp / S&Q Motion / Picture Cache Rec / Rec Review / Thumbnail / Shot Mark1 / Shot Mark2 / Clip Flag OK / Clip Flag NG / Clip Flag Keep / High/Low Key	アサインابلボタンに機能を割り当てる。 Marker： マーカー機能のOn/Off切り替え Zebra： ゼブラ機能のOn/Off切り替え Peaking： ピーキング機能のOn/Off切り替え Video Signal Monitor： 映像信号モニター（波形モニターなど）の表示切り替え DURATION/TC/U-BIT： Time Code/Users Bit/Duration切り替え Focus Magnifier x4/x8： Focus Magnifier x4： Focus Magnifier x8： ピント拡大機能のOn/Off切り替え Push AF/Focus Hold： ブッシュオートフォーカス機能またはフォーカスホールド機能を実行する Focus Area： Focus Area (Push AF)： Focus Areaの設定画面を開く VF Mode： ビューファインダー画面のカラー / モノクロ切り替え ND Filter Position NDフィルターの切り替え IRIS： アイリス機能のAuto/Manual切り替え AGC： AGC機能のOn/Off切り替え Auto ND Filter オートNDフィルターのOn/Off切り替え SHUTTER： シャッターのAuto/Manual切り替え Auto Exposure Level： Auto Exposure Levelの設定画面を開く

System>Assignable Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
		Push Auto Iris : ボタンを押している間、オートアイリス機能を有効にする
		Push AGC : ボタンを押している間、AGC機能を有効にする
		Push Auto ND ボタンを押している間、オートNDフィルター機能を有効にする
		Spotlight : Spotlight/Standard切り替え
		Backlight : Backlight/Standard切り替え
		ATW : ATW機能のOn/Off切り替え
		ATW Hold : ATW機能の動作を一時ホールド
		SteadyShot : Active SteadyShot / SteadyShot / Off切り替え
		Color Bars : カラーバーのOn/Off切り替え
		User Menu : User Menuの開閉を実行する
		Rec Lamp : Rec LampのOn/Off切り替え
		S&Q Motion : スロー&クイックモーション機能のOn/Off切り替え 長押しで記録フレームレートの設定
		Picture Cache Rec : ピクチャーキャッシュレックモードのOn/Off切り替え
		Rec Review : レックレビューのOn/Off切り替え
		Thumbnail : サムネイル画面の開閉を実行する
		Shot Mark1 : Add Shot Mark1を実行する
		Shot Mark2 : Add Shot Mark2を実行する

System>Assignable Button アサインابلボタンへの機能割り当て設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
		Clip Flag OK : Add OKを実行する 2回続けて押すとDelete Clip Flagを実行する
		Clip Flag NG : Add NGを実行する 2回続けて押すとDelete Clip Flagを実行する
		Clip Flag Keep : Add Keepを実行する 2回続けて押すとDelete Clip Flagを実行する
		High/Low Key : High Key (高輝度の白飛び確認画面) / Low Key (低輝度の黒つぶれ確認画面) / Off (通常画面) の切り替え Monitor LUTをOnに設定した系統に適用されます。

System>Assignable Dial アサインابلダイヤルへの機能割り当て、回転方向の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Assignable Dial	Off / IRIS / ISO/Gain/El / ND Filter / Focus / Audio Input Level	グリップリモコンのアサインابلダイヤルに機能を割り当てる。 ISO/Gain/El : ゲインまたはElを調節する IRIS : アイリスを調節する ND Filter : 光量を調節する Focus : フォーカスを調節する Audio Input Level : 録音レベルを調節する
IRIS Dial	設定値はAssignable Dialと同じです。	ND/IRISスイッチをIRISの位置にしたときのND/IRISダイヤルに機能を割り当てる。
Assignable Dial Direction	Normal / Opposite	グリップリモコンのアサインابلダイヤルの回転方向を設定する。 Normal : 順方向に回転する Opposite : 逆方向に回転する

System>Assignable Dial アサインابلダイヤルへの機能割り当て、回転方向の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
IRIS Dial Direction	Normal / Opposite	ND/IRISスイッチをIRISにしたときのIRISダイヤルとしての回転方向を設定する。 Normal：順方向に回転する Opposite：逆方向に回転する
System>ND Dial NDダイヤルの回転方向を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
ND Dial Direction	Normal / Opposite	ND/IRISスイッチをNDにしたときのNDダイヤルとしての回転方向を設定する。 Normal：順方向に回転する Opposite：逆方向に回転する
System>Rec Lamp 録画ランプの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Rec Lamp	On / Off	録画ランプをOn/Offにする。
System>Fan Control ファン制御モードの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	Auto / Minimum / Off in Rec	本機のファン制御モードを設定する。 [ご注意] Off in Recを選択していても、本機の内部温度が一定温度を超えるとファンが回転します。
System>HOLD Switch Setting ホールドスイッチの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
with Rec Button	On / Off	録画ボタンをホールドの対象にするか非対象にするかを設定する。
with Hand Grip Remote	On / Off	グリップリモコンによる操作をホールドの対象にするか非対象にするかを設定する。

System>Lens レンズに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Zoom Ring Direction	Left (W) / Right (T) / Right (W) / Left (T)	ズームリングの操作方向を設定する。 [ご注意] ズームリングの操作方向切り替えに対応したEマウントレンズ使用時のみ設定できます。
Shading Compensation	Auto / Off	周辺光量補正をOn/Offにする。
Chroma Aberration Comp.	Auto / Off	倍率色収差補正をOn/Offにする。
Distortion Comp.	Auto / Off	自動歪曲収差補正をOn/Offにする。 [ご注意] - ピクチャーキャッシュレックモードのときや記録中は設定できません。 4K、QFHD記録時には、歪曲収差補正はかかりません。 - Autoのとき、Monitor LUTに制限があります(91ページ)。
System>Language 表示する言語を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Select		表示する言語を設定する。 SET：実行
System>Clock Set 内蔵時計に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Time Zone	UTC -12:00 ～ UTC +14:00	UTCからの時差を30分単位で設定する。
Date Mode	YYMMDD / MMDDYY / DDMMYY	年月日の表示方式を選択する。 YYMMDD：年月日の順 MMDDYY：月日年の順 DDMMYY：日月年の順
12H/24H	12H / 24H	時刻の表示形式を選択する。 12H：12時間表示 24H：24時間表示
Date		現在の日付を設定する。 SET：決定

System>Clock Set 内蔵時計に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Time		現在の時刻を設定する。 SET：決定

System>Country 使用地域を設定します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
NTSC/PAL Area	NTSC Area / PAL Area お買い上げの地域により初期値が異なります。	使用地域を設定する。

System>Hours Meter 積算時間を表示します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Hours (System)		積算使用時間 (リセット不可) を表示する。
Hours (Reset)		積算使用時間 (リセット可) を表示する。
Reset	Execute / Cancel	Hours (Reset) 表示を0にリセットする。 Execute：実行

System>Basic Authentication ネットワークの基本認証に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
User Name	ユーザー名 (admin)	任意のユーザー名を設定する (英数字で1 ～ 16文字)。 SET：決定
Password	パスワード (pxw-fs7m2)	パスワードを設定する (英数字で1 ～ 16文字)。 SET：決定

System>Wi-Fi ワイヤレスLAN接続に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Wi-Fi	Enable / Disable	Wi-Fiを有効／無効にする。
SSID & Password		SSIDとパスワードを表示する。

System>Wi-Fi ワイヤレスLAN接続に関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Wi-Fi Direct Connection	Execute / Cancel	Wi-Fi Directによる接続処理を開始する。 Execute：実行

Client		繋がっているクライアント機器の情報 (機器名またはMacアドレス) を表示する。
IP Address	192.168.1.1	本機のIPアドレスを表示する。 【ご注意】 CBK-WA100使用時は表示されません。
Subnet Mask	255.255.0.0	Subnet Maskを表示する。 【ご注意】 CBK-WA100使用時は表示されません。

MAC Address		本機に装着されているWi-FiモジュールのMacアドレスを表示する。
Regenerate Password	Execute / Cancel	パスワードを再生成する。 Execute：実行

System>GPS GPSの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
GPS	On / Off	GPSをOn/Offにする。 【ご注意】 GPSはハンドルに内蔵されています。

System>IR Remote 赤外線リモコンの設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Setting	On / Off	付属の赤外線リモコンを使用するときOnにする。

System>Camera Battery Alarm バッテリーの電圧低下警告の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Low BATT	5% / 10% / 15% / ... / 45% / 50%	バッテリー電圧低下警告を表示する残量を設定する (5%刻み)。
BATT Empty	3% ～ 7%	バッテリー切れ警告を表示する残量を設定する。

System>Camera DC IN Alarm 入力電圧警告の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
DC Low Voltage1	11.5V ～ 17V	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。
DC Low Voltage2	11.0V ～ 14.0V	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。
System>Ext. Unit Battery Alarm XDCA-FS7のバッテリーに関する設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Near End:Info Battery	5% ～ 100%	Info対応バッテリーの電圧低下警告を表示する残量を設定する (5%刻み)。
End:Info Battery	0% ～ 5%	Info対応バッテリーのバッテリー切れ警告を表示する残量およびメディアアクセスを禁止する残量を設定する。
Near End:Sony Battery	11.5V ～ 17V	Info非対応バッテリーの電圧低下警告を表示する残量を設定する。
End:Sony Battery	11.0V ～ 11.5V	Info非対応バッテリーのバッテリー切れ警告を表示する残量およびメディアアクセスを禁止する残量を設定する。
Near End:Other Battery	11.5V ～ 17V (11.8V)	アントンパワー製バッテリーの電圧低下警告を表示する残量を設定する。
End:Other Battery	11.0V ～ 14.0V	アントンパワー製バッテリーのバッテリー切れ警告を表示する残量およびメディアアクセスを禁止する残量を設定する。
Detected Battery		XDCA-FS7に接続されている電源の種別を表示する。 XDCA-FS7に接続したバッテリーまたはDC INで駆動している場合は、「Info Battery」、「Sony Battery」、「Other Battery」、「DC IN」のいずれかを表示する。 本機に接続したバッテリーまたはDC INで駆動している場合は、「---」と表示する。

System>Ext. Unit DC IN Alarm XDCA-FS7の入力電圧警告の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
DC Low Voltage1	11.5V ～ 17V	DC INへの入力電圧の低下警告を表示する電圧を設定する。
DC Low Voltage2	11.0V ～ 14.0V	DC INへの入力電圧の不足警告を表示する電圧を設定する。
System>All Reset 工場出荷時の状態にリセットします。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Reset	Execute / Cancel	工場出荷時の状態へのリセットを実行する。 Execute：実行
System>APR APRを実行します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
APR	Execute / Cancel	APR (Auto Pixel Restoration：イメージセンサーの自動調整) を実行する。 Execute：実行 【ご注意】 実行前に必ずレンズキャップを装着してください。
System>Camera Config ダウンコンバート出力の設定を行います。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
HD/2K Modulation	High / Low	HDおよび2Kへのダウンコンバート出力の帯域を設定する。
System>Version バージョンを表示します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Number	x.xx	本機のソフトウェアバージョンを表示する。
Version Up	Execute / Cancel	本機をバージョンアップ*する。 Execute：実行 * バージョンアップは本機のソフトウェアをアップデートする機能です。

System>Version バージョンを表示します。		
メニュー項目	細目と設定値	内容
Lens Version Number	xx	Eマウントレンズのバージョン番号を表示する。
Lens Version Up	Execute / Cancel	Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする (103ページ)。 Execute：実行
Ext. Unit Version Number	x.xx	XDCA-FS7のソフトウェアバージョンを表示する。
Ext. Unit Version Up	Execute / Cancel	XDCA-FS7をバージョンアップ*する。 Execute：実行 * バージョンアップはXDCA-FS7のソフトウェアをアップデートする機能です。

外部モニターや記録装置を接続する

記録・再生画像を外部モニターに表示させるときは、本機の出力信号を選択し、接続するモニターに応じた接続ケーブルを使用してください。VTRなどの記録装置を接続して、本機の出力信号を記録することもできます。

外部モニターにビューファインダーと同様の各種ステータス情報やメニューなどを表示させることができます。モニターに出力する信号に応じて、VideoメニューのOutput Display (65ページ) をOnに設定してください。

SDI OUT端子 (BNC型)

Videoメニュー (63ページ) で、出力のOn/Offや出力フォーマットを設定します。接続には市販の75Ω同軸ケーブルを使用してください。

【ご注意】

本機と外部機器の間のアースが確実に接地されていることを確認してから、電源を入れてください。

(75Ω同軸ケーブルを接続した後に、本機と外部機器の電源を入れることをお勧めします。) やむを得ず、電源投入状態で外部機器を接続する場合は、75Ω同軸ケーブルを外部機器に接続した後に、本機と接続してください。

本機と同時に外部機器で記録を開始するには

SDI信号出力時は、RecordingメニューのSDI/HDMI Rec Control (70ページ) のSettingをSDI/HDMI Remote I/FまたはParallel Recに設定すると、SDI OUT端子に接続した外部機器に

RECトリガー信号を出力することによって、本機と同期した記録が可能になります (42ページ)。

HDMI OUT端子 (Type Aコネクター)

Videoメニュー (63ページ) で、出力のOn/Offや出力フォーマットを設定します。接続には、市販のハイスピードHDMIケーブルを使用します。VideoメニューのHDMI Target Deviceで接続する機器の種類を選んでください (63ページ)。

RAW OUT端子 (BNC型)

本機に拡張ユニットXDCA-FS7を取り付けると、XDCA-FS7のRAW OUT端子にAXS-R5などの外部RAWレコーダーを接続することができます (27ページ)。

外部同期

本機に取り付けたXDCA-FS7 (8ページ) の Genlock端子を介して、本機を複数台使用して撮影するときなど、特定の基準信号に同期させたり、タイムコードを合わせることができます。

【ご注意】
本機にXDCA-FS7を取り付けている場合は、本機のバッテリーパックは使用できません。XDCA-FS7にバッテリーパックを装着するか、または電源を接続する必要があります。

映像信号の位相を合わせる (ゲンロック)

本機に取り付けたXDCA-FS7のGENLOCK IN端子 (8ページ) に基準信号を入力することによって、ゲンロックが可能です。
入力できる基準信号は、選択している記録フォーマットのフレームレートによって異なります。

NTSC Areaの場合

記録フォーマットのフレームレート	入力可能な基準信号
59.94P	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i 1280×720 59.94P
29.97P	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i
24.0P	1920×1080 48i (24PsF)
23.98P	1920×1080 47.95i (23.98PsF)
59.94i	1920×1080 59.94i 720×486 59.94i

PAL Areaの場合

記録フォーマットのフレームレート	入力可能な基準信号
50P	1920×1080 50i 720×576 50i 1280×720 50P
25P	1920×1080 50i 720×576 50i
50i	1920×1080 50i 720×576 50i

【ご注意】
● 選択している記録フォーマットが1280x720 60Pの場合、映像信号とタイムコード信号の両方を入力する必要があります。
● 基準信号が不安定な場合は、ゲンロックできません。
● サブキャリアは同期しません。

他機のタイムコードにロックさせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード (Free RunやClock) に設定してください。

- 1 TC/UBメニューのTimecode (68ページ) を次のように設定する。
Mode : Preset
Run : Free Run
- 2 DURATION/TC/U-BIT機能が割り当てられたアサインボタン (37ページ) を押して、画面にタイムコードを表示させる。

- 3 XDCA-FS7のTC IN/OUTスイッチ (8ページ) がIN側になっていることを確認し、Genlock端子とTC IN/OUT端子に、それぞれHDまたはSDのリファレンスビデオ信号およびそれに同期した基準タイムコードを供給する。

これで本機のタイムコードジェネレーターが基準タイムコードにロックし、画面に「EXT-LK」と表示されます。
ロックしてから約10秒経過した後は、外部からの基準タイムコードの接続を外しても、外部ロック状態は保たれます。

【ご注意】
● 供給する基準タイムコードとリファレンスビデオ信号が、SMPTEタイムコードの規格を満たした位相関係にあることを確認してください。
● 外部ロックの操作をすると、タイムコードは瞬時に外部のタイムコードにロックし、外部タイムコードの値と同じ値がタイムデータ表示部に出ますが、タイムコードジェネレーターが安定するまでの数秒間は、記録を開始しないでください。
● リファレンスビデオ信号の周波数と本機のフレーム周波数が同じでないと、正しくロックできず、本機が正常に動作できません。この場合、タイムコードも外部のタイムコードに正しくロックできません。
● 接続を外した場合、基準タイムコードに対し1時間で1フレームずれる場合があります。

外部ロックを解除するには

TC/UBメニューのTimecodeの設定を変更するか、本機の電源をOffにしてください。
スロー&クイックモーションでの記録を開始した場合も、外部ロックは解除されます。

本機のタイムコードに他機のタイムコードを合わせる

タイムコード供給源となる機器は、タイムコード出力が更新されるモード (Free RunやClock) に設定してください。

- 1 TC/UBメニューのTimecodeで本機のタイムコードを設定する (68ページ)。
- 2 XDCA-FS7のTC IN/OUTスイッチ (8ページ) がOUT側になっていることを確認し、TC IN/OUT端子とREF OUT端子 (8ページ) を、同期させたい機器のタイムコード入力端子、リファレンス信号入力端子に接続する。

コンピューターでクリップ管理・編集する

USBケーブルを使って接続する

XQDカードリーダー（別売）を使う

XQDカードリーダー MRW-E90（別売）をUSBケーブルで接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

本機のマストレージモードを使う

本機をUSBケーブルで接続すると、スロットに装着されたメモリーカードがコンピューターの拡張ドライブとして認識されます。

- 1 本機のPOWERスイッチをOnにする。
ビューファインダー画面にUSBの接続を有効にするかどうかを確認するメッセージが表示されます。

【ご注意】

XQDメモリーカードのフォーマットや修復など、実行を確認するメッセージや実行中のメッセージが表示されている間は、USB接続確認メッセージは表示されません。

フォーマットや修復などの実行が終了後に表示されます。またクリップの詳細情報表示中もUSB接続確認メッセージは表示されません。処理が終了するか、サムネイル画面に戻ると表示されます。

- 2 SEL/SETダイヤルを回してExecuteを選ぶ。

- 3 Windowsの場合、「マイコンピュータ」にリムーバブルディスクとして追加されていることを確認する。

Macintoshの場合、デスクトップにNO NAMEまたはUntitledフォルダー（フォル

ダー名は任意に変更可）が作成されていることを確認する。

【ご注意】

- アクセスランプが赤く点灯しているときは、次の操作をしないでください。
 - 電源を切る。電源コードを抜く
 - XQDメモリーカードを抜く
 - USBケーブルを抜く
- すべてのコンピューターについて、動作を保証するものではありません。

ノンリニア編集システムを使う

ノンリニア編集システムには、本機で記録したフォーマットに対応した編集ソフトウェア（別売）が必要です。

専用アプリケーションソフトウェアを使って、あらかじめコンピューターのHDDに編集したいクリップを保存しておきます。

使用上のご注意

ファンは有寿命部品として定期的な交換が必要です。

常温でのご使用の場合、5年を目安に交換してください。ただし、交換時期は目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。交換の際はお買い上げ店にご相談ください。

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなど、機器表面や内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。結露が起きたときは電源を切り、結露がなくなるまで放置し、結露がなくなってからご使用ください。結露時のご使用は機器の故障の原因となる場合があります。

本機のLCD（液晶）パネルは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られています。が、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、LCD（液晶）パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。なお、これらの点が記録されることはありません。

機器に搭載されているバッテリー端子（バッテリーパックやACアダプターとの接点部分）は消耗品です。

振動や衝撃によって端子が変形したり、曲がったり、あるいは長期の屋外での使用などによって表面が腐食したりすると、本体に電源が供給されなくなります。

長期間機器を使用していただくために、定期点検を実施することをお願いします。点検につき

ましては、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

内蔵の充電式電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切と関係なく保持するために、充電式電池を内蔵しています。内蔵の充電式電池は、本機の電源の入/切に関わらず、ACアダプターでコンセントにつながっているか、充電されたバッテリーを本機に装着した状態で24時間経過すれば充電されます。ACアダプターで電源につながらない、またはバッテリーを入れないままで3か月近くまったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使ってください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使えます。

NDフィルターダイヤルについて

NDフィルターが動かない場合は、次の作業により、手でClearの位置に移動させることができます。

修理してください。

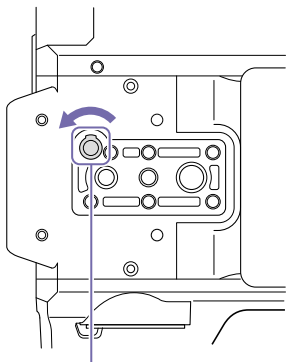
- 上記の作業を行ってもエラーメッセージが出たままの場合がありますが、撮影は可能です。

1 本機のPOWERスイッチをOffにする。

2 底面の丸いフタを外す。

3 ドライバーを穴に差し込んで左に回す。

- 左に回すことで、NDフィルターがClear側に動きます。Clearの位置になるまで回し続けてください。
- $\phi 2.4$ 以下のマイナスドライバーを使用してください。ドライバー挿入部の深さは約3.2 cmです。



ドライバー挿入部
(フタを外した状態)

4 PRESET/VARIABLEスイッチ (6ページ)
をPRESETの位置にして、ND FILTERダイヤル (6ページ) をClearの位置にする。

【ご注意】

- 上記の作業は、通常の動作時には行わないでください。NDフィルターが動かなくなった場合のみに行ってください。通常の動作時に行うと、NDユニットが故障するおそれがあります。
- 上記の作業を行ったあと、サービスセンターで本機を

出力のフォーマットと制限

初期設定値は、**太文字**（例：**2048x1080P (Level A)**）で示します。

[ご注意]

- 記録フォーマットの解像度はSystemメニューのBase SettingのImager Scan Modeの設定によって制限されます（73ページ）。
- 再生画像より映像出力の解像度が大きい場合、映像は出力されません。

SDI OUT/HDMI OUT端子の出力フォーマット

Systemメニュー >CountryのNTSC/PAL Area：NTSC Area

基本構成時 (XAVC-I / XAVC-L / MPEG HD)

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのVideo Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
4096x2160 59.94P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 59.94P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 59.94P
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 59.94P Level-A	1920x1080 59.94P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 59.94P Level-B	無出力
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i	1920x1080 59.94i
4096x2160 29.97P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 29.97P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 29.97P
	1920x1080PsF	1920x1080i	1920x1080 29.97PsF	1920x1080 29.97PsF
4096x2160 24.00P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 24P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 24P
	1920x1080PsF	—	1920x1080 24PsF	無出力
	—	1920x1080P	無出力	1920x1080 24P (Pure)

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのVideo Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
4096x2160 23.98P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 23.98P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 23.98P
	1920x1080PsF	—	1920x1080 23.98PsF	無出力
	—	1920x1080P	無出力	1920x1080 23.98P (Pure)
3840x2160 59.94P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 59.94P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 59.94P
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 59.94P Level-A	1920x1080 59.94P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 59.94P Level-B	無出力
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i	1920x1080 59.94i
3840x2160 29.97P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 29.97P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 29.97P
	1920x1080PsF	1920x1080i	1920x1080 29.97PsF	1920x1080 29.97PsF
3840x2160 23.98P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 23.98P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 23.98P
	1920x1080PsF	—	1920x1080 23.98PsF	無出力
	—	1920x1080P	無出力	1920x1080 23.98P (Pure)
1920x1080 59.94P	2048x1080P (Level A)	—	2048x1080 59.94P Level-A	無出力
	2048x1080P (Level B)	—	2048x1080 59.94P Level-B	無出力
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 59.94P Level-A	1920x1080 59.94P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 59.94P Level-B	無出力
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i	1920x1080 59.94i
	—	720x480i	無出力	720x480 59.94i
	—	720x480P	無出力	720x480 59.94P
	—	—	—	—

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのVideo Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
1920x1080 59.94i	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i	1920x1080 59.94i
	—	720x480i	無出力	720x480 59.94i
	—	720x480P	無出力	720x480 59.94P
1920x1080 29.97P	2048x1080PsF	—	2048x1080 29.97PsF	無出力
	1920x1080PsF	1920x1080i	1920x1080 29.97PsF	1920x1080 29.97PsF
	—	720x480i	無出力	720x480 59.94i (PsF)
	—	—	—	—
1920x1080 23.98P	2048x1080PsF	—	2048x1080 23.98PsF	無出力
	1920x1080PsF	—	1920x1080 23.98PsF	無出力
	—	1920x1080P	無出力	1920x1080 23.98P (Pure)
	1920x1080i (2- 3PD)	1920x1080i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)	1920x1080 59.94i (2-3PD)
	—	720x480i (2- 3PD)	無出力	720x480 59.94i (2- 3PD)
1280x720 59.94P	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P	1280x720 59.94P
	—	720x480i	無出力	720x480 59.94i
	—	720x480P	無出力	720x480 59.94P
1280x720 29.97P	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P (2- 2RP)	1280x720 59.94P (2- 2RP)
	—	720x480i	無出力	720x480 59.94i (PsF)
1280x720 23.98P	1280x720P (2- 3PD)	1280x720P (2-3PD)	1280x720 59.94P (2- 3PD)	1280x720 59.94P (2- 3PD)
	—	720x480i (2- 3PD)	無出力	720x480 59.94i

拡張ユニット使用時 (RAW)

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのRAW Output Format / Video Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
RAW Output Format 4096x2160 59.94P Video Format (固定値) 1920x1080 59.94P	2048x1080P (Level A)	—	2048x1080 59.94P Level-A	無出力
	2048x1080P (Level B)	—	2048x1080 59.94P Level-B	無出力
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 59.94P Level-A	1920x1080 59.94P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 59.94P Level-B	無出力
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i	1920x1080 59.94i
RAW Output Format 4096x2160 59.94P Video Format (固定値) 1280x720 59.94P	2048x1080P (Level A)	—	2048x1080 59.94P Level-A	無出力
	2048x1080P (Level B)	—	2048x1080 59.94P Level-B	無出力
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 59.94P Level-A	1920x1080 59.94P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 59.94P Level-B	無出力
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P	1280x720 59.94P
RAW Output Format 2048x1080 59.94P Video Format (固定値) 1920x1080 59.94P	2048x1080P (Level A)	—	2048x1080 59.94P Level-A	無出力
	2048x1080P (Level B)	—	2048x1080 59.94P Level-B	無出力
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 59.94P Level-A	1920x1080 59.94P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 59.94P Level-B	無出力
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i	1920x1080 59.94i

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのRAW Output Format / Video Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
RAW Output Format 2048x1080 59.94P	2048x1080P (Level A)	—	2048x1080 59.94P Level-A	無出力
Video Format (固定値) 1280x720 59.94P	2048x1080P (Level B)	—	2048x1080 59.94P Level-B	無出力
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 59.94P Level-A	1920x1080 59.94P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 59.94P Level-B	無出力
	1280x720P	1280x720P	1280x720 59.94P	1280x720 59.94P
RAW Output Format 4096x2160 29.97P	2048x1080PsF	—	2048x1080 29.97PsF	無出力
Video Format (固定値) 1920x1080 29.97P	1920x1080PsF	1920x1080i	1920x1080 29.97PsF	1920x1080 29.97PsF
RAW Output Format 2048x1080 29.97P	2048x1080PsF	—	2048x1080 29.97PsF	無出力
Video Format (固定値) 1920x1080 29.97P	1920x1080PsF	1920x1080i	1920x1080 29.97PsF	1920x1080 29.97PsF
RAW Output Format 4096x2160 23.98P	2048x1080PsF	—	2048x1080 23.98PsF	無出力
Video Format (固定値) 1920x1080 23.98P	1920x1080PsF	—	1920x1080 23.98PsF	無出力
	—	1920x1080P	無出力	1920x1080 23.98P (Pure)
RAW Output Format 2048x1080 23.98P	2048x1080PsF	—	2048x1080 23.98PsF	無出力
Video Format (固定値) 1920x1080 23.98P	1920x1080PsF	—	1920x1080 23.98PsF	無出力
	—	1920x1080P	無出力	1920x1080 23.98P (Pure)

拡張ユニット使用時 (ProRes 422)

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのVideo Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
1920x1080 59.94i	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 59.94i	1920x1080 59.94i
1920x1080 29.97P	1920x1080PsF	1920x1080i	SDI OUT 1 1920x1080 29.97P SDI OUT 2 1920x1080 29.97PsF	1920x1080 29.97PsF
1920x1080 23.98P	1920x1080P	1920x1080P	1920x1080 23.98P*1	1920x1080 23.98P (Pure)

*1 CBK-WA100に適合する信号を出力することはできません。

Systemメニュー >CountryのNTSC/PAL Area：PAL Area

基本構成時 (XAVC-I / XAVC-L / MPEG HD)

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのVideo Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
4096x2160 50P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 50P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 50P
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 50P Level-A	1920x1080 50P
	1920x1080P (Level B)	-	1920x1080 50P Level-B	無出力
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i	1920x1080 50i
4096x2160 25P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 25P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 25P
	1920x1080PsF	1920x1080i	1920x1080 25PsF	1920x1080 25PsF
3840x2160 50P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 50P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 50P
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 50P Level-A	1920x1080 50P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 50P Level-B	無出力
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i	1920x1080 50i
3840x2160 25P	—	4096x2160P	無出力	4096x2160 25P
	—	3840x2160P	無出力	3840x2160 25P
	1920x1080PsF	1920x1080i	1920x1080 25PsF	1920x1080 25PsF

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのVideo Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
1920x1080 50P	2048x1080P (Level A)	—	2048x1080 50P Level-A	無出力
	2048x1080P (Level B)	—	2048x1080 50P Level-B	無出力
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 50P Level-A	1920x1080 50P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 50P Level-B	無出力
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i	1920x1080 50i
	—	720x576i	無出力	720x576 50i
	—	720x576P	無出力	720x576 50P
1920x1080 50i	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i	1920x1080 50i
	—	720x576i	無出力	720x576 50i
	—	720x576P	無出力	720x576 50P
1920x1080 25P	2048x1080PsF	—	2048x1080 25PsF	無出力
	1920x1080PsF	1920x1080i	1920x1080 25PsF	1920x1080 50i (PsF)
	—	720x576i	無出力	720x576 50i (PsF)
1280x720 50P	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P	1280x720 50P
	—	720x576i	無出力	720x576 50i
	—	720x576P	無出力	720x576 50P
1280x720 25P	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P (2- 2RP)	1280x720 50P (2- 2RP)
	—	720x576i	無出力	720x576 50i (PsF)

拡張ユニット使用時 (RAW)

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのRAW Output Format / Video Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
RAW Output Format 4096x2160 50P	2048x1080P (Level A)	—	2048x1080 50P Level-A	無出力
Video Format (固定値) 1920x1080 50P	2048x1080P (Level B)	—	2048x1080 50P Level-B	無出力
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 50P Level-A	1920x1080 50P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 50P Level-B	無出力
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i	1920x1080 50i
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P	1280x720 50P
RAW Output Format 4096x2160 50P	2048x1080P (Level A)	—	2048x1080 50P Level-A	無出力
Video Format (固定値) 1280x720 50P	2048x1080P (Level B)	—	2048x1080 50P Level-B	無出力
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 50P Level-A	1920x1080 50P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 50P Level-B	無出力
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P	1280x720 50P
RAW Output Format 2048x1080 50P	2048x1080P (Level A)	—	2048x1080 50P Level-A	無出力
Video Format (固定値) 1920x1080 50P	2048x1080P (Level B)	—	2048x1080 50P Level-B	無出力
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 50P Level-A	1920x1080 50P
	1920x1080P (Level B)	-	1920x1080 50P Level-B	無出力
	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i	1920x1080 50i

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのRAW Output Format / Video Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
RAW Output Format 2048x1080 50P	2048x1080P (Level A)	—	2048x1080 50P Level-A	無出力
Video Format (固定値) 1280x720 50P	2048x1080P (Level B)	—	2048x1080 50P Level-B	無出力
	1920x1080P (Level A)	1920x1080P	1920x1080 50P Level-A	1920x1080 50P
	1920x1080P (Level B)	—	1920x1080 50P Level-B	無出力
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P	1280x720 50P
	1280x720P	1280x720P	1280x720 50P	1280x720 50P
RAW Output Format 4096x2160 25P	2048x1080PsF	—	2048x1080 25PsF	無出力
Video Format (固定値) 1920x1080 25P	1920x1080PsF	1920x1080i	1920x1080 25PsF	1920x1080 25PsF
RAW Output Format 2048x1080 25P	2048x1080PsF	—	2048x1080 25PsF	無出力
Video Format (固定値) 1920x1080 25P	1920x1080PsF	1920x1080i	1920x1080 25PsF	1920x1080 25PsF

拡張ユニット使用時 (ProRes 422)

記録フォーマット設定 (Systemメニュー >Rec FormatのVideo Format)	SDI/HDMI出力設定 (Videoメニュー >Output FormatのSDI / HDMI)		SDI出力信号	HDMI出力信号
	SDI	HDMI		
1920x1080 50i	1920x1080i	1920x1080i	1920x1080 50i	1920x1080 50i
1920x1080 25P	1920x1080PsF	1920x1080PsF	SDI OUT 1 1920x1080 25P SDI OUT 2 1920x1080 25PsF	1920x1080 50i (PsF)

HDMI Target DeviceによるHDMI出力の設定状態

Videoメニュー >Output Settingの HDMI Target Device	Videoメニュー >Output DisplayのSDI/ HDMI	HDMIの出力	
		OSD On/Off	MLUT On/Off
Recorder (初期値)	SDI=On、HDMI=On * グレーアウトして選択できない	—	SDI1に従う
	SDI=On、HDMI=Off (初期値)	Off	
	SDI=Off、HDMI=Off	Off	
Monitor	SDI=On、HDMI=On (初期値)	On	SDI2に従う
	SDI=On、HDMI=Off * グレーアウトして選択できない	—	
	SDI=Off、HDMI=Off	Off	

[ご注意]

- HDMI Target Deviceの変更によって現在のOutput Displayの設定値が選択できない状態になった場合は、Output Displayの設定が以下のように変更されます。
 - 初期値に強制変更される
 - 初期値が選択できない場合は「SDI=On、HDMI=On」に強制変更される
- CodecにProResを設定した場合は、Recorderに設定できません。

Monitor LUTを個別に設定できない条件

以下の場合、VideoメニューのMonitor LUTのSDI2、HDMI、Viewfinderは個別に設定できません。
SDI1 & Internal Recの設定に連動します。

- VideoメニューのOutput Formatで、HDMIが4096x2160または3840x2160のとき
- RecordingメニューのS&Q MotionのSettingがOnのとき
- SystemメニューのLensのDistortion Comp.がAutoのとき

Preset SelectがBT.2020設定時の各出力メニュー設定と各映像出力の色域

PaintメニューのMatrixのPreset SelectがBT.2020に設定されている場合、記録した映像の色域はBT.2020となります。このとき各映像出力の色域はOutput FormatとOutput Color Spaceによって、次のようになります。

Videoメニュー >Output Format		Videoメニュー >Output SettingのOutput Color Space	HDMI	SDI1	SDI2
HDMI	SDI				
4K/QFHD	—	BT.2020	BT.2020	—	—
HD	2K/HD	SDI2 BT.709	*1	BT.2020	BT.709
		SDI2 BT.2020	BT.2020	BT.2020	BT.2020
		All BT.709	BT.709	BT.709	BT.709

*1 HDMI Target DeviceがRecorderのときはBT.2020、MonitorのときはBT.709になります。

[ご注意]

BT.2020色域での記録クリップの再生時に、BT.709色域に設定されている映像出力に映像を出力する場合には、色域変換が行われないため、記録時の映像とは色が違って見えます。

エラー / 警告表示

本機では警告、注意、動作確認などが必要な状況では、ビューファインダー画面のメッセージ表示、録画ランプの点滅、および警告音で対応します。

警告音は、内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続したヘッドホンに出力します。

エラー表示

次のような表示が出た場合は、本機は動作を停止します。

ビューファインダー警告表示	警告音	録画ランプ	原因と対策
E+エラーコード	連続音	高速点滅	本体の異常の可能性があります。ビューファインダー画面上に●RECと表示されていても記録は止まっています。 電源を切り、接続している機器やケーブル類、メディアに異常がないか確認してください。これらに異常がないときは、再度電源を入れ、エラーが継続する場合はソニーのサービス窓口にご連絡ください。 (POWERスイッチをOffにしても電源が切れない場合は、バッテリーパックやDC IN電源も外してください。)

警告表示

次のような表示が出た場合は、メッセージに従って対策してください。

ビューファインダー警告表示	警告音	録画ランプ	原因と対策
Media Near Full	断続音	点滅	XQDメモリーカードの残量が少なくなっています。早い機会に交換してください。
Media Full	連続音	高速点滅	XQDメモリーカードの残量がないため、記録、コピー、クリップ分割はできません。交換してください。
Battery Near End	断続音	点滅	バッテリーパックの残量が少なくなっています。早い機会に充電してください。

ビューファインダー警告表示	警告音	録画ランプ	原因と対策
Battery End	連続音	高速点滅	バッテリーパックが消耗しました。記録はできません。いったん操作を中止し、バッテリーパックを交換してください。
Temperature High	断続音	点滅	内部温度が上昇しました。いったん電源を切り、温度が下がるまで使用を中止してください。
Voltage Low	断続音	点滅	DC IN電圧が低くなっています (段階1)。供給電源を確認してください。
Insufficient Voltage	連続音	高速点滅	DC IN電圧が低すぎます (段階2)。記録はできません。他の電源に接続しなおしてください。

注意・動作確認表示

画面中央部分に次のような注意・動作確認表示が現れることがあります。この場合は次表に従って対処してください。

表示内容	原因と対策
Battery Error Please Change Battery	バッテリーパックに異常が検出されました。正常なバッテリーパックに交換してください。
Backup Battery End Please Change	バックアップ電池の残量が不足しています。バックアップ電池を充電してください。
Unknown Media (A) ¹⁾ Please Change	パーティションが切られているメモリーカードや、本機で扱えるクリップ数を超えて記録されたメモリーカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換してください。
Cannot Use Media (A) ¹⁾ Unsupported File System	ファイルシステムの異なるカードまたはフォーマットされていないカードが挿入されました。 本機では使用できませんので、交換または本機でフォーマットしてください。
Media Error Media (A) ¹⁾ Needs to be Restored	メモリーカードに異常が発生し、修復が必要な状態になりました。 メモリーカードの修復を行ってください。
Media Error Cannot Record to Media (A) ¹⁾	メモリーカードが故障して、記録ができなくなりました。 再生は可能ですので、コピーをとるなどして、新しいメモリーカードに交換することをお勧めします。

表示内容	原因と対策
Media Error Cannot Use Media (A) ¹⁾	メモリーカードが故障して記録も再生もできなくなりました。 本機では扱えませんので、他のカードに交換してください。
Media (A) ¹⁾ Error Recording Halted Playback Halted	メモリーカードに異常が発生したため、記録または再生が停止しました。 頻繁に起きる場合には、メモリーカードを交換してください。
Media Reached Rewriting Limit Change Media (A) ¹⁾	メモリーカードの寿命がきました。 バックアップをとり、速やかに交換してください。継続して使用すると、正常に記録・再生できない可能性があります。 詳しくは、メモリーカードの取扱説明書を参照してください。
Fan Stopped	本体内のファンが停止しています。 高温下での使用を避け、電源を切ってソニーのサービス担当者に連絡してください。
Invalid setting value was reset: Media/Clip Naming/Camera Position Please save All File again	不正なAllファイルが呼び出されたため、Clip Namingの設定値をリセットしました。 希望の設定値に合わせて、再度Allファイルの保存を実行してください。

1) スロットBに入れたカードの場合は (B)

ファイルに保存される項目

Yes：ファイルに保存されます
No：ファイルに保存されません

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Camera	ISO/Gain/El	Mode	Yes	Yes
		ISO/Gain<H>	Yes	Yes
		ISO/Gain<M>	Yes	Yes
		ISO/Gain<L>	Yes	Yes
		Exposure Index<H>	Yes	Yes
		Exposure Index<M>	Yes	Yes
		Exposure Index<L>	Yes	Yes
		Shockless Gain	Yes	Yes
	ND Filter	Preset1	Yes	Yes
		Preset2	Yes	Yes
		Preset3	Yes	Yes
	Auto Exposure	Level	Yes	Yes
		Mode	Yes	Yes
		Speed	Yes	Yes
		AGC	Yes	Yes
		AGC Limit	Yes	Yes
		Auto ND Filter	Yes	Yes
		Auto Shutter	Yes	Yes
		A.SHT Limit	Yes	Yes
		Clip High light	Yes	Yes
		Detect Window	Yes	Yes
	Focus	Detect Window Indication	Yes	Yes
		Focus Area	Yes	No
		Focus Area (Push AF)	Yes	No
		AF Assist	Yes	No
	Shutter	Mode	Yes	Yes
		Shutter Speed	Yes	Yes
		Shutter Angle	Yes	Yes
		ECS Frequency	Yes	Yes
	Color Bars	Setting	No	No
		Type	Yes	No
	Noise Suppression	Setting	Yes	Yes
		Level	Yes	Yes

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Camera	Flicker Reduce	Mode	Yes	No
		Frequency	Yes	No
		SteadyShot	Yes	No
		Handle Zoom	Yes	No
		Zoom Speed Type	Yes	No
	Auto Black Balance	Zoom Speed	Yes	No
		Auto Black Balance	—	—
		Setting	No	No
		Amount	No	No
		Clear All	—	—
Paint	Video Light Set	Video Light Set	Yes	No
	White	Preset White	Yes	Yes
		Color Temp <A>	Yes	Yes
		Color Temp Balance <A>	Yes	Yes
		R Gain <A>	Yes	Yes
		B Gain <A>	Yes	Yes
		Color Temp 	Yes	Yes
		Color Temp Balance 	Yes	Yes
		R Gain 	Yes	Yes
		B Gain 	Yes	Yes
		Filter White Memory	Yes	No
		Shockless White	Yes	Yes
		White Switch	Yes	No
		ATW Speed	Yes	Yes
	Offset White	Offset White <A>	Yes	Yes
		Warm Cool <A>	Yes	Yes
		Warm Cool Balance <A>	Yes	Yes
		Offset White 	Yes	Yes
		Warm Cool 	Yes	Yes
		Warm Cool Balance 	Yes	Yes
		Offset White<ATW>	Yes	Yes
		Warm Cool<ATW>	Yes	Yes
		Warm Cool Balance<ATW>	Yes	Yes

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Paint	Black	Setting	Yes	Yes
		Master Black	Yes	Yes
		R Black	Yes	Yes
		B Black	Yes	Yes
	Gamma	Setting	Yes	Yes
		Step Gamma	Yes	Yes
		Master Gamma	Yes	Yes
		R Gamma	Yes	Yes
		G Gamma	Yes	Yes
		B Gamma	Yes	Yes
		Gamma Category	Yes	Yes
		Gamma Select	Yes	Yes
	Black Gamma	Setting	Yes	Yes
		Range	Yes	Yes
		Master Black Gamma	Yes	Yes
	Knee	Setting	Yes	Yes
		Auto Knee	Yes	Yes
		Point	Yes	Yes
		Slope	Yes	Yes
		Knee Saturation	Yes	Yes
		Knee Saturation Level	Yes	Yes
	White Clip	Setting	Yes	Yes
		Level	Yes	Yes
	Detail	Setting	Yes	Yes
		Level	Yes	Yes
		H/V Ratio	Yes	Yes
		Crispening	Yes	Yes
		Level Depend	Yes	Yes
		Level Depend Level	Yes	Yes
		Frequency	Yes	Yes
		Knee Aperture	Yes	Yes
		Knee Aperture Level	Yes	Yes
		Limit	Yes	Yes
		White Limit	Yes	Yes

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Paint	Detail	Black Limit	Yes	Yes
		V Black Limit	Yes	Yes
		V Detail Creation	Yes	Yes
	Skin Detail	Setting	Yes	Yes
		Area Detection	—	—
		Area Indication	No	No
		Level	Yes	Yes
		Saturation	Yes	Yes
		Hue	Yes	Yes
		Width	Yes	Yes
	Aperture	Setting	Yes	Yes
		Level	Yes	Yes
	Matrix	Setting	Yes	Yes
		Adaptive Matrix	Yes	Yes
		Preset Matrix	Yes	Yes
		Preset Select	Yes	Yes
		User Matrix	Yes	Yes
		Level	Yes	Yes
		Phase	Yes	Yes
		User Matrix R-G	Yes	Yes
		User Matrix R-B	Yes	Yes
		User Matrix G-R	Yes	Yes
		User Matrix G-B	Yes	Yes
		User Matrix B-R	Yes	Yes
		User Matrix B-G	Yes	Yes
	Multi Matrix	Setting	Yes	Yes
		Area Indication	No	No
		Color Detection	—	—
		Axis	No	No
		Hue	Yes	Yes
		Saturation	Yes	Yes
	Maintenance	Test Saw	Yes	No

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Audio	Audio Input	CH1 Input Select	Yes	No
		CH2 Input Select	Yes	No
		CH3 Input Select	Yes	No
		CH4 Input Select	Yes	No
		INPUT1 MIC Reference	Yes	No
		INPUT2 MIC Reference	Yes	No
		CH1 Wind Filter	Yes	No
		CH2 Wind Filter	Yes	No
		CH3 Wind Filter	Yes	No
		CH4 Wind Filter	Yes	No
		CH3 Level Control	Yes	No
		CH4 Level Control	Yes	No
		CH3 Input Level	Yes	No
		CH4 Input Level	Yes	No
		Audio Input Level	Yes	No
		Limiter Mode	Yes	No
		CH1&2 AGC Mode	Yes	No
		CH3&4 AGC Mode	Yes	No
		AGC Spec	Yes	No
		1kHz Tone on Color Bars	Yes	No
		CH1 Level	Yes	No
		CH2 Level	Yes	No
		CH3 Level	Yes	No
		CH4 Level	Yes	No
	Audio Output	Monitor CH	Yes	No
		Monitor Volume	Yes	No
		Headphone Out	Yes	No
		Alarm Volume	Yes	No
		Output Limiter	Yes	No
		HDMI Output CH	Yes	No

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Video	Output On/Off	SDI	Yes	No
		HDMI	Yes	No
	Output Format	SDI	Yes	No
		HDMI	Yes	No
		REF	No	No
	Output Setting	HDMI Target Device	Yes	No
		Output Color Space	Yes	No
		4K/2K to HD Conv.	Yes	No
	Monitor LUT	Category	Yes	No
		LUT Select	Yes	No
		Look Profile Select	Yes	No
		User 3D LUT Select	Yes	No
		SDI1 & Internal Rec	Yes	No
		SDI2	Yes	No
	Output Display	HDMI	Yes	No
		Viewfinder	Yes	No
		SDI2	Yes	No
VF	VF Setting	HDMI	Yes	No
		Brightness	Yes	No
	Peaking	Color Mode	Yes	No
		Setting	Yes	No
		Peaking Type	Yes	No
		Frequency	Yes	No
		Normal Peaking Level	Yes	No
		Color	Yes	No
		Color Peaking Level	Yes	No
	Zebra	Setting	Yes	No
		Zebra Select	Yes	No
		Zebra1 Level	Yes	No
		Zebra1 Aperture Level	Yes	No
		Zebra2 Level	Yes	No

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
VF	Marker	Setting	Yes	No
		Color	Yes	No
		Center Marker	Yes	No
		Safety Zone	Yes	No
		Safety Area	Yes	No
		Aspect Marker	Yes	No
		Aspect Mask	Yes	No
		Aspect Safety Zone	Yes	No
		Aspect Safety Area	Yes	No
		Aspect Select	Yes	No
		User Box	Yes	No
		User Box Width	Yes	No
		User Box Height	Yes	No
		User Box H Position	Yes	No
		User Box V Position	Yes	No
		100% Marker	Yes	No
		Guide Frame	Yes	No
	Display On/Off	Setting	Yes	No
		Shutter Setting	Yes	No
		ND Filter Value	Yes	No
		Gain Setting	Yes	No
		Rec/Play Status	Yes	No
		HXR-IFR5 Rec Control	Yes	No
		Color Temp.	Yes	No
		Frame Rate / Interval	Yes	No
		Battery Remain	Yes	No
		Timecode	Yes	No
		Audio Manual	Yes	No
		Audio Level Meter	Yes	No
		Media Status	Yes	No
		Focus Position	Yes	No
		Iris Position	Yes	No
		Zoom Position	Yes	No
		SteadyShot	Yes	No

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
VF	Display On/Off	Focus Mode	Yes	No
		Focus Area Indicator	Yes	No
		Focus Area Ind. (Push AF)	Yes	No
		Focus Indicator	Yes	No
		Auto Shutter	Yes	No
		AGC	Yes	No
		Auto ND Filter	Yes	No
		Auto Iris	Yes	No
		AE Mode	Yes	No
		Auto Exposure Level	Yes	No
		White Balance Mode	Yes	No
		SDI/HDMI Rec Control	Yes	No
		Rec Format	Yes	No
		Gamma	Yes	No
		Timecode Lock	Yes	No
		Wi-Fi Condition	Yes	No
		Clip Name	Yes	No
		Focus Assist Indicator	Yes	No
		Focus Area Marker	Yes	No
		Video Level Warning	Yes	No
		Clip Number	Yes	No
		GPS	Yes	No
		Level Gauge	Yes	No
		Lens Info	Yes	No
		Notice Message	Yes	No
	Video Signal Monitor	Setting	Yes	No
		Source	Yes	No
TC/UB	Timecode	Mode	Yes	No
		Run	Yes	No
		Setting	No	No
		Reset	—	—
		TC Format	Yes	No
	TC Display	Display Select	Yes	No

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
TC/UB	Users Bit	Mode	Yes	No
		Setting	No	No
	HDMI TC Out	Setting	Yes	No
Recording	S&Q Motion	Setting	Yes	No
		High Frame Rate Mode	Yes	No
		Frame Rate	Yes	No
	Interval Rec	Setting	No	No
		Interval Time	Yes	No
		Number of Frames	Yes	No
		Pre-Lighting	Yes	No
	Picture Cache Rec	Setting	Yes	No
		Cache Rec Time	Yes	No
	Simul Rec	Setting	Yes	No
		Rec Button Set	Yes	No
	SDI/HDMI Rec Control	Setting	Yes	No
	Thumbnail	Display Clip Properties		—
Set Index Picture		—	—	
Thumbnail View		Essence Mark Thumbnail	—	—
		Clip Thumbnail	—	—
Set Shot Mark		Add Shot Mark1	—	—
		Delete Shot Mark1	—	—
		Add Shot Mark2	—	—
		Delete Shot Mark2	—	—
Set Clip Flag		Add OK	—	—
		Add NG	—	—
		Add KEEP	—	—
		Delete Clip Flag	—	—
Lock/Unlock Clip		Select Clip	—	—
		Lock All Clips	—	—
		Unlock All Clips	—	—
Delete Clip		Select Clip	—	—
		All Clips	—	—

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
Thumbnail	Filter Clips	OK	—	—
		NG	—	—
		KEEP	—	—
		None	—	—
Media	Customize View	Thumbnail Caption	Yes	Yes
	Update Media	Media(A)	—	—
		Media(B)	—	—
	Format Media	Media(A)	—	—
		Media(B)	—	—
		SD Card	—	—
	Clip	Auto Naming	Yes	No
		Camera ID	Yes	No
		Reel Number	Yes	No
		Camera Position	Yes	No
		Title Prefix	Yes	No
File	All File	Number Set	No	No
		Load SD Card	—	—
		Save SD Card	—	—
		File ID	Yes	No
		Recall Internal Memory	—	—
	Scene File	Store Internal Memory	—	—
		Load SD Card	—	—
		Save SD Card	—	—
		File ID	No	Yes
		Scene White Data	Yes	No
	User Menu Item	Load SD Card	—	—
		Save SD Card	—	—
		File ID	No	No
	User Gamma	Current Settings	—	—
		Load SD Card	—	—
		Reset	—	—
	Monitor LUT	Current Settings	—	—
		Load SD Card	—	—
		Reset	—	—

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
File	Monitor 3D LUT	Current Settings	—	—
		Load SD Card	—	—
		Reset	—	—
	Lens File	White Offset R	No	No
		White Offset B	No	No
System	Base Setting	Shooting Mode	Yes	No
		Color Space	Yes	No
		Imager Scan Mode	Yes	No
		Rec/Out EI Applied	Yes	No
	Codec	Select	Yes	No
	Rec Format	Video Format	Yes	No
		RAW Output Format	Yes	No
	Genlock	Reference	—	—
	Assignable Button	<1>	Yes	No
		<2>	Yes	No
		<3>	Yes	No
		<4>	Yes	No
		<5>	Yes	No
		<6>	Yes	No
		<7>	Yes	No
		<8>	Yes	No
		<9>	Yes	No
		<10>	Yes	No
	Assignable Dial	Assignable Dial	Yes	No
		IRIS Dial	Yes	No
		Assignable Dial Direction	Yes	No
		IRIS Dial Direction	Yes	No
	ND Dial	ND Dial Direction	Yes	No
	Rec Lamp	Rec Lamp	Yes	No
	Fan Control	Setting	Yes	No
	HOLD Switch Setting	with Rec Button	Yes	No
		with Hand Grip Remote	Yes	No
	Lens	Zoom Ring Direction	Yes	No
		Distortion Comp.	Yes	No

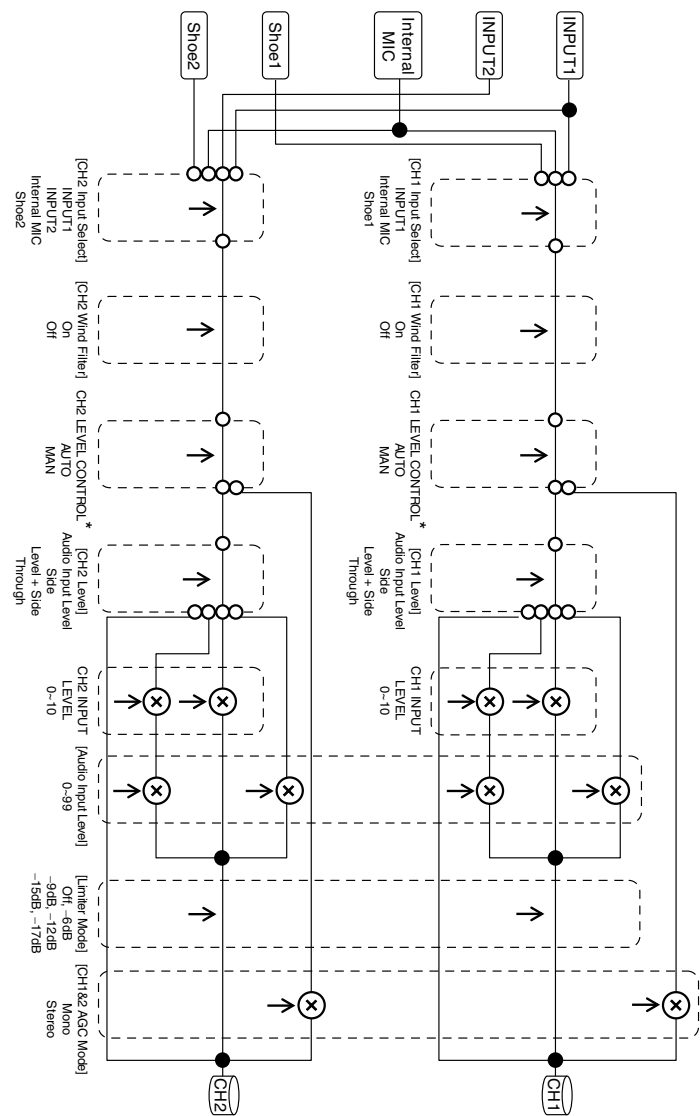
LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
System	Language	Select	Yes	No
	Clock Set	Time Zone	Yes	No
		Date Mode	Yes	No
		12H/24H	Yes	No
		Date	No	No
		Time	No	No
	Country	NTSC/PAL Area	Yes	No
	Hours Meter	Hours(System)	—	—
		Hours(Reset)	—	—
		Reset	—	—
	Basic Authentication	User Name	No	No
		Password	No	No
	Wi-Fi	Wi-Fi	Yes	No
		SSID & Password	—	—
		Wi-Fi Direct Connection	—	—
		Client	—	—
		IP Address	—	—
		Subnet Mask	—	—
		MAC Address	—	—
		Regenerate Password	—	—
	GPS	GPS	Yes	No
	IR Remote	Setting	Yes	No
	Camera Battery Alarm	Low BATT	Yes	No
		BATT Empty	Yes	No
	Camera DC IN Alarm	DC Low Voltage1	Yes	No
		DC Low Voltage2	Yes	No
	Ext. Unit Battery Alarm	Near End:Info Battery	Yes	No
		End:Info Battery	Yes	No
		Near End:Sony Battery	Yes	No
		End:Sony Battery	Yes	No
		Near End:Other Battery	Yes	No
		End:Other Battery	Yes	No
		Detected Battery	No	No

LEVEL 1	LEVEL 2	LEVEL 3	All File	Scene File
System	Ext. Unit DC IN Alarm	DC Low Voltage1	Yes	No
		DC Low Voltage2	Yes	No
	All Reset	Reset	—	—
	APR	APR	—	—
	Camera Config	HD/2K Modulation	Yes	No
	Version	Number	—	—
		Version Up	—	—
		Lens Version Number	—	—
		Lens Version Up	—	—
		Ext. Unit Version Number	—	—
		Ext. Unit Version Up	—	—

ブロックダイアグラム

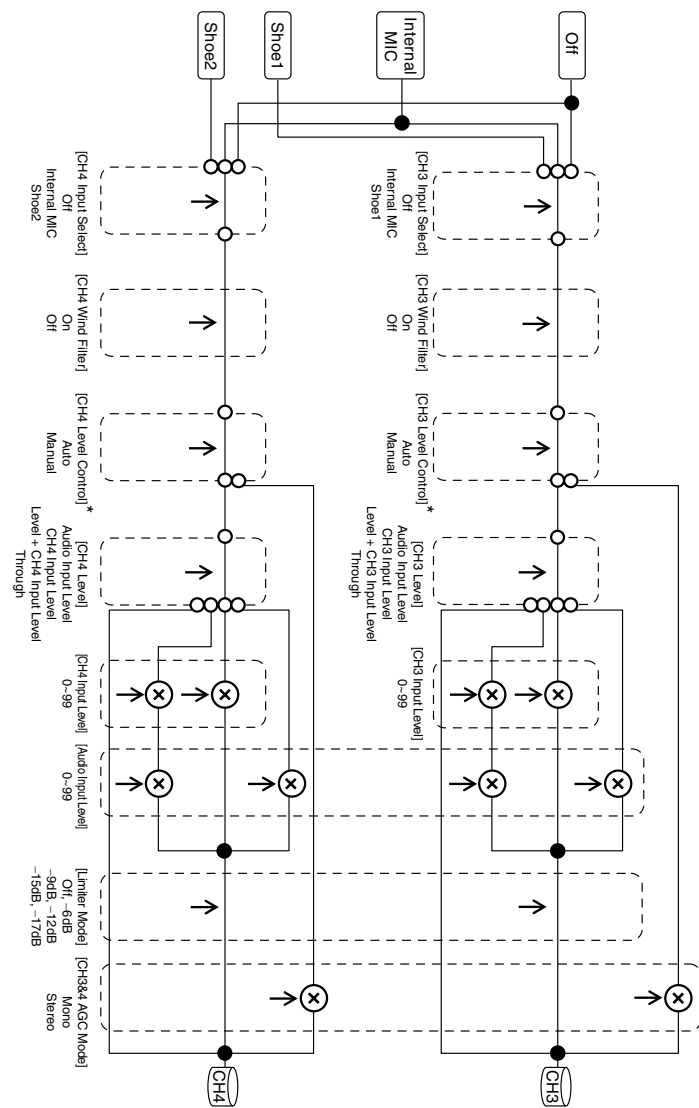
「収録する音声を設定する」(35ページ)と「セットアップメニュー一覧」(52ページ)の関連項目をあわせてご覧ください。

Audio Input (CH1&CH2)



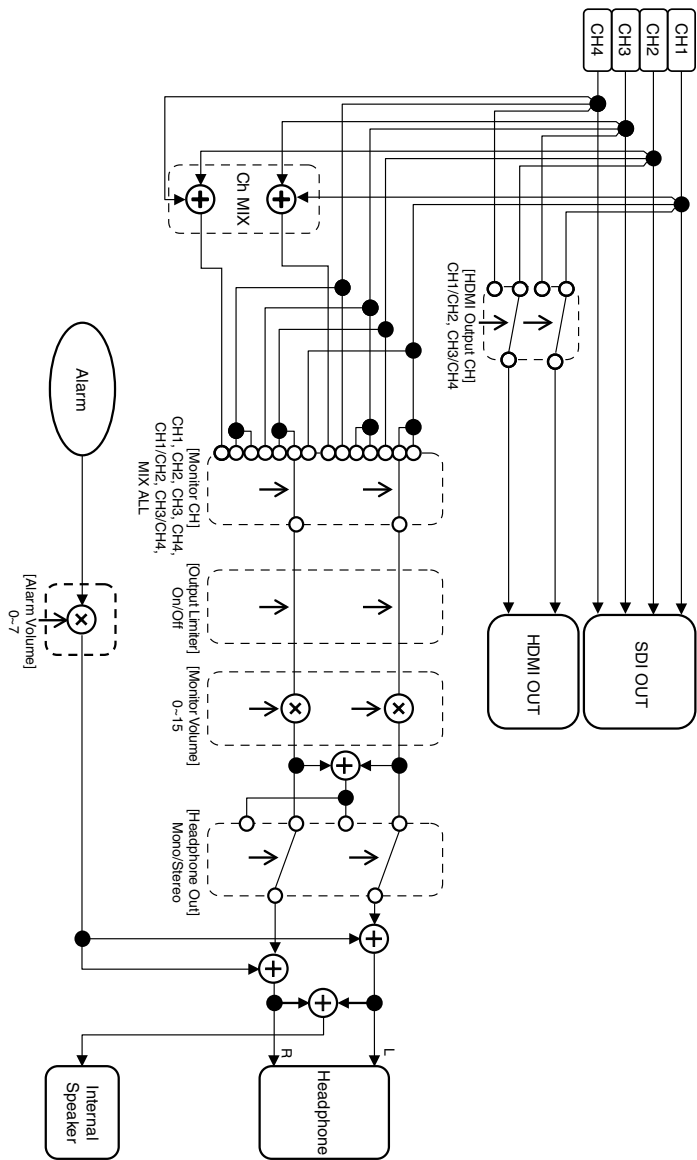
* XLRアダプターからの音声入力があるときはMANになります。

Audio Input (CH3&CH4)



* XLRアダプターからの音声入力があるときはManualになります。

Audio Output



Eマウントレンズのソフトウェアをアップデートする

本機でEマウントレンズ本体のソフトウェアをアップデートできます。
アップデートできるレンズ本体とそのファームウェアは、レンズのWebサイトをご覧ください。

バージョンを確認する

- 1 Eマウントレンズを本機に取り付ける（18ページ）。
- 2 SystemメニューのVersionを選択してLens Version Numberを表示する。（80ページ）。
Eマウントレンズのバージョン番号が横に表示されます。

ソフトウェアをアップデートする

- 1 ACアダプターを取り付ける（13ページ）。
[ご注意]
満充電したバッテリーの併用をお勧めします。
- 2 Eマウントレンズを本機に取り付ける（18ページ）。
- 3 本機でSDカードをフォーマットする（25ページ）。

- 4 Windows用のアップデートソフトウェア（拡張子"exe"）をSDカードのルートフォルダにコピーし、本機のUTILITY SDカードスロットに入れる（25ページ）。

- 5 SystemメニューのVersionのLens Version UpでExecuteを選択する（80ページ）。
開始確認メッセージが表示されます。

- 6 Executeを選択する。
バージョンアップの準備が開始されます。
準備が完了すると、実行確認メッセージが表示されます。

- 7 Executeを選択する。
バージョンアップが実行されます。バージョンアップが完了すると、「Lens Version Up OK」が表示されます。

- 8 本機の電源をOffにする。

[ご注意]

- アップデートが完了するまで次の操作は行わないでください。
 - SDカードを取り出す
 - レンズを取り外す
 - 電源を切る
- 「Lens Version Up NG」が表示された場合、表示された内容を確認の上、再度アップデートを実行してください。

ライセンスについて

MPEG-4 AVC Patent Portfolio Licenseについて

本製品は、MPEG LA, LLCがライセンス活動を行っているAVC PATENT PORTFOLIOLICENSEの下、次の用途に限りライセンスされています：

- (i) 消費者が個人的又は他の報酬を受けていない使用目的で、MPEG-4 AVC規格に合致したビデオ信号（以下、AVC VIDEOといいます）にエンコードすること。
- (ii) AVC VIDEO（消費者が個人的又は他の報酬を受けていない目的でエンコードしたもの、若しくはMPEG LAよりライセンスを取得したプロバイダーがエンコードしたものに限られます）をデコードすること。

なお、その他の用途に関してはライセンスされていません。プロモーション、商業的に利用することに関する詳細な情報につきましては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。

GPL/LGPL適用ソフトウェアの入手について

本製品はGPL/LGPL適用のソフトウェアを使用しており、お客様には、これらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

これらのソースコードはインターネットのサーバーからダウンロードすることが可能です。以下のURLにアクセスすれば、具体的なダウンロード

の方法がわかるようになっています。
<http://www.sony.net/Products/Linux/common/search.html>

なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

ライセンスの内容に関しては、付属のCD-ROMに収録されている「License」フォルダ内の「License1.pdf」をご覧ください。

PDFファイルをご覧いただくためには、Adobe Readerがコンピューターにインストールされている必要があります。

Adobe Readerがインストールされていない場合は、下記URLにアクセスしてダウンロードすることができます。

<http://get.adobe.com/jp/reader/>

END USER LICENSE AGREEMENT

IMPORTANT:
BEFORE USING THE SOFTWARE CONTAINED IN THE SOLID STATE MEMORY CAMCORDER, PLEASE READ THIS END USER LICENSE AGREEMENT (“EULA”) CAREFULLY. BY USING THE SOFTWARE YOU ARE ACCEPTING THE TERMS OF THIS EULA. IF YOU DO NOT ACCEPT THE TERMS OF THIS EULA, YOU MAY NOT USE THE SOFTWARE.

This EULA is a legal agreement between you and Sony Corporation (“SONY”). This EULA governs your rights and obligations regarding the software of SONY and/or its third party licensors (including SONY’s affiliates) and their respective affiliates (collectively, the “THIRD-PARTY SUPPLIERS”) contained

in the wireless adapter, together with any updates/upgrades provided by SONY, any printed, on-line or other electronic documentation for such software, and any data files created by operation of such software (collectively, the “SOFTWARE”).

Notwithstanding the foregoing, any software in the SOFTWARE having a separate end user license agreement (including, but not limited to, GNU General Public license and Lesser/Library General Public License) shall be covered by such applicable separate end user license agreement in lieu of the terms of this EULA to the extent required by such separate end user license agreement (“EXCLUDED SOFTWARE”).

SOFTWARE LICENSE
The SOFTWARE is licensed, not sold. The SOFTWARE is protected by copyright and other intellectual property laws and international treaties.

COPYRIGHT
All right and title in and to the SOFTWARE (including, but not limited to, any images, photographs, animation, video, audio, music, text and “applets” incorporated into the SOFTWARE) is owned by SONY or one or more of the THIRD-PARTY SUPPLIERS.

GRANT OF LICENSE
SONY grants you a limited license to use the SOFTWARE solely in connection with the wireless adapter and only for your individual use. SONY and the THIRD-PARTY SUPPLIERS expressly reserve all rights, title and interest (including, but not limited to, all intellectual property rights) in and to the SOFTWARE that this EULA does not specifically grant to you.

REQUIREMENTS AND LIMITATIONS
You may not copy, publish, adapt, redistribute, attempt to derive source code, modify, reverse engineer, decompile, or disassemble any of the SOFTWARE, whether in whole or in part, or create any derivative works from or of the SOFTWARE unless such derivative works are intentionally facilitated by the SOFTWARE. You may not modify or tamper with any digital rights management functionality of

the SOFTWARE. You may not bypass, modify, defeat or circumvent any of the functions or protections of the SOFTWARE or any mechanisms operatively linked to the SOFTWARE. You may not separate any individual component of the SOFTWARE for use on more than one wireless adapter unless expressly authorized to do so by SONY. You may not remove, alter, cover or deface any trademarks or notices on the SOFTWARE. You may not share, distribute, rent, lease, sublicense, assign, transfer or sell the SOFTWARE. The software, network services or other products other than SOFTWARE upon which the SOFTWARE’S performance depends might be interrupted or discontinued at the discretion of the suppliers (software suppliers, service suppliers, or SONY). SONY and such suppliers do not warrant that the SOFTWARE, network services, contents or other products will continue to be available, or will operate without interruption or modification.

EXCLUDED SOFTWARE AND OPEN SOURCE COMPONENTS
Notwithstanding the foregoing limited license grant, you acknowledge that the SOFTWARE may include EXCLUDED SOFTWARE. Certain EXCLUDED SOFTWARE may be covered by open source software licenses (“Open Source Components”), which means any software licenses approved as open source licenses by the Open Source Initiative or any substantially similar licenses, including but not limited to any license that, as a condition of distribution of the software licensed under such license, requires that the distributor make the software available in source code format. If and to the extent disclosure is required, please visit www.sony.com/linux or other SONY-designated web site for a list of applicable OPEN SOURCE COMPONENTS included in the SOFTWARE from time to time, and the applicable terms and conditions governing its use. Such terms and conditions may be changed by the applicable third party at any time without liability to you. To the extent required by the licenses covering EXCLUDED SOFTWARE, the terms of such licenses will apply in lieu of the terms of this EULA. To the extent the terms of the licenses applicable to EXCLUDED SOFTWARE prohibit any of the restrictions in this EULA with respect to such EXCLUDED SOFTWARE,

such restrictions will not apply to such EXCLUDED SOFTWARE. To the extent the terms of the licenses applicable to Open Source Components require SONY to make an offer to provide source code in connection with the SOFTWARE, such offer is hereby made.

USE OF SOFTWARE WITH COPYRIGHTED MATERIALS

The SOFTWARE may be capable of being used by you to view, store, process and/or use content created by you and/or third parties. Such content may be protected by copyright, other intellectual property laws, and/or agreements. You agree to use the SOFTWARE only in compliance with all such laws and agreements that apply to such content. You acknowledge and agree that SONY may take appropriate measures to protect the copyright of content stored, processed or used by the SOFTWARE. Such measures include, but are not limited to, counting the frequency of your backup and restoration through certain SOFTWARE features, refusal to accept your request to enable restoration of data, and termination of this EULA in the event of your illegitimate use of the SOFTWARE.

CONTENT SERVICE

PLEASE ALSO NOTE THAT THE SOFTWARE MAY BE DESIGNED TO BE USED WITH CONTENT AVAILABLE THROUGH ONE OR MORE CONTENT SERVICES (“CONTENT SERVICE”). USE OF THE SERVICE AND THAT CONTENT IS SUBJECT TO THE TERMS OF SERVICE OF THAT CONTENT SERVICE. IF YOU DECLINE TO ACCEPT THOSE TERMS, YOUR USE OF THE SOFTWARE WILL BE LIMITED. You acknowledge and agree that certain content and services available through the SOFTWARE may be provided by third parties over which SONY has no control. USE OF THE CONTENT SERVICE REQUIRES AN INTERNET CONNECTION. THE CONTENT SERVICE MAY BE DISCONTINUED AT ANY TIME.

INTERNET CONNECTIVITY AND THIRD PARTY SERVICES

You acknowledge and agree that access to certain SOFTWARE features may require an Internet connection for which you are solely responsible.

Further, you are solely responsible for payment of any third party fees associated with your Internet connection, including but not limited to Internet service provider or airtime charges. Operation of the SOFTWARE may be limited or restricted depending on the capabilities, bandwidth or technical limitations of your Internet connection and service. The provision, quality and security of such Internet connectivity are the sole responsibility of the third party providing such service.

EXPORT AND OTHER REGULATIONS

You agree to comply with all applicable export and re-export restrictions and regulations of the area or country in which you reside, and not to transfer, or authorize the transfer, of the SOFTWARE to a prohibited country or otherwise in violation of any such restrictions or regulations.

HIGH RISK ACTIVITIES

The SOFTWARE is not fault-tolerant and is not designed, manufactured or intended for use or resale as on-line control equipment in hazardous environments requiring fail-safe performance, such as in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, direct life support machines, or weapons systems, in which the failure of the SOFTWARE could lead to death, personal injury, or severe physical or environmental damage (“HIGH RISK ACTIVITIES”). SONY, each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS, and each of their respective affiliates specifically disclaim any express or implied warranty, duty or condition of fitness for HIGH RISK ACTIVITIES.

EXCLUSION OF WARRANTY ON SOFTWARE

You acknowledge and agree that use of the SOFTWARE is at your sole risk and that you are responsible for use of the SOFTWARE. The SOFTWARE is provided “AS IS,” without warranty, duty or condition of any kind.

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as “SONY”) EXPRESSLY DISCLAIM ALL WARRANTIES, DUTIES OR CONDITIONS, EXPRESS

OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, NONINFRINGEMENT AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. SONY DOES NOT WARRANT OR MAKE ANY CONDITIONS OR REPRESENTATIONS (A) THAT THE FUNCTIONS CONTAINED IN ANY OF THE SOFTWARE WILL MEET YOUR REQUIREMENTS OR THAT THEY WILL BE UPDATED, (B) THAT THE OPERATION OF ANY OF THE SOFTWARE WILL BE CORRECT OR ERROR-FREE OR THAT ANY DEFECTS WILL BE CORRECTED, (C) THAT THE SOFTWARE WILL NOT DAMAGE ANY OTHER SOFTWARE, HARDWARE OR DATA, (D) THAT ANY SOFTWARE, NETWORK SERVICES (INCLUDING THE INTERNET) OR PRODUCTS (OTHER THAN THE SOFTWARE) UPON WHICH THE SOFTWARE’S PERFORMANCE DEPENDS WILL CONTINUE TO BE AVAILABLE, UNINTERRUPTED OR UNMODIFIED, AND (E) REGARDING THE USE OR THE RESULTS OF THE USE OF THE SOFTWARE IN TERMS OF ITS CORRECTNESS, ACCURACY, RELIABILITY, OR OTHERWISE.

NO ORAL OR WRITTEN INFORMATION OR ADVICE GIVEN BY SONY OR AN AUTHORIZED REPRESENTATIVE OF SONY SHALL CREATE A WARRANTY, DUTY OR CONDITION OR IN ANY WAY INCREASE THE SCOPE OF THIS WARRANTY. SHOULD THE SOFTWARE PROVE DEFECTIVE YOU ASSUME THE ENTIRE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OF IMPLIED WARRANTIES, SO THESE EXCLUSIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

LIMITATION OF LIABILITY

SONY AND EACH OF THE THIRD-PARTY SUPPLIERS (for purposes of this Section, SONY and each of the THIRD-PARTY SUPPLIERS shall be collectively referred to as “SONY”) SHALL NOT BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES FOR BREACH OF ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY, BREACH OF CONTRACT, NEGLIGENCE, STRICT LIABILITY OR UNDER ANY OTHER LEGAL THEORY RELATED TO THE SOFTWARE, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY DAMAGES ARISING OUT OF LOSS OF PROFITS, LOSS OF REVENUE, LOSS OF DATA, LOSS OF USE OF THE SOFTWARE OR ANY ASSOCIATED HARDWARE, DOWN TIME AND USER’S TIME, EVEN IF ANY OF THEM HAVE BEEN ADVISED OF THE

POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. IN ANY CASE, EACH AND ALL OF THEIR AGGREGATE LIABILITY UNDER ANY PROVISION OF THIS EULA SHALL BE LIMITED TO THE AMOUNT ACTUALLY PAID FOR THE PRODUCT. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THE ABOVE EXCLUSION OR LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

CONSENT TO USE OF NON-PERSONAL INFORMATION, LOCATION DATA, DATA SECURITY

You acknowledge and agree that SONY and its affiliates, partners and agents may read, collect, transfer, process and store certain information collected from the SOFTWARE, including but not limited to information about (i) the SOFTWARE and (ii) the software applications, contents and peripheral devices that interact with your wireless adapter and the SOFTWARE (“Information”). Information includes, but is not limited to: (1) unique identifiers relating to your wireless adapter and its components; (2) performance of the wireless adapter, the SOFTWARE and their components; (3) configurations of your wireless adapter, the SOFTWARE and the software applications, contents and peripheral devices that interact with the wireless adapter and the SOFTWARE; (4) use and frequency of use of the functions of (x) the SOFTWARE, and (y) the software applications, contents and peripheral devices that interact with the SOFTWARE; and (5) location data, as indicated below. SONY and its affiliates, partners and agents may use and disclose Information subject to applicable laws in order to improve its products and services or to provide products or services to you. Such uses include, but are not limited to: (a) administering the functionalities of the SOFTWARE; (b) to improve, service, update or upgrade the SOFTWARE; (c) improving, developing and enhancing the current and future products and services of SONY and other parties; (d) to provide you with information about the products and services offered by SONY and other parties; (e) complying with applicable laws or regulations; and (f) to the extent offered, providing you with location-based services of SONY and other parties, as indicated below. In addition, SONY retains the right to use Information to protect itself and third

parties from illegal, criminal or harmful conduct.

Certain services available through the SOFTWARE may rely upon location information, including, but not limited to, the geographic location of the wireless adapter. You acknowledge that for the purpose of providing such services, SONY, the THIRDPARTY SUPPLIERS or their partners may collect, archive, process and use such location data, and that such services are governed by the privacy policies of SONY or such third party. By reviewed the privacy policies applicable to such services and consent to such activities.

SONY, its affiliates, partners and agents will not intentionally use Information to personally identify the owner or user of the SOFTWARE without your knowledge or consent. Any use of Information will be in accordance with the privacy policies of SONY or such third party.

Please contact applicable contact address of each area or country for SONY's current privacy policy. Please contact applicable third parties for privacy policies relating to personally identifiable and other information you provide when you use or access third party software or services.

Information may be processed, stored or transferred to SONY, its affiliates or agents which are located in countries outside of your country of residence. Data protection and information privacy laws in certain countries may not offer the same level of protection as your country of residence and you may have fewer legal rights in relation to Information processed and stored in, or transferred to, such countries. SONY will use reasonable efforts to take appropriate technical and organizational steps to prevent unauthorized access to or disclosure of Information, but does not warrant it will eliminate all risk of misuse of such Information.

AUTOMATIC UPDATE FEATURE

From time to time, SONY or the THIRDPARTY SUPPLIERS may automatically update or otherwise modify the SOFTWARE, including, but not limited to, for purposes of enhancement of security functions,

error correction and improvement of functions, at such time as you interact with SONY's or third parties' servers, or otherwise. Such updates or modifications may delete or change the nature of features or other aspects of the SOFTWARE, including, but not limited to, functions you may rely upon. You acknowledge and agree that such activities may occur at SONY's sole discretion and that SONY may condition continued use of the SOFTWARE upon your complete installation or acceptance of such update or modifications. Any updates/modifications shall be deemed to be, and shall constitute part of, the SOFTWARE for purposes of this EULA. By acceptance of this EULA, you consent to such update/modification.

ENTIRE AGREEMENT, WAIVER, SEVERABILITY

This EULA and SONY's privacy policy, each as amended and modified from time to time, together constitute the entire agreement between you and SONY with respect to the SOFTWARE. The failure of SONY to exercise or enforce any right or provision of this EULA shall not constitute a waiver of such right or provision. If any part of this EULA is held invalid, illegal, or unenforceable, that provision shall be enforced to the maximum extent permissible so as to maintain the intent of this EULA, and the other parts will remain in full force and effect.

GOVERNING LAW AND JURISDICTION

The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods shall not apply to this EULA. This EULA shall be governed by the laws of Japan, without regards to conflict of laws provisions. Any dispute arising out of this EULA shall be subject to the exclusive venue of the Tokyo District Court in Japan, and the parties hereby consent to the venue and jurisdiction of such courts.

EQUITABLE REMEDIES

Notwithstanding anything contained in this EULA to the contrary, you acknowledge and agree that any violation of or noncompliance with this EULA by you will cause irreparable harm to SONY, for which monetary damages would be inadequate, and you consent to SONY obtaining any injunctive or equitable relief that SONY deems necessary or

appropriate in such circumstances. SONY may also take any legal and technical remedies to prevent violation of and/or to enforce this EULA, including, but not limited to, immediate termination of your use of the SOFTWARE, if SONY believes in its sole discretion that you are violating or intend to violate this EULA. These remedies are in addition to any other remedies SONY may have at law, in equity or under contract.

TERMINATION

Without prejudice to any of its other rights, SONY may terminate this EULA if you fail to comply with any of its terms. In case of such termination, you must: (i) cease all use, and destroy any copies, of the SOFTWARE; (ii) comply with the requirements in the section below entitled "Your Account Responsibilities".

AMENDMENT

SONY RESERVES THE RIGHT TO AMEND ANY OF THE TERMS OF THIS EULA AT ITS SOLE DISCRETION BY POSTING NOTICE ON A SONY DESIGNATED WEB SITE, BY EMAIL NOTIFICATION TO AN EMAIL ADDRESS PROVIDED BY YOU, BY PROVIDING NOTICE AS PART OF THE PROCESS IN WHICH YOU OBTAIN UPGRADES/UPDATES OR BY ANY OTHER LEGALLY RECOGNIZABLE FORM OF NOTICE. If you do not agree to the amendment, you should promptly contact SONY for instructions. Your continued use of the SOFTWARE after the effective date of any such notice shall be deemed your agreement to be bound by such amendment.

THIRD-PARTY BENEFICIARIES

Each THIRDPARTY SUPPLIER is an express intended thirdparty beneficiary of, and shall have the right to enforce, each provision of this EULA with respect to the SOFTWARE of such party.

Should you have any questions concerning this EULA, you may contact SONY by writing to SONY at applicable contact address of each area or country.

Copyright © 2012 Sony Corporation.

オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されています。

当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンスの内容に関しては、付属のCD-ROMに収録されている「License」フォルダー内の「License1.pdf」をご覧ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

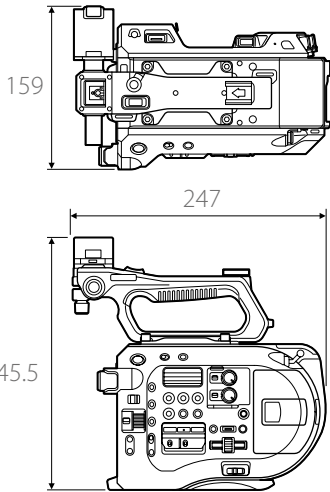
修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

仕様

一般

質量 約2.0 kg (本体のみ)
外形寸法 (単位：mm、本体のみ)¹⁾



1) 寸法は概算値です。

電源電圧 DC 12 V (11 V ~ 16.5 V)
消費電力 約19 W (本体、レンズ付、XAVC-I QFHD 59.94P記録時、ビューファインダー点灯時)
約22 W (本体、レンズ付、XAVC-I QFHD 59.94P記録時、ビューファインダー点灯時、外部機器接続時)
動作温度 0℃ ~ 40℃
保存温度 -20℃ ~ +60℃
連続操作時間 約1時間15分 (BP-U35使用時)
記録フォーマット (ビデオ)
XAVC Intra
AVC/H.264 High 4:2:2 Intra Profile
QFHD : VBR、最大600 Mbps
4K : VBR、最大600 Mbps
HD : CBG、222 Mbps

XAVC Long
AVC/H.264 High Profile
QFHD : VBR、最大150 Mbps、
4:2:0 Long
HD : VBR、最大50 Mbps、
4:2:2 Long
MPEG HD 422
MPEG-2 Long GOP
HD422モード : CBR、50 Mbps、
MPEG-2 422P@HL
ProRes 422 HQ¹⁾
Apple ProRes 422 HQ
4:2:2、10ビット、VBR、
最大220 Mbps
ProRes 422¹⁾
Apple ProRes 422
4:2:2、10ビット、VBR、
最大147 Mbps
記録フォーマット (オーディオ)
LPCM 24ビット、48 kHz、4チャンネル
記録フレームレート
XAVC Intra
4096×2160/59.94P、50P、29.97P、
24P、23.98P、25P
3840×2160/59.94P、50P、29.97P、
23.98P、25P
1920×1080/59.94P、50P、59.94i、
50i、29.97P、23.98P、25P
XAVC Long
3840×2160/59.94P、50P、29.97P、
23.98P、25P
1920×1080/59.94P、50P、59.94i、
50i、29.97P、23.98P、25P
MPEG HD 422
1920×1080/59.94i、50i、29.97P、
23.98P、25P
1280×720/59.94P、50P、29.97P、
23.98P、25P
ProRes 422 HQ¹⁾
1920×1080/59.94i、50i、29.97P、
25P、23.98P

ProRes 422¹⁾
1920×1080/59.94i、50i、29.97P、
25P、23.98P
記録・再生時間 (QD-G128E使用時)
XAVC Intra
4096×2160/3840×2160
59.94P 約22分
50P 約26分
29.97P 約44分
23.98P/24P 約55分
25P 約52分
XAVC Intra 1920×1080
59.94P 約59分
50P 約71分
59.94i 約118分
50i 約141分
29.97P 約118分
23.98P 約147分
25P 約141分
XAVC Long 3840×2160
59.94P/50P 約87分
29.97P/23.98P/25P 約131分
XAVC Long 1920×1080
50Mモード 約262分

35Mモード 約374分
25Mモード 約524分
MPEG HD 422 約262分
ProRes 422 HQ¹⁾ 59.94i/29.97P 約60分
50i/25P 約72分
23.98P 約74分
ProRes 422¹⁾ 59.94i/29.97P 約90分
50i/25P 約108分
23.98P 約112分
1) XDCA-FS7 (別売り) 接続時

【ご注意】
記録再生時間は、使用条件やメモリーの特性などにより、
多少の誤差が生じる場合があります。

カメラ部

撮像素子 スーパー 35相当単板CMOSイメージセンサー
画素数 11.6 M (total)、8.8 M@17:9/8.3 M@16:9 (effective)
内蔵NDフィルター
CLEAR : OFF
1 : 1/4ND
2 : 1/16ND
3 : 1/64ND
リニア可変ND : 1/4ND ~ 1/128ND

感度
Video Gamma：T14@24p
(2000 lx、反射率89.9%、3200K)

ISO感度
S-Log3 Gamma ISO2000
(D55 Light source)

最低被写体照度
0.7 lx (18 dB、23.98P、Shutter：OFF、ND Clear、F1.4)

レンズマウント
Eマウント (レバーロックタイプ)

ラティチュード
14-stop

映像S/N
57 dB (Video Gamma/Noise Suppression：off)

シャッタースピード
1/3 ～ 1/9000秒 (23.98P時)

シャッターアングル
5.6° ～ 300°

スロー&クイックモーション
XAVC QFHD：1-60P、XAVC HD：1-180P

ホワイトバランス
プリセットモード (2100K ～ 10000K)、メモリーモードA、B (1500K ～ 50000K)

ゲイン
-3、0、3、6、9、12、18 dB

ガンマカーブ
STD1、STD2、STD3、STD4、STD5、STD6、HG1、HG2、HG3、HG4、HG7、HG8、S-Log2、S-Log3、USER1、USER2、USER3、USER4、USER5

オーディオ部

サンプリング周波数
48 kHz

量子化特性
24ビット

周波数特性
本体XLR入力MICモード時: 20 Hz ～ 20 kHz (±3 dB以内)
本体XLR入力LINEモード時: 20 Hz ～ 20 kHz (±3 dB以内)

ダイナミックレンジ
本体XLR入力MICモード時: 80 dB (Typical)
本体XLR入力LINEモード時: 90 dB (Typical)

ひずみ率
本体XLR入力MICモード時: 0.08%以下 (入力レベル-40 dBu時)
本体XLR入力LINEモード時: 0.08%以下 (入力レベル+14 dBu時)

内蔵スピーカー
モノラル

内蔵マイク
モノラル

入出力部

入力
INPUT 1/2：
XLR型、3ピン、凹
LINE / MIC / MIC+48V切り替え可能
MIC：Reference -40、-50、-60 dBu

出力
SDI OUT 1/2：
BNC型、0.8 Vp-p、不平衡 (3G HD/1.5G HD 出力)

SMPTE ST424 Level A/B、SMPTE ST425 Level A/B、SMPTE ST292-1規格準拠

オーディオ4チャンネル
ヘッドホン (ステレオミニジャック)：
-16 dBu (基準レベル出力、モニターボリューム最大、16 Ω負荷時)

HDMI：
TypeA、19ピン

その他
DC IN：
EIAJ標準、DC 11 V ～ 16.5 V

拡張ユニット接続端子：
専用144ピン

マルチインターフェースシュー：
専用21ピン

REMOTE：
2.5φ3極ミニミニタイプ

USB：
2.0規格準拠 マスストレージ用 mini ABタイプ (1)

W-LAN接続用 Aタイプ (1)

VF：
専用40ピン

表示部

LCDモニター
画面サイズ
対角8.8 cm (3.5型)

アスペクト比
16:9

画素数
960 (H) × 540 (V)

メディアスロット部

映像記録用XQDカードスロット (2)
UTILITY SDカードスロット (1)

付属品

ビューファインダー (アイピース、アイカップ、ロッド、クランプ含む)
ビューファインダーフード (1)
丸形クランプスパーサー (2)
グリップリモコン
USBワイヤレスLANモジュール (IFU-WLM3)
赤外線リモコン (RMT-845)
ACアダプター
電源コード (1)
ミニUSBケーブル (1)
オプション取り付け用金具 (1)
ボディキャップ (1)
ハンドルコネクター保護キャップ (M2ネジ2本含む) (1)
USBワイヤレスLANモジュールキャップ (2)
W-LAN端子カバー予備 (1)
拡張ユニット端子カバー予備 (1)
アクセサリシューキット (アクセサリシュー (1)、シューパネ (1)、ネジ (4))
メジャーフック (1)
ご使用になる前に (1)
取扱説明書 (CD-ROM) (1)

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 通信を行う機器でセキュリティ対策を行わなかった結果、または、通信仕様上の、やむを得ない事情により、データ漏洩等、セキュリティ上の問題が発生した場合、弊社ではそれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
- 利用者が気付かないうちに、電波が届くところから意図せぬ第三者に通信内容を盗み見られてしまうおそれがあります。無線LAN通信を利用する際は、通信内容を保護するために、適切なセキュリティ対策をしてください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

携帯電話や無線機などによる電波障害を防止するために

携帯電話や無線機などを本機の近くで使用すると、誤動作を引き起こしたり、映像、音声などに影響を与えることがあります。本機の近くでは携帯電話や無線機などの電源はできるだけ切ってください。

ソフトウェアのダウンロードについて

本機をPCと接続して使用する際は、必要に応じてデバイスドライバーや各種プラグインソフトウェア、アプリケーションソフトウェアを下記サイトからダウンロードしてお使いください。

ソニープロフェッショナル/業務用製品
サイトホームページ：

アメリカ合衆国	http://pro.sony.com
カナダ	http://www.sonybiz.ca
ラテンアメリカ	http://sonypro-latin.com
ヨーロッパ	http://www.pro.sony.eu/pro
中東、アフリカ	http://sony-psmea.com
ロシア	http://sony.ru/pro/
ブラジル	http://sonypro.com.br
オーストラリア	http://pro.sony.com.au
ニュージーランド	http://pro.sony.co.nz
日本	http://www.sonybsc.com
アジア	http://pro.sony-asia.com
韓国	http://bp.sony.co.kr
中国	http://pro.sony.com.cn
インド	http://pro.sony.co.in

Sony Creative Software社のソフトウェアダウンロードページ
http://www.sonycreativesoftware.com/download/software_for_sony_equipment

商標について

- “XDCAM” はソニー株式会社の商標です。
- “XAVC” および **XAVC** はソニー株式会社の登録商標です。
- XQD、および **XQD** はソニー株式会社の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または、登録商標です。

その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。